D-Link D-View7 / DV-700 Network Management System





このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。 本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。 必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。 また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従っ てご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。 https://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。 製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。 https://www.dlink-jp.com/support

4	目次	
	はじめに	5
	本マニュアルの対象者 ま記増別// ついス	6
	第1章 本製品のご利用にあたって	
	概要	7
	ライセンスについて サポートデバイスについて	8
	動作環境 D-View7 の概念について	9
	D-View7 サーバについて	11 12
	Proble に 2017	
	テータベースについて High Availability(高可用性)について	14 15
	第2章 製品のインストール	16
	インストール要件	16 17
	インストール (複数 D-View7 サーバ、シングル MongoDB サーバ)	
	シングルリーハから複数リーハへの移行(U-View/) ライセンスのアクティベーション	
	D-View のアッフクレード D-View7 をインストールしたサーバの起動時または再起動時についての注意	55 55
	D-View7 へのログイン D-View7 からのログアウト	56 60
		61
	<u>第3章 Dashboard (タッシュボード)</u>	64
	Dasinovard (マックンボード) について	
	ダッシュホードのカスタマイス ウィジェットのカスタマイズ	66 67
	第4章 Inventory(インベントリ)	68
	Inventory の概要 ラベルの作成	68 69
	Unmanaged (未管理デバイス)	
	D-view Manageu(首互)ハイス) Device Detail(デバイス詳細)	
	<u>第5章</u> Monitor(モニタ)	76
	Monitor の概要 Device View(デバイスビュー)	76
	Topology View (トポロジビュー) Back View (ラックビュー)	77 83
	Event View (イベントビュー)	
	Monitor Logs(モニダロタ) Ping Helper(Ping 送信)	
	第6章 Maintenance(メンテナンス)	89
	Maintenance(メンテナンス)の概要 Batch Configuration (バッチコンフィグレーション)	89 90
	Firmware Management(ファームウェア管理) Configuration Management(コンフィグレーション管理)	
	Task Management(タスク管理)	
	File Management ファイル程程 / Configuration Comparison (コンフィグレーション比較)	102

Ξh

目次

Ъ<u>е</u>,

гБ

ц	
 第7章 Report(レポート)	105
第8章 System(システム)	109
System (システル)の脚亜	109
System (アメ) A) の成安	109
Discovery(Probe 検出)	
ノ User / Workspace(ユーザ / ワークスペース管理)	
Sensor Settings(センサ設定)	
Notification Center(通知センター)	
System Logs(システムログ)	
Trap Editor(トラップエディタ)	
About (本製品について)	
<u>付録 A MongoDB バージョン 2.6 から 3.2 への移行</u>	128
移行手順	
トラブルシューティング	
MongoDB チェック結果について	
<u>付録 B リモート Probe の追加</u>	133
D-View 7 Probe ツールのインストール	133
Probe のアクティベーション	
Probe の検出	
<u>付録 C D-View7 への HTTPS 接続</u>	136
システム要件	
HTTPS 接続設定手順	
付録 D MongoDB の手動アンインストール	138
システム要性	138
アンインストール手順	
<u>付録 E D-View7 の移行と D-View7 ライセンスの解除</u>	140
D-View7 の移行について	
D-View ライセンスの解除について	
付録 F RESTAPI 設定ガイド	153
	470
<u>19球は サートハーナイ 裂機器の官理</u>	172
サードパーティ製機器の検出	
サードパーティ製機器のモデルリストへの追加	
ウィジェットによるサードパーティ型機器の情報表示	176

Ъp

÷Ei

ct

はじめに

D-View7の機能と設定方法をについて記載しています。

- 「第1章 本製品のご利用にあたって」
- ・ 本製品の概要、機能、動作環境について説明します。
- 「第2章 製品のインストール」
- 製品のインストールとデータベースの作成を行います。
- 「第3章 Dashboard (ダッシュボード)」
- ・ 本製品のダッシュボードと各機能について説明します。

「第4章 Inventory (インベントリ)」

- ・ 本製品のインベントリと各設定について説明します。
- 「第5章 Monitor (モニタ)」
- ・ 本製品のモニタ機能と各設定について説明します。

「第6章 Maintenance (メンテナンス)」

• 本製品のメンテナンス機能と各設定について説明します。

「第7章 Report(レポート)」

- 本製品のレポート機能と各設定について説明します。
- 「第8章 System (システム)」 ・ 本製品のシステム機能と各設定について説明します。
- 「付録 A MongoDB バージョン 2.6 から 3.2 への移行」
- ・ MongoDB バージョンの移行について説明します。
- 「付録 B リモート Probe の追加」
- リモート Probe の追加について説明します。

「付録 C D-View7 への HTTPS 接続」

• D-View7 への HTTPS 接続について説明します。

「付録 D MongoDB の手動アンインストール」

• MongoDB の手動アンインストールについて説明します。

「付録 E D-View7 の移行と D-View7 ライセンスの解除」

・ D-View ライセンスの移行とアクティベーション解除について説明します。

「付録 F RESTAPI 設定ガイド」

・ D-View7 との間で情報を取得および送信する、カスタム API の作成について説明します。

「付録G サードパーティ製機器の管理」

・ サードパーティ製機器の管理について説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の操作方法についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワー ク管理者、システム管理者、または IT 技術者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

メモ) 参考情報を記述します。

注意 特長や技術についての詳細情報を記述します。

設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明しま 警告 す。

本マニュアル中での字体、・記号についての表記規則を表します。

字体・記号	解説	例
Гј	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」をクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	「ご使用になる前に」を参照してください。
太字	画面遷移。	System > About 画面

第1章 本製品のご利用にあたって

- ・「概要」
- ・「ライセンスについて」
- ・「サポートデバイスについて」
- •「動作環境」
- ・「D-View7の概念について」
- ・「D-View7 サーバについて」
- ・「Probe について」
- ・「センサについて」
- 「データベースについて」
- ・「High Availability(高可用性)について」

概要

D-View7 は、Web ベースデザインを採用したネットワーク機器管理ソフトウェアです。特別なソフトウェアをインストールすることなく、ブラウザ を使用してサーバにアクセスし、ネットワーク機器を管理できます。Server & Probe アーキテクチャを実装しているため、WAN を超えてノード管 理する場合も複数の拠点のノードをセキュアに管理することが可能です。

D-View7 は以下のデバイスに対応しています。

- 無線アクセスポイント
- 無線コントローラ
- 統合アクセスポイント
- 統合スイッチ
- SNMP 対応スマートスイッチ / マネジメントスイッチ
- ・ SNMP 対応デバイス

注意

本マニュアルでは、ネットワーク設計および管理の概念について、または SNMP、MIB、RMON などの技術の概念については説明していません。

注意 本マニュアルは、ネットワーキングの概念について精通している方を対象に記述しています。D-View 内のメニューなどで定義する変数に 関する説明は行っていません。

ライセンスについて

「D-View7 Trial Edition」では、ノード 25 台、Probe2 台までが無償で管理可能です。 それ以上のノードまたは Probe をご利用になりたい場合は、有償の追加ライセンスを別途導入いただく必要があります。 追加ライセンスの購入、適用は随時行うことができます。また、追加ライセンスの使用期限はありません。

追加ライセンスには「ノードライセンス」と「Probe ライセンス」があります。

● ノードライセンス

ノードとは、D-View7 で検出される SNMP デバイスのことです。Node ライセンスは D-View7 でいくつのデバイスを管理するかが購入の基準となり ます。

● Probe ライセンス

Probe とは、D-View7 サーバとデバイスの間で通信するリモートエージェントのことです。 Probe ライセンスは D-View7 サーバが存在するネットワーク内で 256 台以上のノードを管理する場合、もしくは D-View7 サーバが自身と異なるネッ トワークのデバイスと通信するために使用する Probe の数が購入の基準となります。

追加ライセンスの購入例

(1) 単一のロケーション(ネットワーク)で「290Node」の管理が必要な場合:

「250 台の Node 管理用ライセンス(DV-700-N250-LIC)」と「25 台の Node 管理用ライセンス(DV-700-N25-LIC)」を追加購入することで、最大 300 台の Node を管理することができるようになります。 「(25Node)(Trial Edition)+(250Node + 25Node)(追加購入分)」

(2) 4 つのロケーション(ネットワーク)でそれぞれ「5Node」ずつ管理する場合:

「5 台の Probe 用ライセンス(DV-700-P5-LIC)」を追加購入することで、最大 7 つの Probe と 25 台の Node を管理することができるようになります。 「(2Probe/25Node)(Trial Edition + (5Probe)(追加購入分)」

サポートデバイスについて

D-View7 でサポートしているデバイスについて、以下の点にご注意ください。

- ・ D-View7 でサポートしている製品であっても、すべての機能を使用できるわけではありません。予めご了承ください。
- ・ D-View7 を使用して、物理スタックした機器のファームアップグレードを行うことはできません。
- ・ D-View7 を使用する場合、管理する機器のファームウェアは最新のバージョンをお使いになることを強く推奨します。
- ・ 管理する機器のファームウェアが古いバージョンをお使いの場合、以下の状況が発生する可能性があります。
 - 製品の管理ができない
 - SNMP での設定ができない
 - ファームウェアアップグレードやコンフィグバックアップ/リストア等の機能が利用できない

サポート対象機器

- ・ DXS-3600 シリーズ
- ・ DXS-3400 シリーズ
- ・DGS-3630シリーズ (A1)
- DGS-3620 シリーズ
- DGS-3420 シリーズ
- DGS-3120 シリーズ
- ・DGS-3000シリーズ (B1)
- ・ DGS-1510 シリーズ
- ・ DGS-1210 シリーズ (F1)
- DXS-1100-10TS/16TC
- ・ DES-1210 シリーズ (C1/C2)
- ・ DMS-1100 シリーズ
- ・ DGS-1100 シリーズ (B1/B2)
- ・ DIS-200G シリーズ
- DWC-2000
- DWL-8610AP
- DAP-2695
- DAP-3662
- DAP-2360(B1)
- DSR シリーズ (B1)

動作環境

ハードウェア要件

本製品が動作するには、以下のハードウェア要件を満たしている必要があります。

D-View7 サーバ要件

- CPU:Dual Core 3.0GHz 以上
- メモリ:8GB以上
- ・ ハードディスク容量:120GB以上(C:¥Core Server、D:¥MongoDB)
- Windows7 Professional Edition 以上 (64bit)
- Windows8/8.1 Professional Edition 以上(64bit)
- Windows10 Professional Edition 以上(64bit)
- Windows Server 2008 R2 Standard Edition 以上(64bit)
- Windows Server 2012 Standard Edition 以上(64bit)
- Windows Server 2016 Standard Edition (64bit)
- Windows Server 2016 Datacenter Edition (64bit)

D-View7 Probe システム要件

- CPU:Single Core 2.0GHz 以上
- ・ メモリ :2GB 以上
- ハードディスク容量:10GB以上
- Windows7 (32bit/64bit)
- Windows8/8.1 (32bit/64bit)
- Windows10 (32bit/64bit)
- Windows Server 2008 (32bit/64bit)
- Windows Server 2008 R2 (64bit)
- Windows Server 2012 (64bit)
- Windows Server 2016 Standard Edition (64bit)
- Windows Server 2016 Datacenter Edition (64bit)

D-View7 クライアントシステム要件

- CPU:Single Core 2.0GHz 以上
- ・ メモリ :2GB 以上
- ・ ブラウザ :Internet Explorer 11 以上、Firefox、Chrome

[注意] 上

上記は D-View 7 バージョン 1.5 でのハードウェア要件です。

注意 MongoDB は、D-View7 インストールドライブとは別のドライブにインストールすることを推奨します。

注意 クラスタモードでは、異なるサーバに MongoDB をインストールすることを推奨します。

注意 クラスタ構成のセットアップには、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2016 のサーバ環境が必要と なります。

D-View7 の概念について

D-View7は、Server & Probe アーキテクチャを実装しています。

それぞれのコンポーネントは基本的な役割を担っており、ともに動作させることでネットワークに対する高い制御レベルと管理能力をネットワーク 管理者に提供することができます。

「D-View7 サーバ」は複数の Probe から受信したデータの収集や整理を行い、それらを分析、コンパイルし、グラフやデータビューなどのわかりや すい形式で表示します。

また、サーバは特定のネットワークセグメントやデバイスに対し、複雑なセットアップなどを行わずにメンテナンスや権限付与などを行う中央コマ ンドセンタとしての役割を果たします。

「Probe」は SNMP デバイスからのデータ収集に使用され、デバイスへのコマンド展開やコアサーバとの通信などを行います。 D-View7 をインストールすると既存のローカル「Probe」を保持することになりますが、ローカルで管理するノード数が 256 台を超える場合、管理

者は必要に応じてさらに「Probe」を追加することも可能です。

さらに、「Probe」を使用することで、SNMP 経由ではデバイスへのアクセスが難しい複雑なネットワーク環境やファイアウォール、NAT などに阻ま れてアクセスできないネットワークにおいても、ネットワーク管理者がネットワークを監視できるようにします。



図 1-1 D-View7 概念

注意 Local Probe が管理できる最大ノード数は 256 台です。

D-View7 サーバについて

Server & Probe アーキテクチャにより、旧式のネットワーク管理システムとは異なり、全ネットワークトポロジのビューを取得することが可能です。 外部からのアクセスできないネットワークセグメントに「Probe」を配置することにより、ネットワーク管理者が、安全でない可能性のある方法でネットワークを再設定することなく、ネットワークリソースのフル制御を得ることができます。



図 1-2 D-View サーバ

Server & Probe アーキテクチャは、監視が必要なネットワークの各セグメントのために、不要なポートをオープンにせずにより安全なネットワーク 環境を構築することが可能です。 適切なネットワークセグメント内に Probe を配置することにより、SNMP やトラップなどのポートを悪用される可 能性を排除することが可能です。D-View7 はポート 80 と 443 を使用して、堅牢なネットワークセキュリティを維持したまま、通常のコミュニケーショ ンプロトコルを使用し確かな通信を実現することができます。



図 1-3 D-View サーバ (ポート /Probe)

注意 コアサーバと Probe サーバ間で HTTPS(443)を使用する場合は、サーバ側の「IIS」を有効に設定してください。

Probe について

D-View7 における Probe は、ネットワークデバイスと D-View7 サーバを接続する上でのとても重要な要素です。 「Probe」はバックグラウンドプロセスとして動作し、新規デバイスの検出や既存デバイスの統計情報収集、または NAT 環境やファイアウォールに 守られたネットワーク内の D-View サーバへのデータ転送における拠点となります。

Probe は D-Link 製品のみでなく、SNMP プロトコルに準拠したあらゆるネットワークデバイスに対応しています。 特定のネットワークセグメントに個別に Probe を配置することにより、D-View7 サーバへ転送されコンパイル / 分析される前にデータは Probe に収 集され、帯域制限を緩和する役割もあります。

解放する接続数やすべてのデバイスが直接サーバと通信する必要性を減らすことにより、ネットワークのオーバヘッドを減らすことができます。 ネットワークデバイスをグループに分割することで、多くの基準に基づく識別をより簡単にしたり、与えられたネットワークトポロジに簡単に適用 することができます。

また、Probe に直接接続しているデバイスにおいて、D-View7 の管理者からの再起動、ログ管理、デバイス設定変更のようなコマンドの実行の処理 を行うなどの役割も果たします。



図 1-4 Probe の役割

注意 ローカル Probe が管理するノードが 256 台を超える場合は、同一ネットワーク内の環境であっても Probe サーバを増設する必要があります。

センサについて

D-View7には、ネットワーク統計を収集するための多数のセンサ(データの検出)が事前に定義されています。

センサは複数の分析結果に基づく更新情報をネットワーク管理者に提供するために、デバイスレベルでカスタムすることも可能です。管理者は D-View7サーバにログインし、センサセットアップウィザードを使用して CPU 利用率などのメトリックを指定することができます。その後、デバイス、 グループもしくは全ネットワークセグメントにセンサを割り当てます。

センサはデバイスのダッシュボードに配置され、必要な情報のリアルタイム収集、指定した時間間隔での更新、履歴レポートの分析データの保持を 行います。

また、センサは D-View7 内の分割されたワークスペースに適用することも可能です。D-View7 内蔵のアクセスコントロールに基づき、異なるネット ワーク環境を作成することができます。これにより、同じデバイス数やネットワークトポロジに基づくグループ毎に、個別のワークスペースを作成し、 それぞれのチームで重要なポイントに焦点を合わせることが可能になります。



図 1-5 センサの概要

データベースについて

D-View7は「NoSQL」データベースである「MongoDB」上に構成されています。「MongoDB」は「GNU AGPL v3.0」ライセンスと「Apache License v2.0」に基づくドライバーを基に構築されています。 「MongoDB」は高パフォーマンス、高可用性、そして自動スケーリングを提供するデータベースです。

「MongoDB」の重要な機能

- データベースシステムの I/O アクティビティを削減するデータモデルをサポート
- ・ インデックスにより高速のクエリ検索とアレイやドキュメントのキーを含んだ検索をサポート
- 自動フェイルオーバ
- ・ マシンクラスタへの自動的データ分配
- ・ 低レイテンシー、高スループット環境で一貫性のある読み取りを提供するレプリカセット

「MongoDB」について詳しくは下記を参照してください。 http://www.mongodb.org http://docs.mongodb.org/manual/administration/production-notes/



使用環境において「D-View7」と「MongoDB」が 64 ビットの OS 上にインストールされている必要があります。



🗵 1-6 MongoDB

High Availability(高可用性)について

D-View7 は、High Availability(HA/高可用性)システムとして構成することが可能です。これにより、サーバの負荷を抑制する一方で、障害時にお けるサービス継続を可能にしシステムの信頼性を向上させます。D-View7 と MongoDB の両サーバは、いずれも HA 構成でインストールすることが 可能です。フォールトトレランス・アーキテクチャにより、個々のノードでオフライン状態となる場合であっても、ネットワークへ影響を与えるこ とはありません。

D-View7 は以下の2つのタイプの HA 構成でインストールすることができます。

- ・ 単一の MongoDB インスタンスと複数の D-View7 インスタンス
- ・ 複数の MongoDB インスタンスと複数の D-View7 インスタンス

本システムの HA 構成は Windows Server Network Load Balancing (NLB) ツールを用いた仕組みであり、クライアントから D-View7 クラスタへの接 続には、両サーバ共通となるクラスタ IP が使用されます。マスターサーバ上では、D-View 7 Core Server、D-View 7 License Agent server、D-View 7 Probe server、D-View 7 Probe File Server サービスが実行され、スレーブサーバ上では D-View 7 Core Server サービスのみが実行されます。マスター およびスレーブの 2 台の D-View7 サーバは、単一の MongoDB インスタンスに接続します。なお、この MongoDB インスタンスは、単一サーバも しくはクラスタ構成でインストールすることができます。

MongoDB は単一のサーバとしてもクラスタサーバとしても導入することができます。

クラスタモードで導入する場合、Primary サーバ1台と Secondary サーバ複数台、オプションの Arbiter サーバによって構成されます。 Primary サーバはデータベースの読み書きを行うことが可能であり、Secondary サーバはデータベースの閲覧のみ可能です。障害発生時には、 Secondary サーバが Primary サーバに切り替わります。Secondary サーバの台数が偶数の場合は、Arbiter サーバが選出プロセスの管理に利用されます。



図 1-7 HA 構成

MongoDB を HA 構成でインストールする場合、Primary サーバと Secondary サーバに加えて、Arbiter サーバのインストールが推奨されます。 Arbiter サーバ用に専用のサーバを準備する必要はありません。Arbiter サーバは、ローカルネットワーク経由で直接接続することが可能な同じサブ ネット内のホストにインストールすることができます。

第2章 製品のインストール

- ・「インストール要件」
- ・「インストール(シングルサーバ)」
- ・「インストール(複数 D-View7 サーバ、シングル MongoDB サーバ)」
- ・「シングルサーバから複数サーバへの移行(D-View7)」
- •「ライセンスのアクティベーション」
- ・「D-View のアップグレード」
- ・「D-View7 へのログイン」
- ・「D-View7 からのログアウト」
- 「アンインストール」

インストール要件

D-View7 をインストールするには、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・構成の種類(シングルサーバ、複数 D-View サーバ /HA 構成)に適した数のホストがある
- ・ ホストが動作環境の要件を満たしてる(「動作環境」を参照してください。)
- ホストがインターネットにアクセスできるネットワークに接続されている

さらに、以下の要件を満たしている必要があります。

インストール時に対応していない場合、インストールウィザードにてインストールが行われます。

- IIS
- .NET Framework 4.0
- Windows Firewall が有効
- ASP、ASP.NET、ISAPI Extensions、ISAPI フィルタがインストールされている
- MongoDB

インストールを開始するには、「D-View7 セットアップアプリケーション」をウェブサイトからダウンロードします。ダウンロード完了後、アプリケー ションをダブルクリックしてインストールを開始します。

セットアップアプリケーションでは、Trial Edition の動作に必要なすべてのコンポーネントをインストールします。Trial Edition ではノード 25 台、 Probe2 台までを管理できます。追加ライセンスを有効化する方法は、「ライセンスのアクティベーション」を参照してください。



クラスタ構成のセットアップには、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2016 のサーバ環境が必要と なります。

インストール(シングルサーバ)

1. セットアップアプリケーションをダブルクリックし、インストールウィザードを開始します。 「Core Server Type」に「Single Server」を選択し、「OK」をクリックします。

D-View 7 Install	ew 🔰
Choose Language	English 🔹
Core Server Type	Single Server 🔹
Cluster Role	- *
	ОК

図 2-1 Install Wizard

 必要なコンポーネントがインストールされ、正しく設定されているかチェックします。 チェック完了後、「Start Installation」をクリックしインストールを続行します。

D-View 7 Install		X
	dview 7	
DeLink	This wizard will help you to install D-Yiew 7,the professional Network ManagementSystem published by D-Link. Installation steps is listed in below: Step 1. Check and Configure Environment. IIS .NET Framework 4.0 Windows Firewall ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters Step 2. Check and Configure Database. MongoDB Step 3. Install D-View 7.	
	Start Installation Cancel	

⊠ 2-2 Start Installation

3. 必要なコンポーネントがインストールまたは設定されていない場合、ダウンロード、インストール、設定を行う必要があります。 該当するコンポーネントには赤い「×」マークが表示されます。

「Configuring the Installation Environment」をクリックし、ダウンロード、インストール、設定を実行します。

D-View 7 Install		—
Step1. Check and Configure Environment	:	
Configuring the Installatio	n Environment	
	Result	
- IIS	×	
.NET Framework 4.0	1	
Windows Firewall	1	
ASP, ASP.NET, ISAPI Extensions, ISAPI Filters	×	
	Back Next	Cancel

🗵 2-3 Step1 Check and Configure Environment 01

4. コンポーネントの現在の状況が表示されます。

D-View 7 Install		×
Step1. Check and Configure Environment		
Installing IIS		
	Result	
·IIS	Installing	
·.NET Framework 4.0	1	
Windows Firewall	1	
A SP, A SP. NET, ISAPI Extensions, ISAPI Filters	×	
	Back Next Cancel	

図 2-4 Step1 Check and Configure Environment 02

5. ネットワーク接続のスピードが遅い場合、または追加コンポートネントが既にインストールされているが正しく設定されていない場合は、セットアップアプリケーションの完了までに数分かかることがあります。

インストール済みのコンポーネントであっても他のアプリケーションに影響のある設定変更が行われる場合は、ユーザによる確認が必要な場合 があります。

D D-View 7 Install				
St	ep1. Check and Configure Environment			
	Installing ASP,ASP.NET,	SAPI Extensions, ISAPI Filters		
		Result		
	·IIS	1		
	• .NET Framework 4.0	*		
	Windows Firewall	*		
	ASP, ASP, NET, ISAPI Extensions, ISAPI Filters	Installing		
		Back Next	Cancel	

☑ 2-5 Step1 Check and Configure Environment 03

6. セットアップとシステム環境の設定が終了すると、全てのコンポーネントの「Result」のチェックが緑色になります。 「Next」をクリックし、インストールプロセスを続行します。

Check Finish	
	Result
·IIS	~
•.NET Framework 4.0	*
· Windows Firewall	1
• ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters	1

🗵 2-6 Step1 Check and Configure Environment 04

7. D-View7を使用するには、「MongoDB」をインストールする必要があります。 ウィザードで新しく「MongoDB」をインストール、または既存の(インストール済みの)「MongoDB」を使用することもできます。

「Install a new MongoDB」(MongoDB をインストール)または「Existing MongoDB」(既存の MongoDB)を選択し、「Next」をクリックします。

-Vi	ew 7 Install
St	ep2. Check and Configure Database
	D-View 7 needs to use MongoDB as database, you can install a new MongoDB or use an existing one.
	Install a new MongoDB
	Use an existing MongoDB

図 2-7 Step2 Check and Configure Database 01

- 8. 既存の「MongoDB」を使用する場合、MongoDB データベースの詳細を入力します。
 - 「MongoDB Host Address」: MongoDB ホストの IP アドレスもしくはドメイン名を入力します。
 「Password Authentication」: MongoDB の接続でパスワード認証が必要な場合は、「Password Authentication」にチェックを入れて「UserName」(ユーザ名) と「Password」
 - (パスワード)を入力します。 ・「Check Connection」:

クリックし、アカウント資格の有効性を確認します。

「MongoDB」アカウント資格の有効性が認められた後、「Next」をクリックしてインストールを続行します。

D-View 7 Install				×	
Step2. Check and Configure	Database				
Please enter the information o	f the MongoDB you	want to use.			
MongoDB Host Address*					
☑ Password Authentication	IP or Domain Only				
UserName					
Password					
	Show Password				
	Ct	neck Connection			
		Back	Next	Cancel	

図 2-8 Step2 Check and Configure Database 02



MongoDB ツールを使用してデータベースを version2.6.5 から 3.2.6 以上にアップグレードする場合、「Password Authentication」のチェッ クは外してください。 9. 新規の「MongoDB」を使用する場合は、「Browse」をクリック → MongoDB アプリケーションをインストールするフォルダを指定します。 「Next」をクリックし、インストールを続行します。

D-View 7 Install Step2. Check and Con	figure Database			
To install a MongoDB, infor	mation for below fields	must be filled in:		
Installation Settings				
Install MongoDB to*	C:¥mongoDB		Browse	
		Back	Next	Cancel

🗵 2-9 Step2 Check and Configure Database 03

10. 必要なデータベースの作成などを行い、インストールを続行します。

ネットワーク接続のスピードが遅い場合、または、追加コンポーネントが必要な場合には、インストールが完了まで数分かかる場合があります。 D-View7 が他のアプリケーションに影響する変更を行うときは、ユーザによる確認が必要な場合があります。

D-View 7 Install	
Step2. Check and Configure Database	
Please wait for a moment while we are installing Mon	goDB.
Installing MongoDB	
Extra: 70%	
Copying bsondump.exe Copying mongo.exe Copying mongod.exe Copying mongodump.exe Copying mongoiles.exe Copying mongoinport.exe Copying mongooplog.exe Copying mongooplog.exe Copying mongooref.exe Copying mongosets.exe Copying mongos.exe Copying mongostat.exe	
	Back Next Cancel

☑ 2-10 Installing MongoDB

- **11.**「MongoDB」のインストールが終了すると、「MongoDB」サービスをロードし D-View7 データベースを初期化します。 D-View が新規のデータベースを使用するか既存のデータベースを使用するかによって、初期化のプロセス完了に数分かかる場合があります。
 - Please wait while Setup is loading... Initializing Database

⊠ 2-11 Initializing Database

12. データベースのセットアップが完了しサービスが開始されると、D-View7 のセットアップが続行されます。 ライセンスに合意し、「Next」をクリックします。

lease review the license terms before installing D-View 7 1.3.0.7. P-Link D-View Platform Software License Agreement MPORTANT READ CAREFULLY: his Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- ink for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any rinted materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, opying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase The SOFTWARE is licensed, not sold GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international opyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you hav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard.	cense Agreement	
D-Link D-View Platform D-Link D-View Platform Software License Agreement MPORTANT READ CAREFULLY: his Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- ink for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any rinted materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, opying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of his EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest f the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase The SOFTWARE is licensed, not sold GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international opyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you hav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard.	Please review the license terms before installing D-View 7 1.3.0.7.	
D-Link D-View Platform Software License Agreement MPORTANT READ CAREFULLY: his Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- ink for the software (s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any rinted materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, opying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of is EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest f the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase The SOFTWARE is licensed, not sold GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international opyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you hav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard.	ress Page Down to see the rest of the agreement.	
Software License Agreement MPORTANT READ CAREFULLY: his Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- ink for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any rinted materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, opying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of his EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest f the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase The SOFTWARE is licensed, not sold GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international opyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you hav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard.	D-Link D-View Platfor	m
MPORTANT READ CAREFULLY: his Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- ink for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any rinted materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, opying, or otherwise using the SOFTWARE, sou agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of is EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest f the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase. . The SOFTWARE is licensed, not sold. . GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international opyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you hav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard.	Software License Agree	ement
	MPORTANT READ CAREFULLY: This Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement betw ink for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any a' tropying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the ter his EULA, do not install or use the SOFTWARE, If the SOFTWARE was mailed t of the package to the location where you obtained it within thirty (30) days fro 1. The SOFTWARE is licensed, not sold. 2. GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and copyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other cop nav either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival of the sole of the sole	een you(either an individual or a single entity) and D- associated software components, any media, any nentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, ms of this EULA. If you do not agree to the terms of to you, return the media envelope along with the rest m purchase. d is protected by copyright law and international hyrighted materials (e.g., a book), except that you surposes or transfer the SOFTWARE to a single hard
	I accept the terms of the License Agreement	
] I accept the terms of the License Agreement		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
I accept the terms of the License Agreement		Next > Cancel

⊠ 2-12 License Agreement

- 13. 以下の項目を設定します。設定完了後、「Next」をクリックします。
 - 「Install D-View to」: 通常 D-View7 のアプリケーションは「Program Files」のディレクトリ ("C:\Program Files\D-Link\D-View7\")にインストールされます。違うディレクトリへのインストールを希望する場合、「Browse」をクリックし別の場所を指定します。
 - ・「D-View 7 Web Url」: D-View7 アプリケーションにアクセスするための、初期 URL を入力します。domainname.com のようなホスト名か、192.168.0.100 のよう な IP アドレスのどちらかにすることができます。
 - $\lceil Web Destination Folder
 floor$:

通常("C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\")になります。 違うパスを使用する場合は、「Browse」をクリックし、D-View7 Web ファイル がインストールされる別の場所を指定します。

• 「Local Probe IP Address」:

ドロップダウンメニューで、Probe がどのサブネットをモニタするかを決定する正しい IP アドレスを指定します。

-Vie# 7 Configuration			D
D-View 7 Configuration			
Installation Folder			
Install D-View 7 to	C:¥Program Files (x86)¥D-Link¥D-View 7¥	Browse	
Teb Configuration			
D-View 7 Web Url	http(s)://	/DView7	
Web Destination Folder	C:¥inetpub¥wwwroot¥DView7 Web¥	Browse	
Probe Server Config	uration		
Local Probe IP Address	192.168.1.2 💌		
	_		
		< Back	Cancel

図 2-13 D-View 7 Configuration

14. Windows スタートメニューに表示される D-View7 のフォルダ名を入力し、「Install」をクリックします。

hoose Start Menu Folder		
Thoose a Start Menu folder for the D-View 7 1.3.0.7 shortcuts.		
elect the Start Menu folder in which you would like to create the program's short	cuts. You can also enter a name to (reate a new folder
D-View 7		
Accessories		
Administrative Tools Adobe Decigo Premium CS4		
Adobe Design Fremium CD4 Adobe Design Standard CS6		
Adobe LiveCycle ES2		
Bat To Exe Converter		
Becky! Ver.2		2
Broadcom		1
Chrome アブリ stantist parameters a st		
LYDERLINK POWERDYD 9.5 Dall		
voii Dell System Manager		
D-Link		
D-Link D-ViewCam		
Games		
Intel		
Java hasha		
.napius Maintenance		
Microsoft Office		
Microsoft Silverlight		
	< Back Install	Cancel

🗵 2-14 Choose Start Menu Folder

15. インストールの進捗状況が表示されます。インストール完了まで数分かかる場合があります。 インストール完了後、「Next」をクリックします。

D-View 7 1.3.0.7 Setup	
n stalling Please wait while D-View 7 1.3.0.7 is being installed.	D
Copying files	
Output folder: C:¥Program Files (x86)¥D-Link¥D-View 7 Create folder: C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Me Create shortcut: C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Create shortcut: C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Create shortcut: C:¥Users¥Public¥Desktop¥D-Link D-View7.Ini Extract: D-View.ico 100% Copying files	snu¥Programs¥D-Link¥D-View 7 Menu¥Programs¥D-Link¥D-View 7¥D-View7 Probe Settings.Ink Menu¥Programs¥D-Link¥D-View 7¥D-View 7.Ink k
	< <u>Back</u> <u>N</u> ext > Cancel

🗵 2-15 Installing

16. インストール完了後、システムに行った変更のサマリが表示されます。「Next」をクリックします。

stallation Comp ietup was comple	lete ted successfully.				D
ompleted					
TYPE STATE WIN32_EXI SERVICE_E: CHECKPOIN WAIT_HINT PID FLAGS APPPOOLオブジェクト #Jブジェクト 構成変更を構成 Created uninstal Completed	: 10 WIN32_OWN_PR : 2 START_PENDING (NOT_STOPPABLE, NO (NOT_STOPPABLE, NO (NOT_STOPPABLE, NO (IT_CODE : 0 (0x0) T : 0x0 : 0x7d0 : 17020 : : : : : : : : : : : : :	OCESS DT_PAUSABLE, IGNORE 自力しました "を追迫力しました ?"を追力しました EBROOT/APPHOST"の S)¥D-Link¥D-View 7¥D-\	"MACHINE/WEBROOT/AP "MACHINE/WEBROOT/AP "MACHINE/WEBROOT/AP view7 uninstall.exe	PHOST" のセクション "sy: PHOST" のセクション "sy:	stem.applicatio stem.applicatio
			< <u>B</u> ad	<u>N</u> ext >	Cancel

図 2-16 Installation Complete

17. 「Finish」をクリックし、インストールウィザードを終了します。

D-View 7 1.3.0.7 Setup	AND A CONTRACTOR	
674	dview 🛛	
223	Completing the D-View 7 1.3.0.7 Setup Wizard	
	D-View 7 1.3.0.7 has been installed on your computer. Click Finish to close this wizard.	
D-Link		
	< <u>B</u> ack Einish	Cancel

⊠ 2-17 Completing

以下の URL を Web ブラウザに入力し、D-View7 にアクセスできます。 ・ http://< ホスト名または IP アドレス >/DView7/

注意 コアサーバと MongoDB の依存関係を設定する

D-View サービスを起動するときは、コアサーバサービスを実行する前に、MongoDB サービスが先に開始されていることを確認してください。この構成により、Core Server と MongoDB の間に依存関係が作成され、D-View が正しく起動できるようになります。

インストール(複数 D-View7 サーバ、シングル MongoDB サーバ)

インストール前に、2 台以上のホストが同じサブネット上に存在し、ICMP Ping でお互いに通信が可能な状態であることを確認してください。 さらに、両サーバ上に Network Load Balancing(NLB)サービスがインストールされ、アクティブな状態であることを確認してください。 これらのホストが D-View7 サーバとなります。また、MongoDB 用に最低 1 台のサーバが必要です。

MongoDB のインストール

MongoDBホスト上で、MongoDBのセットアップツールを実行します。
 「Utility Usage Announcement」が表示されるので、確認後「Agree」をクリックします。

dview MongoDB Tool Setup	
Utility usage announcement This tool can help user to upgrade D-View 7 MongoDB 2.6 to D-View 3.2. But it can only backup and restore D-View 7 database.If there a other software database in the MongoDB. This tool may cause them * Database backup: This feature is only used for D-View 7 1.0.2.4 t * Database restore: This feature is only used for D-View 7 1.1.0.3 o * MongoDB Settings: This feature will uninstall the MongoDB 2.6.5 a new MongoDB 3.2.6.	7 MongoDB are some to be lost. o 1.1.0.2 or later and install a
	Agree

☑ 2-18 MongoDB Tool - Utility Usage Announcement

2. 「Check」をクリックし、MongoDB がインストールされているかどうか確認します。

dv	ew Mong	
	Check	Data Backup
	MongoDB Settings	Data Restore

⊠ 2-19 MongoDB Tool - Check



既にインストールされている場合、データベースのリストアを行うかどうかを選択します。インストールされていない場合、「MongoDB Settings」をクリックし、MongoDB をインストールします。

3. 「MongoDB Settings」をクリックし、MongoDB のインストールを開始します。

D-View 7 MongoDB Tool Setup				
dview 7 MongoDB Tool				
Check	Data Backup			
MongoDB Settings	Data Restore			

☑ 2-20 MongoDB Tool - MongoDB Settings

4. MongoDB をインストールするディレクトリを選択し、「Install」をクリックします。

dview 🛛 MongoDB Tool	
Please select a install path to the MongoDB 3.2!	
MongoDB Path: C:\Program Files\MongcDB	Browse
Install	Cancel

🗵 2-21 MongoDB Tool - MongoDB Path

5. MongoDB のインストールが完了すると、メッセージ(MongoDB Install Successfully!)が表示されます。 「Cancel」をクリックし、メイン画面に戻ります。

dview 7 MongoDB Tool	
Please select a install path to the MongoDB 3.2! MongoDB Path: C:\Program Files\MongcDB	Browse
Result: MongoDB Install successfully!	
Instal	Cancel

⊠ 2-22 MongoDB Tool - Installation success

Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)の設定

D-View7 クラスタのノード1で、Network Load Balancing Manager^{※1}(ネットワーク負荷分散マネージャ)を開きます。
 「Network Load Balancing Cluster」(ネットワーク負荷分散クラスタ)を右クリックし、「New Cluster」(新しいクラスタ)を選択します。

🧔 Network Load Balanci	ing Manager					
File Cluster Host Option	ns Help					
Provide Control Contr	cing Clusters New C Conne	Cluster	siguration for all k	nown NLB clusters Cluster IP address	Cluster IP subnet mask	Cluster mode
Jog Eptry Data 1	Time	luctor k	Host	Description		
0001 8/18/2017 1	11:24:44 AM		IUSC	NLB Manager session started		
0002 8/18/2017 1	11:24:44 AM			Loading locally bound instances		
						► /i

図 2-23 Network Load Balancing Manager

※ 1: Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)は、NLB クラスタを管理することのできる Windows サーバの管理ツールです。Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2016 において、機能の追加ウィザードからインストールすることが可能です。

 ノード1のIPアドレスを入力し、「Connect」をクリックします。 接続状態が「Connected」と表示されたら、「Next」をクリックします。

New Cluster : Connect					×
Connect to one host that is	to be part of the r	new cluster and	select the clu	ster interface	
<u>H</u> ost: 172.18.190.1	33			C <u>o</u> nnect	
Connection status Connected					
Interfaces available for cor	nfiguring a new clu	ster			
Interface name Local Area Connection		Interface IP 172.18.190.1	33		
	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel	Help	

🗵 2-24 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Connect

3. ノード1の「Priority(優先順位)」を設定します。各 D-View7 サーバのパフォーマンスが同等でない場合は、より高性能なサーバに低い数値を 設定してください。低い数値のサーバがマスタサーバになります。 設定後、「Next」をクリックします。

New Cluster : Host Parameters	×
Priority (unique host identifier):	1
IP address Subnet mask	
172.18.190.133 255.255.255.0	
<u>A</u> dd <u>E</u> dit <u>B</u> emove	
_ Initial bost state	
Default state: Started	
Retain suspended state after computer restarts	
	1
	-
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel Help	

☑ 2-25 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Host Parameters

4. 「Add」をクリックし、仮想クラスタの IP アドレスを入力します。このアドレスには、ホストアドレスと同じサブネットを設定してください。 設定後、「Next」をクリックします。

Ne	w Cluster : Cluster IP Addresses	×
	The cluster IP addresses are shared by every member of the cluster for load balancing. The first IP address listed is considered the primary cluster IP address and used for cluster heartbeats. Cluster IP addresses:	
	IP address Subnet mask	1
-	Add Edit Remove]
-	<back next=""> Cancel Help</back>	

🗵 2-26 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Cluster IP Addresses

Add IP Address
Add IPv4 address:
IPv4 address: 172 . 18 . 190 . 200
Subnet mask: 255 . 255 . 255 . 0
O Add IPv6 address:
IPv6 address:
C Generate IPv6 addresses:
🗹 Link-local 🔲 Site-local 🔲 Global
OK Cancel

🗵 2-27 Network Load Balancing Manager - Add IP Address

5. 仮想クラスタ IP の FQDN (完全修飾ドメイン名)を設定し、クラスタ操作モードとして「Multicast」を選択します。 設定後、「Next」をクリックします。

New Cluster : Cluster Pa	rameters	×
─ Cluster IP configuration IP <u>a</u> ddress: <u>S</u> ubnet mask: <u>F</u> ull Internet name:	172.18.190.200 255.255.255.0	
N <u>e</u> twork address	03-bf-ac-12-be-c8	
Cluster <u>o</u> peration mode	ə	
 <u>Multicast</u> 		
C I <u>G</u> MP multicast		
	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel Help	

🗵 2-28 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Cluster Parameters

6. Port Rules(ポートの規則)画面では、「Add」をクリックしてポートの規則を追加できます。 「Finish」をクリックし、ノード1のクラスタ構成を終了します。

w Cluster : Port Rules	Add/Edit Port Rule
Defined port rules: Cluster IP address Start End Prot Mode Priority Load	Custer IP address
	Pot range From: 0 🚔 To: 65535 🚖
<[Protocols C TCP C UDP @ Both
Add Edt F	Filtering mode
TCP and UDP traffic directed to any cluster IP address that arrives on ports 0 th 65535 is balanced across multiple members of the cluster according to the load of each member Client IP addresses are used to assign client connections to a	Timeout (n minutes):
Guster host.	C Single host
	C Disable this port range
< Back Finish Cancel	OK Cancel

☑ 2-29 Network Load Balancing Manager - Port Rules

7. Network Load Balancing Manager (ネットワーク負荷分散マネージャ) 画面でホストのステータスが「Converged」に更新されるまで待機します。 ステータスが更新されたら、クラスタ名を右クリックし「Add Host To Cluster」(ホストをクラスタに追加)を選択します。

🧐 Network Load Bala	ncing Manage	21				
File Cluster Host O	ptions Help					
🖃 👷 Network Load Ba	alancing Clusters	F Host configu	ration information for l	nosts in cluster (172	2.18.190.200)	
🖻 💼 (172.18.19	1.200)	terfac	cel	Status	Dedicated IP address	Dedicated IP :
WIN-E6	Add Host To	l-E67	25M3LB13(Local Ar.,	. Converged	172,18,190,133	255.255.255.0
	Delete Clust	er				
	Cluster Prop	erties				
	Refresh					
	Remove Fro	m View				
	Control Host	ts 🕨				
	Control Port	s				
4		F				Þ
Log Entry Date	Time	Cluster	Host	Description		_
0036 2017/8/21	15:33:48	172.18.190	WIN-4PV6E9	Jpdate 8 succeeded	[double click for details]	
0037 2017/8/21	15:33:48	172.18.190	WIN-4PV6E9	End configuration ch	hange	
0038 2017/8/21	15:34:18	172.18.190	WIN-E6725M	Begin configuration	change	
0039 2017/8/21	15:34:18	172.18.190	WIN-E6725M	Waiting for pending	operation 8	
0040 2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	Jpdate 8 succeeded	d [double click for details]	
0041 2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	End configuration ch	hange	
						//.

図 2-30 Network Load Balancing Manager

8. ノード2のIPアドレスを入力し、ノード1の手順と同様にクラスタにノードを追加します。

				Connect
Connection status		1	e L	
terfaces available for	configuring the clu	ster		
interface name		Interface IP		

🗵 2-31 Network Load Balancing Manager - Add Host to Cluster : Connect

9. 設定完了後、ノード 2 上で Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)を開きます。 パネル左側の「NetworkLoad Balancing Clusters」(ネットワーク負荷分散クラスタ)を右クリックします。

「Connect to Existing」(既存の NLB クラスタに接続)をクリックしてのノード1の IP アドレスを入力します。 「Connect」をクリックし、接続状態が「Connected」と表示されたら「Finish」をクリックしてノード2の追加作業を終了します。

これらの設定が完了すると、手順の中で割り当てた仮想 IP アドレスを使用してクラスタに接続できます。

🧶 Networ	'k Load Balar	ncing Manage	r			
File Clust	er Host Op	tions Help				
⊡ g g Ne	twork Load Bal	ancing Clusters	Cluster confi	uration for al knov	vn NLB clusters	
	New	Cluster	Cluster name	;	Cluster IP address	Cluster IP subnet mask Clu
	Conn	ect to Existing				
Log Entry	Date	Time	Cluster	Host	Description	
0040	2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	Update 8 succeeded [double cli	ck for details]
0041	2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	End configuration change	
0042	2017/8/21	15:39:54	172.18.190	WIN-E6725M	Begin configuration change	
0043	2017/8/21	15:39:54	172.18.190	WIN-E6725M	Waiting for pending operation 9	9
0044	2017/8/21	15:40:12	172.18.190	WIN-E6725M	Update 9 succeeded [double cli	ck for details]
0045	2017/8/21	15:40:12	1/2.18.190	WIN-E6725M	End configuration change	▼ ►

図 2-32 Network Load Balancing Manager

D-View7 のインストール

D-View7 クラスタのノード1上で、D-View7 インストールパッケージを実行します。
 「Core Server Type」に「Cluster Server」、「Cluster Role」に「Master」を選択 →「OK」をクリックします。

D-View 7 Install	ew 🦷
Choose Language	English
Core Server Type	Cluster Server
Cluster Role	Master
	ок

🗵 2-33 Install Wizard

 必要なコンポーネントがインストールされ、正しく設定されているかチェックします。 チェック完了後、「Start Installation」をクリックしインストールを続行します。

D-View 7 Install	
	dview 7
D-Link	This wizard will help you to install D-View 7,the professional Network ManagementSystem published by D-Link. Installation steps is listed in below: Step 1. Check and Configure Environment. • IIS • .NET Framework 4.0 • Windows Firewall • ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters Step 2. Check and Configure Database. • MongoDB Step 3. Install D-View 7.
	Start Installation Cancel

図 2-34 Start Installation

3. セットアップとシステム環境の設定が終了すると、全てのコンポーネントの「Result」のチェックが緑色になります。 「Next」をクリックし、インストールプロセスを続行します。

Check Finish	
	Result
·IIS	×
• .NET Framework 4.0	*
• Windows Firewall	1
• ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters	×

図 2-35 Step1. Check and Configure Environment

- 4. MongoDB データベースの詳細を入力します。
 - MongoDB Host Address :
 - MongoDB ホストの IP アドレスもしくはドメイン名を入力します。
 - 「Password Authentication」:
 - MongoDBの接続でパスワード認証が必要な場合、「Password Authentication」にチェックを入れ、ユーザ名とパスワードを入力します。
 ・「Check Connection」:
 - クリックして、アカウント資格の有効性を確認します。

「MongoDB」アカウント資格の有効性が認められた後、「Next」をクリックしてインストールを続行します。

D D-View 7 Install				
Step2. Check and Configure Database				
Please enter the information	of the MongoDB you want to use.			
MongoDB Host Address*	172.17.2.55			
V Password Authentication	IP or Domain Only			
UserName	admin			
Password	****			
	Show Password			
	Connection OK			
	Back Next Cancel			

🗵 2-36 Step2. Check and Configure Database

第2章 製品のインストール



注意 D-View7 のインストール時に MongoDB がインストールされている場合、「UserName」と「Password」に「admin」を入力します。

注意 上記以外の方法で MongoDB のセットアップを行った場合、設定時のユーザ名とパスワードを入力してください。

5. ライセンスに合意する場合は「I accept the terms of the license Agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリックします。

D	D-View 7 1.3.0.6 Setup	X
	License Agreement Please review the license terms before installing D-View 7 1.3.0.6.	
	Press Page Down to see the rest of the agreement.	
	D-Link D-Vew Platform	*
	Software License Agreement	Е
	IMPORTANT READ CAREFULLY: This Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- Link for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any printed materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, copying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest of the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase.	
	1. The SOFTWARE is licensed, not sold.	
	2. GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international copyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you may either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard	Ŧ
	If you accept the terms of the agreement, dick the check box below. You must accept the agreement to install D-View 7 1.3.0.6. Clid Next to continue.	¢
	☑ I accept the terms of the License Agreement	
	Next > Cancel	

⊠ 2-37 License Agreement
- 6. 以下の項目を設定します。設定完了後、「Next」をクリックします。
 - 「Install D-View to」: 通常 D-View7 のアプリケーションは「Program Files」のディレクトリ("C:\Program Files\D-Link\D-View7\")にインストールされます。違うディレクトリへのインストールを希望する場合、「Browse」をクリックし別の場所を指定します。
 - 「D-View 7 Web Url」:
 D-View7 アプリケーションにアクセスするための、初期 URL を入力します。domainname.com のようなホスト名か、192.168.0.100 のような IP アドレスのどちらかにすることができます。
 - 「Web Destination Folder」: 通常("C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\")になります。違うパスを使用する場合は、「Browse」をクリックし、D-View7 Web ファイル がインストールされる別の場所を指定します。
 - 「Local Probe IP Address」:
 - ドロップダウンメニューで、Probe がどのサブネットをモニタするかを決定する正しい IP アドレスを指定します。

D-View 7 1.3.0.6 Setup			_ D X
D-View 7 Configuration			D
D-View 7 Configuration			
Installation Folder			
Install D-View 7 to	C:\Program Files (x86)\D-Link\D-View 7\	Browse	
Web Configuration			
D-View 7 Web Url	http(s):// 172.17.2.55	/DView7	
Web Destination Folder	C:\inetpub\wwwroot\DView7Web\	Browse	
Probe Server Config	iration		
Local Probe IP Address	172.17.2.55]	
		< Back Next >	Cancel

☑ 2-38 D-View7 Configuration

注意

D-View7の URL には、クラスタ IP アドレスを設定します。

7. Windows スタートメニューに表示される D-View7 のフォルダ名を入力し、「Install」をクリックします。

D-View 7 1.3.0.6 Se	up				
Choose Start Menu Choose a Start Menu	Folder folder for the D-View 7 1.3.0.6	shortcuts.			D
Select the Start Menu	folder in which you would like to	create the program's s	hortcuts. You can also enter	a name to create a	new folder.
D-View 7					
Administrative Tools D-Link Games Maintenance PicPick Startup					
			< Back Ins	stall	Cancel

🖾 2-39 Choose Start Menu Folder

8. インストールの進捗状況が表示されます。インストール完了まで数分かかる場合があります。 インストール完了後、「Next」をクリックします。

D-View 7 1.3.0.6 Setup		x
Installing Please wait while D-View 7 1.3.0.6 is being installed.	D	1
Extract: AjaxControlToolkit.dll		
Extract: OutputImage.ashx 100% Extract: ProbeHandler.ashx 100% Extract: ProbeSettings.asmx 100%		*
Extract: SensorSettingHandler.ashx 100% Extract: SensorSettings.aspx 100% Extract: SystemLog.aspx 100%		
Extract: TrapMapHandler.ashx100% Extract: TrapTools.aspx100% Extract: UploadPhotoHander.ashx100% Extract: UperHandler.ashx		
Extract: UserManagement.aspx 100% Extract: UserPage.aspx 100% Extract: UserPage.aspx 100%		
Extract: UserProfileOld.aspx 100% Output folder: C: ijnetpub\www.root\DView7 Web\bin Extract: AjaxConrolToolkit.dll	[
		<u> </u>
	< Back Next > Cancel	

⊠ 2-40 Installing

9. 「Finish」をクリックし、インストールウィザードを終了します。

D-View 7 1.3.0.6 Setup		
D-Link	Completing the D-View 7 1.3.0.6 Setup Wizard D-View 7 1.3.0.6 has been installed on your computer. Click Finish to close this wizard.	
	< Back Finish	Cancel

⊠ 2-41 Completing

10. 続いて、D-View クラスタのノード 2 上でも同様に D-View7 のインストールを行います。 ノード 2 の設定の際は、「Core Server Type」に「Cluster Server」、「Cluster Role」に「Slave」を選択してください。

注意 以下の URL を Web ブラウザに入力し、D-View7 にアクセスできます。 <cluster IP> には NLB 構成で設定した仮想クラスタ IP を指定します。

- http://<cluster IP>/DView7
- ・ https://<cluster IP>/DView7(SSL を使用している場合)

シングルサーバから複数サーバへの移行(D-View7)

本項目では、シングル D-View7 サーバから複数 D-View7 サーバへの移行方法について説明します。

移行は以下の流れで行います。

(1) 既存の D-View7 サーバから D-View7 をアンインストール
 (2) Network Load Balancing Manager (ネットワーク負荷分散マネージャ)の設定
 (3) D-View7 のインストール
 (4) データベースから既存 D-View7 サーバの IP を削除する

(1) D-View7 をアンインストール

既存の D-View7 サーバから D-View7 のみをアンインストールし、MongoDB はインストールされたままの状態にします。 この既存の D-View7 サーバが、新しくセットアップされる 2 台の D-View7 サーバの MongoDB ホストとなります。

移行を開始する前に、アップグレードする既存の D-View7 サーバの他に、同じサブネット上に 2 台以上のホストが用意されていることを確認してください。

また、これらすべてのサーバが ICMP Ping を使用してお互いに通信が可能な状態であり、新しく D-View7 サーバとなる 2 台のサーバ上には Network Load Balancing (NLB) サービスがインストールされ、アクティブな状態であることを確認してください。



アンインストールプロセスを実行する際、MongoDBも同様にアンインストールするかどうかを尋ねられます。 必ず「No」を選択してください。D-View7 クラスタ構成で必要となります。

D-View 7 Uninstall	x
Do you want to uninstall MongoDB as well?	
Yes No	

図 2-42 D-View7 Uninstall



D-View コアサーバをアンインストールする前に、ライセンスを解放してください。 ライセンスを解放する手順については「ライセンスの解放」を参照してください。

D-View7のアンインストール手順については、「アンインストール」を参照してください。 アンインストール完了後、次ページ以降の手順を実施してください。

(2) Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)の設定

D-View7 クラスタのノード1 で、Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)を開きます。
 「Network Load Balancing Cluster」(ネットワーク負荷分散クラスタ)を右クリックし、「New Cluster」(新しいクラスタ)を選択します。

🧐 Networl	k Load Ba	lancing Manag	er				
File Cluste	r Host	Options Help					
± gg Net	work Load	Balancing C <mark>luster</mark>	S . Chuster e	antiguration for all l	known NLB clusters		
		N	ew Cluster		Cluster IP address	Cluster IP subnet mask	Cluster mode
			onnect to Existing				
Log Entry	Date	Time	Cluster	Host	Description		
0001	8/18/201	7 11:24:44 AM	1		NLB Manager session started		
0002	8/18/201	7 11:24:44 AM	1		Loading locally bound instances		
							▶
							11.

🗵 2-43 Network Load Balancing Manager

2. ノード1のIPアドレスを入力し、「Connect」をクリックします。接続状態が「Connected」と表示されたら、「Next」をクリックします。

ew Cluster	: Connect				
Connect to	o one host that	is to be part of th	ne new cluster ar	id select the clu	ister interface
<u>H</u> ost:	172.18.190.	133			C <u>o</u> nnect
Connect	tion status				
Connec	ted				
Interfaces	available for c	onfiguring a new	cluster		
Interface	ename		Interface IP		
Local Ar	ea Connection		172.18.190.	133	
		< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel	Help

🗵 2-44 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Connect

3. ノード1の「Priority」(優先順位)を設定します。各 D-View7 サーバのパフォーマンスが同等でない場合は、より高性能なサーバに低い数値を 設定してください。低い数値のサーバがマスタサーバになります。 設定後、「Next」をクリックします。

New Cluster : Host Parameters	×
Priority (unique host identifier):	
IP address Subnet mask	
172.18.190.133 255.255.255.	D
<u>A</u> dd <u>E</u> dit	<u>R</u> emove
□ Initial host state	
Default state:	
Retain suspended state after computer restarts	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Canc	el Help

🗵 2-45 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Host Parameters

4. 「Add」をクリックし、仮想クラスタの IP アドレスを入力します。このアドレスには、ホストアドレスと同じサブネットを設定してください。 設定後、「Next」をクリックします。

New Cluster : Cluster IP	Addresses				×
The cluster IP addresses The first IP address listed heartbeats. Cluster IP addresses:	: are shared by eve I is considered the	ery member (primary clus	of the cluste ter IP addre	er for load b ess and use	alancing. ad for cluster
IP address			Subpet ma	ask	
			_		
	< Back	Add	E	dit	Remove Help

🗵 2-46 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Cluster IP Addresses

Add IP Address
Add IPv4 address:
IPv4 address: 172 . 18 . 190 . 200
Subnet mask: 255 . 255 . 255 . 0
O Add IPv6 address:
IPv6 address:
C Generate IPv6 addresses:
🗹 Link-local 🔲 Site-local 🔲 Global
OK Cancel

🗵 2-47 Network Load Balancing Manager - Add IP Address

5. 仮想クラスタ IP の FQDN (完全修飾ドメイン名)を設定し、クラスタ操作モードとして「Multicast」を選択します。 設定後、「Next」をクリックします。

New Cluster : Cluster Pa	rameters	×
─ Cluster IP configuration IP <u>a</u> ddress: <u>S</u> ubnet mask: <u>F</u> ull Internet name:	172.18.190.200 255.255.255.0	
N <u>e</u> twork address	03-bf-ac-12-be-c8	
Cluster <u>o</u> peration mode	ə	
 <u>Multicast</u> 		
C I <u>G</u> MP multicast		
	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel Help	

🗵 2-48 Network Load Balancing Manager - New Cluster : Cluster Parameters

6. Port Rules(ポートの規則)画面では、「Add」をクリックしてポートの規則を追加できます。 「Finish」をクリックし、ノード1のクラスタ構成を終了します。

ew Cluster : Port Rules	Add/Edit Port Rule
Defined port rules: Ouster IP address Start End Prot Mode Priority Load All 0 65535 Both Multiple	Ouster IP address
	Pot range From: 0 🚊 To: 65535 🚖
<	Protocols C TCP C UDP C Both
Add Edt	Filtering mode
TCP and UDP traffic directed to any cluster IP address that arrives on posts 0 t 65535 is balanced across multiple members of the cluster according to the load of each member Client IP addresses are used to assign client connections to a shirth the state of the sta	Timeout(n minutes):
Cluster nost.	C Single host
	C Disable this port range
< Back Finish Cancel	OK Cancel

図 2-49 Network Load Balancing Manager - Port Rules

7. Network Load Balancing Manager (ネットワーク負荷分散マネージャ) 画面でホストのステータスが「Converged」に更新されるまで待機します。 ステータスが更新されたら、クラスタ名を右クリックし「Add Host To Cluster」(ホストをクラスタに追加)を選択します。

🧐 Network Load Bala	ncing Manage	:r				
File Cluster Host O	ptions Help					
🖃 🍰 Network Load B	alancing Clusters	Host configu	ration information for I	nosts in cluster (172	2.18.190.200)	
⊡ 🔁 (172.18.19	n 200) Add Host To	Cluster Iterfa	ce)	Status	Dedicated IP address	Dedicated IP :
WIN-E6	Delete Clust	er I-E67	25M3LB13(Local Ar.	. Converged	172.18.190.133	255.255.255.0
	Cluster Prop	erties				
	Refresh					
	Remove From	m View				
	Control Host	is 🕨				
	Control Ports	s				
4		F 4				Þ
Log Entry Date	Time	Cluster	Host	Description		_
0036 2017/8/21	15:33:48	172.18.190	WIN-4PV6E9	Jpdate 8 succeeded	[double click for details]	
0037 2017/8/21	15:33:48	172.18.190	WIN-4PV6E9 I	End configuration ch	hange	
0038 2017/8/21	15:34:18	172.18.190	WIN-E6725M	Begin configuration	change	
0039 2017/8/21	15:34:18	172.18.190	WIN-E6725M	Waiting for pending	operation 8	
0040 2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	Jpdate 8 succeeded	d [double click for details]	
0041 2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M I	and configuration cf	hange	
						11.

図 2-50 Network Load Balancing Manager

8. ノード2のIPアドレスを入力し、ノード1の手順に従ってクラスタにノードを追加します。

	-		to the existing		
ost:	172.18.190	.33			C <u>o</u> nnect
Connecti	on status —				
terfaces -	available for c	configuring the	cluster		
nterface	name		Interfa	ace IP	

🗵 2-51 Network Load Balancing Manager - Add Host to Cluster : Connect

9. 設定完了後、ノード 2 上で Network Load Balancing Manager(ネットワーク負荷分散マネージャ)を開きます。 パネル左側の「NetworkLoad Balancing Clusters」(ネットワーク負荷分散クラスタ)を右クリックします。

「Connect to Existing」(既存の NLB クラスタに接続)をクリックしてのノード1の IP アドレスを入力します。 「Connect」をクリックし、接続状態が「Connected」と表示されたら「Finish」をクリックしてノード2の追加作業を終了します。

これらの設定が完了すると、手順の中で割り当てた仮想 IP アドレスを使用してクラスタに接続できます。

🥖 Networ	k Load Balar	ncing Manage	r			
File Clust	er Host Op	tions Help				
🖃 🧙 Ne	twork Load Bal	ancing Clusters	Cluster confi	uration for al knov	vn NLB clusters	
	New	Cluster	Cluster name		Cluster IP address	Cluster IP subnet mask Clu
	Conn	ect to Existing				
Log Entry	Date	Time	Cluster	Host	Description	_
0040	2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	Update 8 succeeded [double cli	ck for details]
0041	2017/8/21	15:34:37	172.18.190	WIN-E6725M	End configuration change	
0042	2017/8/21	15:39:54	172.18.190	WIN-E6725M	Begin configuration change	
0043	2017/8/21	15:39:54	172.18.190	WIN-E6725M	Waiting for pending operation 9	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
0044	2017/8/21	15:40:12	1/2.18.190	WIN-E6725M	Update 9 succeeded [double cli	CK FOR DETAILS]
0045	2017/8/21	15:40:12	172.18.190	WIN-E6725M	End configuration change	

図 2-52 Network Load Balancing Manager

(3) D-View7 のインストール

D-View7 クラスタのノード1上で、D-View7 インストールパッケージを実行します。
 「Core Server Type」に「Cluster Server」、「Cluster Role」に「Master」を選択 →「OK」をクリックします。

D-View 7 Install	ew
Choose Language	English
Core Server Type	Cluster Server
Cluster Role	Master 🔹
	ОК

🗵 2-53 Install Wizard

2. 必要なコンポーネントがインストールされ、正しく設定されているかチェックします。チェック完了後、「Start Installation」をクリックしイン ストールを続行します。

D-View 7 Install	
	dview 7
D-Link	This wizard will help you to install D-View 7,the professional Network ManagementSystem published by D-Link. Installation steps is listed in below: Step 1. Check and Configure Environment. IIS · NET Framework 4.0 · Windows Firewall · ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters Step 2. Check and Configure Database. · MongoDB Step 3. Install D-View 7.
	Start Installation Cancel

図 2-54 Start Installation

3. セットアップとシステム環境の設定が終了すると、全てのコンポーネントの「Result」のチェックが緑色になります。 「Next」をクリックし、インストールプロセスを続行します。

Check Finish	
	Result
·IIS	×
• .NET Framework 4.0	*
• Windows Firewall	1
ASP,ASP.NET,ISAPI Extensions,ISAPI Filters	×

🗵 2-55 Step1. Check and Configure Environment

- 4. MongoDB データベースの詳細を入力します。
 - 「MongoDB Host Address」:
 - MongoDB ホストの IP アドレスもしくはドメイン名を入力します。
 - 「Password Authentication」:
 パスワード認証チェックボックスのチェックを外します。MongoDB が以前の D-View 7 インストールの一部としてインストールされた場合、
 ユーザー名とのパスワードに「admin」と入力します。
 - 「Check Connection」:

クリックし、アカウント資格の有効性を確認します。

「MongoDB」アカウント資格の有効性が認められた後、「Next」をクリックしてインストールを続行します。

D-View 7 Install	
Step2. Check and Configu	ire Database
Please enter the information	n of the MongoDB you want to use.
MongoDB Host Address*	172.17.2.55
Password Authentication	IP or Domain Only
UserName	admin
Password	****
	Show Password
	Connection OK
	Back Next Cancel

🗵 2-56 Step2. Check and Configure Database

第2章 製品のインストール

注意 シングルサーバで利用していた MongoDB を使用する場合、そのサーバの情報を入力します。

5. ライセンスに合意する場合は「I accept the terms of the License Agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリックします。

D	D-View 7 1.3.0.6 Setup	x
	License Agreement Please review the license terms before installing D-View 7 1.3.0.6.	
	Press Page Down to see the rest of the agreement.	
	D-Link D-Vew Platform	*
	Software License Agreement	Ξ
	IMPORTANT READ CAREFULLY: This Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a single entity) and D- Link for the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, any media, any printed materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By installing, copying, or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, do not install or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the rest of the package to the location where you obtained it within thirty (30) days from purchase.	
	1. The SOFTWARE is licensed, not sold.	
	2. GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law and international copyright treaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except that you may either make one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single hard	Ŧ
	If you accept the terms of the agreement, click the check box below. You must accept the agreement to install D-View 7 1.3.0.6. Click Next to continue.	5
	☑ I accept the terms of the License Agreement	
	Next > Cancel	

⊠ 2-57 License Agreement

- 6. 以下の項目を設定します。設定完了後、「Next」をクリックします。
 - 「Install D-View to」: 通常 D-View7 のアプリケーションは「Program Files」のディレクトリ ("C:\Program Files\D-Link\D-View7\")にインストールされます。違うディレクトリへのインストールを希望する場合、「Browse」をクリックし別の場所を指定します。
 - ・「D-View 7 Web Url」: D-View7 アプリケーションにアクセスするための、初期 URLを入力します。domainname.com のようなホスト名か、192.168.0.100 のよう な IP アドレスのどちらかにすることができます。
 - $\lceil Web Destination Folder
 floor$:

通常("C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\")になります。違うパスを使用する場合は、「Browse」をクリックし、D-View7 Web ファイル がインストールされる別の場所を指定します。

• 「Local Probe IP Address」:

ドロップダウンメニューで、Probe がどのサブネットをモニタするかを決定する正しい IP アドレスを指定します。

D-View 7 1.3.0.6 Setup		_ D X
D-View 7 Configuration		D
D-View 7 Configuration		
Installation Folder		
Install D-View 7 to	C:\Program Files (x86)\D-Link\D-View 7\ Browse	
Web Configuration		
D-View 7 Web Url	http(s):// 172.17.2.55 /DView7	
Web Destination Folder	C:\inetpub\www.root\DView7Web\ Browse	
Probe Server Config	ration	
Local Probe IP Address	172.17.2.55	
	< Back Next >	Cancel

図 2-58 D-View7 Configuration

7. Windows スタートメニューに表示される D-View7 のフォルダ名を入力し、「Install」をクリックします。

D-View 7 1.3.0.6 Setup	
Choose Start Menu Folder Choose a Start Menu folder for the D-View 7 1.3.0.6 shortcuts.	D
Select the Start Menu folder in which you would like to create the program's	shortcuts. You can also enter a name to create a new folder.
D-View 7 Accessories Administrative Tools D-Link Games Maintenance PicPick Startup	
	< Back Install Cancel

🗵 2-59 Choose Start Menu Folder

8. インストールの進捗状況が表示されます。インストール完了まで数分かかる場合があります。 インストール完了後、「Next」をクリックします。

lastelling .	
Please wait while D-View 7 1.3.0.6 is being installed.	D
Extract: AjaxControlToolkit.dll	
Extract: OutputImage.ashx 100% Extract: ProbeHandler.ashx 100% Extract: ProbeSettings.asmx 100% Extract: SensorSettingHandler.ashx 100% Extract: SensorSettings.aspx 100% Extract: SystemLog.aspx 100% Extract: TrapMapHandler.ashx 100% Extract: TrapTools.aspx 100% Extract: UploadPhotoHander.ashx 100% Extract: UploadPhotoHander.ashx 100% Extract: UserHandler.ashx 100% Extract: UserHandler.aspx 100% Extract: UserPage.aspx 100% Extract: UserProfileOld.aspx 100% Extract: UserProfileOld.aspx 100% Extract: AjaxControlToolkit.dll < Back Next >	Cancel

図 2-60 Installing

9. 「Finish」をクリックし、インストールウィザードを終了します。

D-View 7 1.3.0.6 Setup	
D-Link	Completing the D-View 7 1.3.0.6 Setup Wizard D-View 7 1.3.0.6 has been installed on your computer. Click Finish to close this wizard.
	< Back Finish Cancel

⊠ 2-61 Completing

- 10. 続いて、D-View クラスタのノード 2 上でも同様に D-View7 のインストールを行います。
 - ノード2の設定の際は、「Core Server Type」に「Cluster Server」、「Cluster Role」に「Slave」を選択してください。

注意 以下の URL を Web ブラウザに入力し、D-View7 にアクセスできます。<cluster IP> には NLB 構成で設定した仮想クラスタ IP を指定します。

- http://<cluster IP>/DView7
- ・ https://<cluster IP>/DView7(SSL を使用している場合)

(4) データベースから既存 D-View7 サーバの IP を削除する

- 1. MongoDB サーバで管理者として「cmd」(コマンドプロンプト)を起動します。
- 2. 「cd」コマンドを使用して、「MongoDB」のインストールパスを変更します。(例:「cd C:\Program Files\MongoDB\bin」)
- 3. 「MongoDB」のサービスが開始していることを確認します。
- 4. 「mongo.exe」を入力 → 「Enter」をクリックし、データベースに接続します。

Q Services) ×
File Action View	Help					
(+ +) 📰 🔛	a 😹 🛛 📷 🕨 🖩 II 🕩	•				
🔍 Services (Local)	Q Services (Local)					
	MongoD8	Name 🗠	Description Status	Startup Type	Log On As	
		KtmRm for Distribut	Coordinate	Manual	Network S	
	Stop the service	Link-Layer Topolog	Creates a	Manual	Local Service	
	Restart the service	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Disabled	Local System	
		Microsoft .NET Fra	Microsoft	Disabled	Local System	
	Description	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Automatic	Local System	
	MongoDB Server	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Automatic	Local System	
		Microsoft Fibre Cha	Registers t	Manual	Local Service	
		Microsoft iSCSI Initi	Manages I	Manual	Local System	
		C. Microsoft Software	Manager c	Manual	Local System	- 11
		MongoD8	MongoD8 S Started	Automatic	Local System	
		Multimedia Class Sc	Enables rel	Manual	Local System	111
		🖓 Net. Msmq Listener	Receives a	Disabled	Network S	
	1	Net.Pipe Listener A	Receives a	Disabled	Local Service	
	1	Net.Tcp Listener A	Receives a	Disabled	Local Service	
L		O Met Ten Dort Sharin	Drouides a	Disabled	Local Service	

⊠ 2-62 MongoDB.exe

5. ログイン成功後、「use admin」を実行し管理者データベースへ移行します。

- 6. 「show users」を入力し、現在の全ユーザのデータベースを確認します。「MongoDB」が管理者モード(authentication mode)で実行されてい ることを確認します。
- 7. 「コマンドプロンプト」にエラーが発生していない場合、手順「11」へ移動します。
- 8. 「コマンドプロンプト」にエラーメッセージ「Error: not authorized on admin to execute command…」が表示されている場合、データベースア カウントとパスワードでログインする必要があります。



9. 「db.auth('admin', 'admin')」を入力し、管理者データベースへログインします。

> db.auth('admin','admin') 1

図 2-65 Admin

- 10. コマンドプロンプトに「1」が表示されるとログインは成功です。失敗した場合は再度手順「8」からやり直してください。
- 11.「use DView7」を入力し「D-View7」のデータベースに移行します。



12. 別途、新しくコマンドプロンプトを起動し、「ipconfig /all」を実行して MongoDB の IP アドレスと MAC アドレスを確認します。

C:\Users\Administrator>ipconfig /all	
Windows IP Configuration	
Host Name : WIN-BHNOSE6N8UC Primary Dns Suffix	
Ethernet adapter Local Area Connection:	
Connection-specific DNS Suffix .: Description Intel(R) 82562U 1	0/100 Network Connection
Physical Address	
図 2-67 ipconfig	

13. MongoDB に接続しているコマンドプロンプトに戻り、「db.Cor_ClusterInfo.remove({CoreMAC:'AA:BB:CC:DD:EE:FF'})」を実行して MongoDB 上のリファレンスを削除します。「AA:BB:CC:DD:EE:FF」の部分には物理アドレスを指定します。

```
> db.Cor_ClusterInfo.remove<(CoreMAC:'00:19:D1:35:F3:27'>>
WriteResult(< "nRemoved" : 1 >>
```

図 2-68 remove reference

ライセンスのアクティベーション

D-View7 の追加ライセンスのアクティベーション方法について説明します。 追加ライセンスのアクティベーションは、オンラインまたはオフラインで実行できます。

- 1. System > License 画面で「Add License」をクリックします。
- 2. ライセンスアクティベーションウィザードが開始されます。

「Online Activation」(インターネット経由のアクティベーション)または「Offline Activation」(オフラインアクティベーション)^{※1}を選択し、 「Next」をクリックします。

	Add License	×
0	2	3
	1. Choose Activation Mode	
Please choose th	e way you want to add licenses	
Online Activation	n	
Use the License H	Key to active your D-View 7 when the server is connected to the Int	ernet.
O Offline Activati	on	
Use the Activatio	n File to active your D-View 7 when the server can not be connected	d with the Internet.
		Next
2-69 Choose Ac	tivation Mode	

※1:オフラインでのアクティベーションを行う場合、購入時のライセンス申請で弊社から提供されたオフラインアクティベーションファ イルを使用する必要があります。必ずアクティベーション開始前にオフラインアクティベーションファイルをご準備ください。

注意 サーバの故障により新しいサーバへ移行する際に、故障したサーバでオンラインでのアンバインド処理ができない場合は、弊社システム側 での処理が必要になりますので弊社までご連絡ください。その場合、時期によりお時間をいただく場合がありますので、あらかじめご了承 ください。

3. ライセンスキーの入力、またはアクティベーションファイルの指定を行います。

「Online Activation」の場合:

Node または Probe の追加ライセンスパックのライセンスキーを入力します。ライセンスキー欄の横の「+」をクリックすると、複数のライセンスを同時にアクティベートできます。入力後、「Next」をクリックします。

Add License	×
0	3
nter the License Key	
E	
1	Back Next
	Add License 2 Inter the License Key

図 2-70 Enter the License Key

システムが自動的にライセンスの種類を識別し、D-Link サーバがライセンスの有効性を確認します。 ライセンスの有効性が確認されると、ライセンスキーは System > License 画面に表示されます。

「Offline Activation」の場合:

「Browse」をクリックし、アクティベーションファイルが保存されているフォルダを指定します。指定後、「Next」をクリックします。

	Add License	×
0	2	3
	2. Upload the Activation File	
Please upload the Activat	ion File	
Activation File	Browse	
		Back Next

☑ 2-71 Upload the Activation File

- 注意 入力したライセンスキーまたはアクティベーションファイルを登録できなかった場合、以下の点を確認してください。 ・ライセンスキーに無効な文字列が含まれていないか
 - ・システムの MAC アドレスは D-View を登録するために使用した MAC アドレスに合致している

	Add License	×
(\mathbf{x})	Failed to add license (License does not exist)!	
		Back

🗵 2-72 Failed to add license

4. [ライセンスキー」または「アクティベーションファイル」が D-Link アクティベーションサーバで認証されると、D-View7 サーバはアクティベートされたライセンスの種類に基づき自動的に利用可能なノード数や Probe 数を調整します。 ライセンスは System > License 画面からも管理できます。

	3. Result		
	3. Result		
Successful	lly added the licen	se(s) to the D-Vi	ew 7.
	License Summa	агу	
License NO.	Registration Date	Probe Server	Node
And Street and Street and	2014-06-10 17:47	0	50
ARE THE REAL PROPERTY.	2014-06-10 17:47	0	50
- The second second	2014-06-10 17:47	0	100
Total		0	200
obe Servers ate additional Probe Server I	by entering the Activat	ion Code to the Prob	e Server.
ntory, where you can find th devices into different group	e managed and unman (s).	aged devices. You ma	y create device group(s)
t Sensors is automatically and <u>> Sensor Settinos</u> to create	ded to monitor and ma customized sensors an	aintain the managed d id apply them on each	evices. However, you may device.
	Jicense NO.	License Summa Jeense NO. Registration Date 2014-06-10 17:47 2014-06-10 17:47 2014-06-10 17:47 Total Abbe Servers Abbe Ser	License Summary Jeense NO. Registration Date Probe Server 2014-06-10 17:47 0 2014-06-10 17:47 0 2014-06-10 17:47 0 Total 0 obe Servers o ate additional Probe Server by entering the Activation Code to the Probe tory, where you can find the managed and unmanaged devices. You madevices into different group(s). Sensors is automatically added to monitor and maintain the managed devices and apply them on each sensors and apply them on each sensor settings to create customized sensors and apply them on each sensor settings to create customized sensors and apply them on each sensor settings to create customized sensors and apply them on each sensor settings to create customized sensors and apply them on each sensor senting the Activation (apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting the Activation (apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting the Activation (apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensors and apply them on each sensor senting to create customized sensor sent sentif to create customized sensor sent sentif to cr

D-View のアップグレード

D-View6 から D-View7 へのアップグレードについて説明します。

D-View7の前モデルに D-View 6.0 があります。

D-View7 は新しいデータベーステクノロジーを使用しているため、D-View 6.0 から D-View7 ヘデータの移行を行うことはできません。 D-View7 はストリームラインやワークフローのプロセスといった観点で、デバイスの管理をよりシンプルに行うため、前モデルとは全く異なるデザ インやアーキテクチャを採用しています。

注意 D-View 6.0 と D-View7 を同一サーバにインストールしないでください。データベースとネットワークのコンフリクトが発生します。

D-View7 をインストールしたサーバの起動時または再起動時についての注意

サーバの起動時または再起動時には、D-View7 Core Server のサービスよりも Mongo DB のサービスが先に起動している必要があります。 Mongo DB のサービスが起動していない状態で D-View7 Server に Web ブラウザを使用してログインしようとした場合、下記のように "Core server error" が表示されます。

"Core server error"は、D-View7 Core Server が停止中(起動していない、もしくは起動に失敗した場合)であることを示します。

dview	7	
English		~
admin		1
••••		i
Core server e	rror	
Remembe	er me	Forget password?

⊠ 2-74 Core Server Error

インストーラによる依存関係の設定は行いません。

ユーザ環境に応じて Windows サーバのサービスの依存関係の設定を適切に行うなど、必ず Mongo DB が先に起動するようにしてください。

■ サーバと DB を同一筐体にインストールしている場合:

sc コマンドにより、依存関係を適切に設定してください。

sc コマンドの一例:sc config "DView7CoreServer" depend= "MongoDB"

■ サーバと DB を別筐体にインストールしている場合:

起動時もしくは再起動時には、必ず DB をインストールしているサーバを先に起動してください。

D-View7 へのログイン

 Windows から「スタート > すべてのプログラム > D-Link > D-View7 > D-View7」をクリックします。 標準ブラウザが起動し D-View7 のログイン画面が表示されます。



⊠ 2-75 Start > D-View

- 「Email」と「Password」を入力します。初期値は以下のとおりです。
 Email:admin
 - Password : admin
- 3. 「Login」をクリックします。

dview 7	dview 🛛	
English 👻	English	
Email	admin 💄	
Password	•••••	
Remember me Forget password?	Remember me <u>Forget password?</u>	
Login	Login	
© 2014 D-Link Corporation	© 2014 D-Link Corporation	

図 2-76 Login

パスワードは System > User / Workspace 画面から変更できます。詳細は「User / Workspace(ユーザ / ワークスペース管理)」の「ユーザの編 集」を参照してください。

OpenID を使用したログイン

D-View 7 は、通常のログインの他に OpenID を使用したログインが可能です。 OpenID 認証を利用すると、OpenID に対応した様々な Web サービスで共通 ID によるログインができるようになります。

OpenID を利用するには、事前に OpenID プロバイダから OpenID 用の URL を取得する必要があります。

OpenID アカウントの登録

OpenID プロバイダの Web サイトで OpenID の登録を行います。 本セクションでは、「OpenID.org.cn」を利用した OpenID 認証利用の設定例を記載します。

1. http://openid.org.cn/ にアクセスし、OpenID の新規登録を行います。

OPENI D. ORG. CN Home Login Register About
Welcomel
OpenID is an open, decentralized, free framework for user-centric digital identity. JOS(Java OpenID Server) is a multi-domain, multi-user OpenID Provider based on OpenID4Java, Spring Framework, Hibernate, Velocity.
OpenID: d* http://openid.org.cn/ Login Register
Copyright © 2006-2017, OpenID.org.cn

🗵 2-77 OpenID register 01

2. 必要な情報を入力し「Register」をクリックします。 登録が完了すると、「registration successfully」(登録が OK です)というメッセージが表示されます。

_	
	Welcome!
	OpenID is an open, decentralized, free framework for user-centric digital identity. JOS(Java OpenID Server) is a multi-domain, multi-user OpenID Provider based on OpenID4Java, Spring Framework, Hibernate, Velocity.
	REGISTER
	OpenID: d- http:// oidfordvtestopenid.org.cn/ Username must be lowercase, and the length is 1-16.
	Password:
	Confirm Password:
	Register
Ē	2, 29 OpphD register 02

☑ 2-78 OpenID register 02

注意 OpenID のユーザ名(URL)には数字を使用することはできません。

OpenID プロバイダの設定

新しい OpenID を D-View7 サーバに追加する方法について説明します。

注意 下記設定を行う前に、SMTP サーバを設定しておくことを推奨します。SMTP 設定については「About (本製品について)」を参照してください。

1. D-View7の System > User/Workspace 画面で「OpenID Provider」をクリックします。

System			
icense			
iscovery			
Jser / Wo	rkspace		
ensor Set	tings		
otificatio	n Center		
stem Lo	gs	All Users T	iotal Users 29 (👤 2 👢
rap Edito	r	, an obers i	
bout		New User	OpenID Provider

図 2-79 System - User/Workspace

2. 以下の項目を入力します。

「Provider Name」: OpenID のサービス提供プロバイダ 「URL」: OpenID サービスで登録した OpenID URL 「Abbreviation」: OpenID アカウントに適用する略称

rovider Name'	*	OpenID.org.cn			
RL*		http://oidfordvtest.	openid.org.	cn/	
bbreviation* ((1-4 Characters)	TPE			Add
0000-000-00-00-00-00 000-00-00-00-00-00-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
ount: 1 /10			States		Sector da
ount: 1 /10 Name	URL		Abb.	User	Action

⊠ 2-80 OpenID Provider

- 3. 「Add」をクリックし、エントリを追加します。
- 4. 「Save」をクリックし、設定を保存します。

OpenID ユーザの作成およびアクティブ化

OpenID ユーザを作成し、アクティブ化する方法について説明します。

- 1. System > User / Workspace 画面で「New User」をクリックします。
- 2. 以下の項目を設定します。

「Account Source」:「OpenID」選択します。

「Email Address」:E メールアドレスを入力します。設定したメールアドレスに、OpenID アカウントをアクティブ化するための招待メールが送 信されます。

「Name」:名前の入力します。

	Create	New User	×
9 Before creating a n needs to be sent to t	ew user, please make sure the SMTP server his user's email address.	(<u>System > About</u>) has been se	et correctly, since an activation email
Account Source	🔵 Local 💿 OpenID		
Email Address*			
Name*	* This field is required		
Description			
Account Type	🔵 Admin 💿 User		
Privilege*	Enable Name	Device Privilege	Module Privilege
		No Data Found	
			Submit

図 2-81 Create New User

3. 「Submit」をクリックします。

4. 受信したメールのハイパーリンクをクリックします。アクティブ化は7日以内に実行してください。



🗵 2-82 OpenID Invitation

5. 作成した OpenID Provider の略称をクリックします。

dview 🛛
To active your D-View 7 account, please choose the OpenID Provider, enter username and password to login.
WLY TEST TPE

🗵 2-83 OpenID Invitation

- 6. OpenID サービスプロバイダの画面にリダイレクトされます。 URL とパスワードを入力しログインします。
- 7. 以下の画面で、「Allow Forever」(永続許可)をクリックします。



図 2-84 OpenID Verification

アクティベーション完了のメッセージが表示され、OpenID による D-View7 へのログインが可能になります。

8. 「Go to Login」をクリックし、D-View7 のログイン画面を表示します。

dview 7	
English	-
Email	1
Password	ê
🗌 Remember me	Forget password?
Login	
Login with OpenID Account	
₩LT TEST TPE	

D-View7 からのログアウト

D-View7 からのログアウト方法について説明します。

1. 画面右上の「logout」をクリックします。



2. 「OK」をクリックします。



図 2-87 Notice

アンインストール

D-View7のアンインストール方法について説明します。

 Windows のスタートメニューから「Uninstall D-View7」アプリケーションを起動します。 (Start > D-Link > D-View7 > Uninstall D-View7)



2. アンインストールを確認するダイアログが表示されます。実行する場合は「Yes」、キャンセルする場合は「No」をクリックします。



図 2-89 Uninstall

3. アンインストールの進捗状況が表示されます。完了まで数分かかる場合があります。完了後、「Next」をクリックします。

D-View 7 1.0.0.8 Uninstall			
Ininstallation Complete Uninstall was completed successfully.			D
ompieted			
Delete file: C: \inetpub\www.root\DView7Web\Web\Systems\U	serProfile.aspx		-
Delete file: C: \inetpub \www.root \DView7 Web \Web \Systems \U	serProfileOld.aspx		
Remove folder: C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web\System	ms\		
Delete file: C: \inetpub \www.root \DView7 Web \Web.config	0		
Remove folder: C: \netpub\wwwroot\DView7 Web\Web\			
Delete file: C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web.config			
Delete file: C: \inetpub \www.root \DView7 Web \Web.sitemap			
Remove folder: C:\inetpub\wwwroot\DView7 Web\			
Delete file: C:\Program Files (x86)\D-Link\D-View 7\D-View.ico			
Delete file: C: \Program Files (x86) \D-Link \D-View 7 \D-View7 un	install.exe		
Remove folder: C:\Program Files (x86)\D-Link\D-View 7\			
Delete file: C: \ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Pr	ograms\D-Link\D-View7\Unin	stall D-View7.Ink	
Delete file: C: \ProgramData \Microsoft \Windows \Start Menu \Pr	ograms\D-Link\D-View7\D-Vie	ew7 Probe Configurat	or.lnk
Remove folder: C: \ProgramData \Microsoft \Windows \Start Mer	vu\Programs\D-Link\D-View7	L	
APPPOOL object "DView7AppPool" deleted			
Completed			
Iding Networks for People			
	< Bac	k Next >	Cancel

🗵 2-90 Uninstall Complete

4. D-View7 Probe Server のアンインストールが行われます。アンインストールの進捗状況が表示されます。完了まで数分かかる場合があります。

D-View 7 1.0.0.8 Uninstall	
Uninstalling Please wait while D-View 7 1.0.0.8 is being uninstalled.	D
Uninstalling D-View Probe Server	
STATE : 1 STOPPED WIN32_EXIT_CODE : 0 (0x0) SERVICE_EXIT_CODE : 0 (0x0) CHECKPOINT : 0x0 WAIT_HINT : 0x0 [SC] DeleteService SUCCESS Uninstalling D-View Probe Server	
SERVICE_NAME: DViewProbeServer TYPE : 10 WIN32_OWN_PROCESS STATE : 3 STOP_PENDING (STOPPABLE, NOT_PAUSABLE, ACCEPTS_SHUTDOWN) WIN32_EXIT_CODE : 0 (0x0) SERVICE_EXIT_CODE : 0 (0x0) CHECKPOINT : 0x3 WAIT_HINT : 0x3e8	E
-Building Networks for People	Next > Cancel

⊠ 2-91 Uninstalling (Probe)

5. 完了後、「Next」をクリックします。

D-View 7 1.0.0.8 Uninstall	x
Uninstallation Complete Uninstall was completed successfully.	
Completed	
Delete file: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web\Systems\UserProfile.aspx Delete file: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web\Systems\UserProfile.dl.aspx Remove folder: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web\Systems\ Delete file: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web.config Remove folder: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web.config Delete file: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\Web.sitemap Remove folder: C: \inetpub\wwwroot\DView7 Web\ Delete file: C: \inetpub\wwroot\DView7 Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\D-Link\D-View7\Uninstall D-View7.Ink Delete file: C: \inetpub\wroot\DView7AppPool" deleted Completed	•
Building Networks for People <back next=""> Cancel</back>	

🗵 2-92 Uninstallation Complete

6. 「OK」をクリックし、アンインストールを終了します。



図 2-93 Uninstallation Successfully

第3章 Dashboard (ダッシュボード)

- 「Dashboard (ダッシュボード) について」
- •「ウィジェットの表示を変更する」
- •「ダッシュボードのカスタマイズ」
- 「ウィジェットのカスタマイズ」

Dashboard (ダッシュボード) について

ダッシュボードは、ログイン後に表示される管理画面です。様々な情報の表示や管理を行うことができます。

多数のウィジェットから構成され、ユーザの目的よってカスタマイズ可能です。

初期設定ではオーバービュー(概観)ダッシュボードが表示され、ネットワーク管理者にとって基本的な数値のセットなどが表示されます。 ウィジェットタイトルバーをクリック、ドラッグすることにより、ダッシュボード内のウィジェットのカスタマイズを行うことができます。

Dashboard > Wireless の順にクリックすると、Wireleess ダッシュボード画面が表示されます。Wireleess ダッシュボード画面では、D-View7 の管理 するネットワーク内の無線デバイスに特化した情報をウィジェットで表示します。



ウィジェット



図 3-1 ウィジェットの表示例

ウィジェットの表示を変更する

ダッシュボードのインタフェースは、以下の項目でカスタマイズすることができます。

- ウィジェットスタイル変更
- データ表示期間変更
- 表示最小化



注意 ダッシュボード上のウィジェットを移動するには、ウィジェットのタイトルバーをクリック→ドラッグします。

ウィジェットスタイル変更



ドロップダウンメニューで、ウィジェットの表示タイプを以下から選択します。

- ・「ビジュアルグラフモード」:情報を円グラフや折れ線グラフなどで表示します。
- ・「グリッド / テーブルモード」:情報を表で表示します。

データ表示期間変更



ドロップダウンメニューでデータの更新間隔を選択します。 選択する更新間隔がグレイアウトされている場合、ウィジェットは現在表示可能なデータのみを表示します。

表示最小化



ウィジェットを表示しない場合は「-」をクリックします。 再表示、もしくは表示を広げる場合は「+」をクリックします。

ダッシュボードのカスタマイズ

ダッシュボードをカスタマイズする方法について説明します。

ダッシュボードは現在のワークスペースに固有のものです。複数のユーザでワークスペースを共有する場合、新しく作成したダッシュボードをユー ザ間で共有します。複数のユーザで異なるダッシュボードを使用する場合、ユーザはそれぞれ別のワークスペースを使用する必要があります。 ワークスペースについての詳細は、「User / Workspace(ユーザ / ワークスペース管理)」を参照してください。

1. 「Dashboard」メニューから「Customized」をクリックします。

dview 7			
Dashboard	Inventory	Monito	
• Overview	l > Overview		
Wireless		Core	
Customized	Λ		

- ⊠ 3-3 Dashboard > Customized
- 2. D-View7 のインストール直後、または新しいワークスペースの場合、カスタムダッシュボードはありません。 「Create a New Dashboard」をクリックし、新しいカスタムダッシュボードを作成します。



🗵 3-4 Create a New Dashboard

 以下の項目を入力し、「Create」をクリックします。 「Name」:ダッシュボード名

	Create New Dashboard	×
Name*		
Description		
		Create

- ⊠ 3-5 Create New Dashboard
- 作成したダッシュボードは画面左端のダッシュボードリストに表示されます。
 追加でダッシュボードを作成する場合は、ダッシュボードリストの「+」をクリックします。

=

dview	7	
Dashboard	I Inventory	Monitor
∦ Home > Da	ashboard > Customized	
F	*	Custon
Search "Dash	board" Q	Caston

⊠ 3-6 Dashboard List

Custom View

■ ダッシュボードリストについて

- ダッシュボードリストを表示しない場合は、ダッシュボードリスト上部の「<<」をクリックします。ダッシュボードリストはダッシュボード名の左側をクリックすることにより再表示されます。
- ドラッグしてリストの順番を変更できます。
- ・ ダッシュボード名の右側のドロップダウンメニューから、ダッシュボード名の変更またはダッシュボードの削除ができます。
- ・ 検索ボックスでダッシュボードの検索ができます。ダッシュボード名(または一部)を入力し、エンターキーまたは検索ボタンを押してください。

ウィジェットのカスタマイズ

ダッシュボードに表示するウィジェットのカスタマイズ方法について説明します。

1. 新規のダッシュボードをカスタマイズする場合は、「Add a New Widget」をクリックします。

Creat	ed successfully			
No widge	et found! You can	Add a New V	<u>Vidget</u> for this d	ashboard.

🗵 3-7 Add a New Widget

既存のダッシュボードをカスタマイズする場合は、Dashboard > Customized 画面でダッシュボードを選択します。 画面右上の「Add Widget」をクリックします。

Add Widget

以下の項目を入力し、「Create」をクリックします。
 「Name」:ウィジェット名を入力します。
 「Choose a device」:ウィジェットがデータを収集するデバイスを選択します。

選択したデバイスの種類によりデータの収集方法は異なります。一部のセンサのオプションは、ウィジェットの作成完了前に指定する必要があります。初期値では、データの時間間隔は1分に設定されています。

	Create New Widget	×
Name*		
Choose a device*	Choose one Item 💌	
		Create

🗵 3-8 Create New Widget

3. 「Customized」エリアに作成したウィジェットが表示されます。 タイトルバーのウィジェット名をクリックし、ウィジェット名を変更できます。

	Add Widget
Basic widget	
No Data	

図 3-9 Customized

タイトルバーのアイコンを使用し、ウィジェットの表示を変更できます。詳細は「ウィジェットの表示を変更する」を参照してください。 4. ウィジェットを削除する場合は、タイトルバーの×アイコンをクリックし、確認画面で「OK」をクリックします。

	Alert		>
(!)	Are you sure you want to delete this widget?		
		ОК	Cancel

第4章 Inventory (インベントリ)

- ・「Inventory の概要」
- ・「ラベルの作成」
- 「Unmanaged (未管理デバイス)」
- •「D-View Managed (管理デバイス)」
- ・「Device Detail(デバイス詳細)」

Inventoryの概要

本章では Inventory(インベントリ)メニューの機能について説明します。 Inventory 画面には、ネットワーク上のハードウェアデバイスとその関連情報(IP アドレス、シリアル番号、ファームウェア)がインベントリリス トとして表示されます。

インベントリリストには以下の2種類があります。初期値では「D-View Managed」のリストが表示されます。

- ・「D-View Managed」: D-View で管理しているデバイスのリストです。
- ・「Unmanaged」: D-View で管理していないデバイスのリストです。

「D-View Managed」リストは、デバイスグループのラベルによって整理されます。 新しいデバイスがネットワークに追加されると、D-View は自動的に「Unmanaged」リストにデバイスを追加します。 「D-View Managed」リストのデバイスがラベルグループから削除されると「Unmanaged」リストへ移動されます。

■ インベントリ画面

dview 7							
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report Sys	tem		
∦ Home > Invento	ory	Actual Contracts	i de shéhu wary 'f	Street Sail State I	Server and the server of the s	Sheel Steel Sheel	1688. shirter Chundai
+	*	D-View M	anaged Total 138 (33 🛑 84 🔵 21)			
D-View Manage	d (138)						
Search "Label"	Q	Label 🔻	Apply To Task	Move to Unmanaged			
D 123(54)	=	Stat	us 💠 System Name 🔺	IP \Leftrightarrow	MAC \$	Device Type	Model Name
5 (3)	=		<u>N/A</u>	172.08.191.15	30:AP 17:12:25:80	Unified AP	DWL-8600AP
3(3)	=		N/A	172.18.195.188	18:52:69:05:01:58	Unified AP	DWL-8600AP
👝 test(56)	≡						
4(2)	=		<u>N/A</u>	192.168.4.22	18:52:69:05:01:58	L2 GE Switch	DGS-3000-28X5
77(4)	=		<u>N/A</u>	252.368.4.22	10:52:69:05:01:58	L2 GE Switch	DGS-3120-24TC
8(3)		•	<u>N/A</u>	192.168.4.22	10:52:69:05:01:58	L2 GE Switch	DGS-3120-2450
2(13)	Ξ	•	N/A	192.168.4.22	18:62:69:05:01:58	L2 GE Switch	DIS-300G-14PS
11							

図 4-1 インベントリリスト

■ インベントリリストの編集



A:インベントリリストが表示されているコラムを非表示にします。

- B: ラベルを検索します。
- C: ラベル名を変更、またはラベルを削除します。
- D:ドラッグし、リストの順番を変更します。
- E:ラベルを作成します。

ラベルの作成

「D-View Managed」リストのデバイスに付与するラベルの作成方法について説明します。

1. 画面左端の「+」をクリックします。



図 4-1 インベントリリスト

- 2. 以下の項目を設定します。
 - ・「Name」:ラベル名を入力します。
 - ・「Label Color」:ラベルの色を選択します。
 - 「Description」: ラベルの概要を入力します。

	Create New Label	×
Name*		
Label Color		
Description		
		Create
	-	

🗵 4-2 Create New Label

3. 作成したラベルは画面左端のインベントリリストに表示されます。

Unmanaged(未管理デバイス)

新しく検出された未管理のデバイスは、「Unmanaged」リストに追加されます。

He	ove to Managed	Delete Device					Search "Keyword	r 0,	Export
0	System Name *	IP 0	MAC	Device Type 0	Model Name 0	FW Version 0	HW Version 0	Serial Number 0	Discover Time
	N/A.	172.18.190.122	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-16 19:24
æ	N/A	172.18.190.124	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-16 19:24
ł	N/A	172.18.190.111	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-10 19:24
0	N/A	172.18.190.120	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-16 19:24
5	N/A.	172.18.190.18	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-16 19:24
	N/A.	172.18.190.2	N/A	Unknown	N/A	N/A	N/A	N/A	2014-05-16

☑ 4-3 Unmanaged Panel

右パネルでは以下の操作をすることができます。

■ 「Unmanaged」リストから「D-View Managed」リストヘデバイスを移動する

- 右パネルで移動するデバイスにチェックを入れます。
- 2. 右パネル上部の「Move to Managed」をクリックします。

■ 「Unmanaged」リストからデバイスを削除する

- 1. 右パネルで削除するデバイスをチェックします。
- 2. 右パネル上部の「Delete Device」をクリックします。

注意 一度削除したデバイスを「Unmanaged」リストに戻すことはできません。

■ 「Unmanaged」リストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. デバイスのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

■「Unmanaged」リストをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、デバイスリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

System Name		Device Type	All		\checkmark	Model Name		
Discover Time	From	IP Range 🗸						
	То			8 . 8				
							Search	Close

3. 検索する項目を入力します。

4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

D-View Managed (管理デバイス)

「D-View Managed」リストにあるデバイスは、右パネルに以下のように表示されます。 「D-View Managed」リストのデバイスは、「System Name」列または「IP」列のリンクをクリックし、直接管理することができます。

D-Vi	ew Man	aged Total 24 (● 16	●8 ●0)									
La	bel 👻 🚺	Apply To Task Mo	ve to Unmanaged							Search "Keyword"	Q	Export
۰	Status :	System Name *	IP 0	MAC 0	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW Version	HW Version	Serial Number	Discover	Label
	•	N/A	CLARK H		L2 GE Switch	DG5+1210-28	RW	4.10.B005	C1	N/A	2019-01-28 10:07	N/A
8	•	209 API	11040414	10-21-00-02-00-24	Wireless Switch	DWS-3160-24PC	RW	1.00.038	A1	R3BG1C2000005	2019-01-28 10:07	N/A
	•	Cisco-2960	100303414	000000000000	L3 GE Switch G	Cisco-2960	RO	N/A	A1	N/A	2019-01-28 10:06	N/A
		D-Link	STATISTICS.	CONTRACTOR OF MAL	L2 FE Switch	DES-3226STK	RW	N/A	N/A	N/A	2019-01-28	N/A

🗵 4-5 Managed device panel

右パネルでは以下の操作をすることができます。

■ デバイスにラベルを適用する

- 1. 追加するデバイスにチェックを入れます。
- 2. 「Label」ドロップダウンリストでラベルを選択します。
- 3. 「Apply」をクリックします。

■ デバイスにタスクを適用する

- 1. タスクを適用するデバイスにチェックを入れます。
- **2.** 「Apply to Task」をクリックします。

■ 「D-View Managed」リストから「Unmanaged」リストヘデバイスを移動する

- 1. 移動するデバイスにチェックを入れます。
- **2.** 「Move to Unmanaged」をクリックします。

■「D-View Managed」リストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. デバイスのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

■ 「D-View Managed」リストをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、デバイスリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

abel 👻 Appl	y To Task Move to	Unmanaged					Advanc	ed Search 🗙	Ex
Status	All	~	System Name		Device Type	All			~
Model Name			Discover Time	From	IP Range 🗸		e 5		
				То			2 2		

- 図 4-6 Advanced Search
- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

■ デバイスの詳細情報を確認する

- 1. 「System Name」列のリンクをクリックします。
- 2. デバイスの詳細情報画面が表示されます。

dview 7						Upgrade Esther.Lei (logout) admin * English * Help * D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System	C 20 W C 1 6 S 165 U B
중 Home > Invent	ory > 209_API- (1	72.18.190.209)				
209_API- (1 Overview	72.18.190.2 Wireless	09) Updated o Sensors	m: 2019-03-06 16:54:	30 🖸 Settir	igs	() Reboot
		Belo	ngs to Device Labels			Panel
		De	evice Information			
Status IP	Online	90.209	Vendor	D-Link 14:D6:4	D:60:E6:60	Recent 5 Active Events
Managed A	P 0/0		AP License	12		Event 🔍 Time 🗸 Sensor Type 🔍 Sensor 🔍 Label Al

図 4-7 Advanced Search

デバイスの詳細情報画面については、「Device Detail(デバイス詳細)」を参照してください。

■ デバイスの Web GUI にアクセスする

- 1. 「IP」列のリンクをクリックします。
- 2. D-View の管理画面を離れ、対象デバイスの Web GUI にアクセスします。

Device Detail(デバイス詳細)

Inventory メニューでは、各デバイスの詳細情報を確認できます。

デバイス情報画面の表示方法:

- 1. 「Inventory」をクリックします。
- 2. 「D-View Managed」パネルの「System Name」列のリンクをクリックします。

Overview(デバイス概要)タブ

デバイスのシステム情報、使用状況、SNMP 情報などを確認できます。 表示されるウィジェットはデバイスの種類によって異なります。

dview 7					Upgrade Peter.chan (logout) admin + English + Help + D-Link
Dashboard I	nventory Monitor	Maintenance	Report Sy	stem	
Home > Inventory >	DGS-3120-24T (172.18.19	1.212)			
GS-3120-24T.	(172.18.191.212)	Updated on: 2019-02-0	1 13:52:31 Ø		
Overview	Sensors Monitor 1	/iews Settings			() Reboot
		Belongs	to Device Labels		Panel
					Unit1 - FW:3.10.012 HW:A1 MAC:34:08:04:64:66:dc SN:PHV0185000011
		Devic	e Information		D-Link
Status	Online		Vendor	D-Link	
IP	172.18.191.212		MAC	34:08:04:C4:F6:DC	Unit2 - FW(3.10.012 HW(AL MAC(34:00:04:c4:f7:d6 SN(P4V0105000013
Stack Status	Yes		Stack Unit	2	D-Link
Model Name	DGS-3120-24TC		Device Type	L2 GE Switch	
HW Version	A1		FW Version	3.10.012	2 4 0 8 10 12 14 10 18 20 2228 2411 9260 9260 PAR
Total Flash	29MB		SNMP Privilege	RW	Recent 5 Active Events More Info
Power					Event + Time - Sensor Type + Sensor + Label Alert Message
Unit ID	Power I	D	Description	Status	2019-01-31 18:45 Memory Utilization Memory Utilization >= 10% for 1 Tim Sectors
1	1		Main power	Working	2019-01-29 02:49 CPU utilization Default N/A CPU utilization >= 70% for 3 Times
1	2		Redundant powe	r Fail	
2	1		Main power	Working	
2	2		Redundant powe	r Fall	Latest Ju Days Availability
Fan					
10 10 mm	· · · · · ·				

図 4-8 Overview タブ

■ ウィジェットの編集

☑ アイコンのついているウィジェットを編集できます。

- 1. 🔣をクリックします。
- 2. 各項目を編集します。
- 3. 「Save」をクリックします。

	SNMP Information	
Authentication Protocol 😢	~	
Authentication Username 🥑		
Authentication Password 💡		•
SNMP RW Community	private	
SNMP RO Community	public	
		Save Cancel

図 4-9 ウィジェットの編集例
Sensors(検出情報)タブ

「Sensors」タブは、デバイスから検出した情報を表示します。

- ・ 無線アクセスポイントの場合:無線クライアント、無線トラフィック、Ping 時間などの情報
- ・ ルータやスイッチの場合:CPU 使用率、ワイヤスピード、エラーパケットなどの情報

Sensors (センサ) 設定は、System > Sensor Settings 画面から行うことができます。詳細は「Sensor Settings (センサ設定)」を参照してください。



⊠ 4-10 Device Detail Sensors

Monitor Views(トポロジリスト)タブ

「Monitor Views」タブは、選択したデバイスを含むトポロジリストを表示します。 トポロジリストには、トポロジ名、トポロジの種類、作成日時、トポロジ内のデバイス数、トポロジの概要(任意)が表示されます。

トポロジ名のリンクをクリックすると、選択済みのデバイスを含むトポロジビューが新しいウィンドウで表示されます。 画面右上の検索ボックスでは、リストの内のトポロジをフィルタ検索することができます。

dview 7							Upgrade Esther.Lei (logout) admin * English * Hel	D-Link
Dashbo Home Invento	ry Monitor	Maintenance	Report	System			C 20 👽 4 🗓	4 S 163 U 3
룸 Home > Inventory > 209_A	PI- (172.18.190.209)							
209_API- (172.18.19	0.209) Updated	on: 2019-03-07 16:04:1	16 Ø					
Overview Wireles	s Sensors	Monitor Views	Settin	igs				() Reboot
							Search "Keyword"	Q
Name *		Туре		Create	e Date 0	Device 0	Description 0	
172.18.190.1-172.18.191.	254	Default Topology		N/A		19	N/A	

図 4-11 Device Details Monitor Views

Settings(デバイス設定)タブ

「Settings」タブでは、D-View7 サーバから設定コマンドをデバイスに送信し、設定を適用することできます。 管理スイッチ、管理アクセスポイント、ルータ / ファイアウォールなどの設定を行うことが可能です。デバイスの種類によって画面の表示内容は異 なります。

dview 7					Upgrada Pet	er.chan (logout) admin + English + Help + D-Li t
Dashboard Inventory	Monitor Maintenance	Report	System			
# Home > Inventory > DGS-3120-24	T (172.18.191.212)					
DGS-3120-24T (172.18	.191.212) Updated on: 2019-0	2-01 15:28:01 Ø				
Overview Sensors	Monitor Views Setting	IS				O Reb
Settings	Status			Settings	Port	Status
SNTP / NTP Status	ON			SSH Status		ON
DHCP Server Status	Not Supported			Teinet Status	23 /	ON E
Trap Status	Set D-View as	Trap Server		Web Status	80 🖌	ON E
Syslog Status	D. COFF			HTTPS Web Access Status		Not Supported
Spanning Tree	ON I					
LLDP Status	ON E					
Safeguard Engine	D DEF					
POE Status	Not Supported					
RHON	Not Supported					

☑ 4-12 Device Details Settings

アクセスポイント用設定オプション

アクセスポイント設定時に表示される項目です。

メニュー	説明
SNTP / NTP Status	デバイスの NTP/SNTP 設定状況を表示します。変更する場合デバイスでの設定を行います。
DHCP Server Status	デバイスの DHCP サーバ設定状況を表示します。変更する場合デバイスでの設定を行います。
Trap Status	デバイスの D-View への Trap 送信設定状況を表示します。D-View7 で設定変更を試みることも可能です。 「Set D-View as Trap Server」をクリックすると D-View7 により、デバイスに対して必要な設定変更が行われ、成功すると インタフェースに Trap サーバの設定変更オプションが表示されます。
Syslog Status	デバイスの D-View への Syslog 送信設定状況を表示します。D-View7 で設定変更を試みることも可能です。 「Set D-View as Syslog Server」をクリックすると D-View7 により、デバイスに対して必要な設定変更が行われ、成功する とインタフェースに Syslog サーバの設定変更オプションが表示されます。
Operation Mode	デバイスの操作モード設定状況を表示します。変更する場合デバイスでの設定を行います。
SSH Status	デバイスがリモート SSH ログインをサポートしている場合、D-View7 からデバイスの SSH サービスを設定することが可能 です。リモート SSH の有効 / 無効を指定します。ステータスが「Not Supported」と表示されている場合、サービス自体 は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「SSH」はポート 22 に設定されてい ますが、SSH サービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリックして、正しいポート番号を入力します。
Telnet Status	デバイスがリモート Telnet ログインをサポートしている場合、D-View7 からデバイスの Telnet サービスを設定することが 可能です。リモート Telnet の有効 / 無効を指定します。ステータスが「Not Supported」と表示されている場合、サービ ス自体は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「Telnet」はポート 23 に設定 されていますが、Telnet サービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリックして、正しいポート番号を 入力します。
Web Status	デバイスがリモート Web ログインをサポートしている場合、D-View7 からデバイスの Web サービスを設定することが可能です。リモート Web サービスの有効/無効を指定します。ステータスが「Not Supported」と表示されている場合、サービス自体は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「Web サービス」はポート 80 に設定されていますが、リモート Web ログインサービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリックして、正しいポート番号を入力します。
HTTPS Web Access Status	選択したデバイスが HTTPS でのリモートログインをサポートしている場合、SSH サービスのステータスを D-View7 で管理 できます。「HTTPS Web Access Status」の有効 / 無効を指定します。ステータスが「Not Supported」と表示されている場合、 D-View7 は選択したデバイスの HTTPS サービスをサポートしていません。HTTPS の通知ステータスを有効にするには、管 理ソフトウェアを使用してください。初期値では、「HTTPS Web Access Status」はポート 443 を使用しています。 リモートセキュア Web ログインサービスが非標準ポートで実行されている場合は、編集ボタンをクリックして正しいポー ト値を入力します。

管理スイッチ用設定オプション

管理スイッチ設定時に表示される項目です。

メニュー	説明
SNTP / NTP Status	デバイスの NTP/SNTP 設定状況を表示します。変更する場合デバイスでの設定を行います。
DHCP Server Status	デバイスの DHCP サーバ設定状況を表示します。変更する場合デバイスでの設定を行います。
Trap Status	デバイスの D-View への Trap 送信設定状況を表示します。D-View7 で設定変更を試みることも可能です。
	「Set D-View as Trap Server」をクリックすると D-View7 により、デバイスに対して必要な設定変更が行われ、成功すると
	インタフェースに Trap サーバの設定変更オプションが表示されます。
Syslog Status	デバイスの D-View への Syslog 送信設定状況を表示します。D-View7 で設定変更を試みることも可能です。
	Set D-View as Syslog Server」をクリックすると D-View7 により、デバイスに対して必要な設定変更が行われ、成功する
	とインタノエー人に Syslog サーバの設定変更オフションか表示されます。
Spanning Tree	「デバイスがスバニンクツリーフロトコルをサボートしている場合、「D-View 7」で機能の有効 / 無効を指定することが可能
	ぐり。ホタノを「UN」に指定りると、ナハイスのスハーノクツリーを有効にしまり。
LLDP Status	デバイスが LLDP ステータス表示をサポートしている場合、「D -View 7」で機能の有効 / 無効を指定することが可能です。
	「ホダノを「ON」に指定すると、ナハイスのLLDPステーダス衣示を有効にします。
Safeguard Engine	ナハイ 人か D-Link セーノカートエンシンをサホートしている場合、「D -View / 」で機能の有効 / 無効を指定することか可 鉄です。ギタンを「ON」に指定する トーデバイスの D Link セーフボードエンジンをちかにします
	I 能です。ホメンを「UN」に指定すると、アハイスの D-LITK セーフガードエノソンを有効にします。
POE Status	「アハイスか POE をリホートしている場合、「D - View 7」で機能の有効7 無効を指定することか可能です。ホタンを「ON」 に地学すると、デバイスの DoE ちちかにします
NIMON	「アイスか NMON を ケホート している場合、 しーView 7」 て 機能の 有効 7 無効を 指定 する ことか 可能 C す。 ホタンを 「ON」 に 指定すると デバイスの RMON を有効にします
	「アバイスがりて」「SSITロノインをリが、「PCCCVS場合、「D-View7」がらアバイスのSSITり、こへを設定することが 「可能です。リモート SSH の有効 / 無効を指定します。ステータスが "Not Supported" と表示されている場合。サービス自
	体は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「SSH」はポート 22 に設定されて
	いますが、SSHサービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリックして、正しいポート番号を入力します。
Telnet Status	↓ デバイスがリモート Telnet ログインをサポートしている場合、「D-View7」からデバイスの Telnet サービスを設定するこ
	とが可能です。リモート Telnet の有効 / 無効を指定します。ステータスが "Not Supported" と表示されている場合、サー
	ビス自体は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「Telnet」はポート 23 に設
	定されていますが、Telnet サービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリックして、正しいポート番号
	を入力します。
Web Status	デバイスがリモート Web ログインをサポートしている場合、「D-View7」からデバイスの Web サービスを設定することが
	可能です。リモート Web サービスの有効 / 無効を指定します。ステータスが "Not Supported" と表示されている場合、サー
	ビス自体は有効であってもステータス通知が無効となっている可能性があります。初期値では「Web サービス」はポート
	80 に設定されていますが、リモート Web ログインサービスが他のポートで実行されている場合、編集ボタンをクリック
	して、正しいボート番号を入力します。
HTTPS Web Access	選択したデバイスが HTTPS でのリモートログインをサポートしている場合、SSH サービスのステータスを D-View7 で管理
Status	「できます。「HTTPS Web Access Status」の有効 / 無効を指定します。ステータスが「Not Supported」と表示されている場
	台、D-View/ は選択したナバイスの HTTPS サービスをサポートしていません。HTTPS の通知ステーダスを有効にするには、
	官理ソフトワエアを使用してください。初期個では、HITPS Web Access Status」はホート 443 を使用しています。リモー
	「ドモキュア Web ロフィンリーモスが非標準小一下で夫付されている場合は、編集小ダフをクリックして止しい小一下値を 入力します

注意

DGS-1100-05/08/08P/05PD B1 は、RFC1213、RFC1215 の一部の MIB のみをサポートしています。そのため、自動でのトポロジ作成など、使用 できない機能があります。

第5章 Monitor (モニタ)

- •「Monitor の概要」
- ・「Device View(デバイスビュー)」
- ・「Topology View(トポロジビュー)」
- 「Rack View(ラックビュー)」
- ・「Event View(イベントビュー)」
- 「Monitor Logs(モニタログ)」
- 「Ping Helper (Ping 送信)」

DGS-1100-05/08/08P/05PD B1 は、RFC1213、RFC1215 の一部の MIB のみをサポートしています。そのため、自動でのトポロジー作成など、 使用できない機能があります。

Monitor の概要

本章では Monitor メニューの機能について説明します。Monitor メニューには以下の画面があります。

- Device View:すべての検出済みデバイスがカテゴライズされた状態で表示されます。
- Topology View:トポロジマップを使用しデバイスがどのように接続しているかを表示します。
- Rack View:物理的なラックやネットワークスタックのレイアウトのシミュレートを行うことが可能です。
- ・ Event View:デバイスに発生したイベントを時系列にログとして保存します。
- Monitor Logs:ネットワークのデバイスから受信した「Trap」や「Syslog」のメッセージを表示します。
- Ping Helper: リモートまたはローカルの Probe へ Ping を行います。

Device View (デバイスビュー)

Device View 画面は、デバイスのハードウェアタイプや機能について、Inventory 画面よりも詳細な情報を表示します。 デバイス名のリンクをクリックすると、各デバイスの詳細が表示されます。Probe へのリンクをクリックすると、Probe の詳細が表示されます。

- Device View 画面には以下のタブがあります。
 - Switch Access Point Rogue AP Others Wireless Controller Wireless Client Mobile dview 7 peter.chan (logout) | admin ~ | English ~ | Help ~ | D-Link Inventory Monitor Maintenance Report System CHEN WEST THOSE S FEET Switch Wireless Controlle Mobile Others Access Point Roose AP Total 42 (🔵 26 🛑 12 🛞 4) Event System * IP : MAC 1 Syslog FW Ve Attached on DHCP Probe Status + 172.18.191.27 00:13:46:ED:3E:5C DES-3026 4 days, 10:02:1 Not St D-Link N/A 172.18.191.25 34:08:04:2D:D8:39 DGS-3426 D-Link N/A 2 days, 5:28:22 ON Not Supported OFF A2 2.60.826 • . N/A Local Probe OFF 192.168.4.253 78:54:2E:C4:70:00 DGS-3620-28TC 81 days, 6:22:2 ON e D-Link N/A OFF A1 2.64.A005 teiwan 81 days, 6:22:5 Not Supported 192.168.4.71 90:8D:78:AD:D9:6D DXS-1100-. N/A BW D-Link N/A OFF Not Sup 41 1.00.8015 taiwan Not Supported 172.18.190.244 34:08:04:C4:F7:D6 DG5-3120-24TC 51 days, 8:06:1 ON G RW D-Link N/A ON A1 Not Supported N/A ON Local Probe 00:00:04:88:44:00 DGS-3120-10.91.91.90 RW D-Link 0 day 18:20:41 OFF OFF 3.10.B028 Not Supported a N/A ON A2 15 days, 2:42:3 OFF 192.168.4.212 C0:A0:88:72:F5:65 DES-1210-28P RW . 8 N/A D-Link N/A Not Supported Not Supp 3.12.8038 Not Supporte

🗵 5-1 Device View

デバイスリストのエクスポート

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. CSV 形式でリストがダウンロードされます。

■ デバイスリストの検索

- 1. 検索ボックスにキーワードを入力します。
- 2. Enter キーまたは検索ボタンを押します。
- 3. より詳細な検索を行う場合は、検索ボックス下に表示「Advanced Search」をクリックします。
- 4. 検索条件を設定し、「Search」をクリックします。

■ 画面の表示を変更する

- 1. リストの項目横のアイコンをクリックし、アルファベット順/逆順でソートできます。
- 2. リスト右端の「+」をクリックし、表示する項目を変更できます。

rap	🛓 Syslog 🛓	HW _ FW _ Attache	^{ed} днср 🛓 🕇
		Select Columns	
	All		
Der	vice		
	Model Name	✔ Vendor	
	Fotal Flash	FW Version	
	HW Version	SNMP Privilege	
	Location	Serial Number	
1.0			

3. 表示する項目を選択し、「Apply」をクリックします。

注意 DG

Topology View (トポロジビュー)

Topology View 画面は、サブネット内の Probe によって検出されたネットワーク内のデバイスに基づき、ネットワーク配置図を作成します。 初期設定ではシステムの D-View7 サーバにインストールされた Probe が稼働します。 追加の Probe とサブネットのリストは、画面左側の Probe リストに表示されます。



図 5-2 Topology View

■「Default」タブと「Customized」タブ

トポロジリストには以下の2つのタブがあります。

- ・「Default」タブ:D-View7 Probe とそのサブネット、検出されたすべてのデバイスが表示されます。
- ・「Customized」タブ:カスタマイズしたトポロジが表示されます。

■ トポロジリストの編集



A:新しいトポロジマップを作成します。詳細は「トポロジマップの作成」を参照してください。

- B:イベントを変更します。詳細は「イベントの変更」を参照してください。
- C:トポロジリストが表示されているコラムを非表示にします。
- D:トポロジを検索します。
- E:トポロジの情報を編集、またはトポロジを削除します。編集できる項目は以下です。
 - 「Name」(名前)
 - 「Data Source of links」(データソースのリンク)
 - 「Description」(概要)
- F:ドラッグし、リストの順番を変更します。

イベントの変更

トポロジに表示するイベントを変更できます。

- 1. 設定アイコン をクリックします。
- 2. 以下の画面でイベントを選択します。



3. 「OK」をクリックします。

トポロジマップの作成

新しくトポロジを作成する方法について説明します。

- 1. 「Customized」タブを選択します。
- 2. 画面左端の「+」をクリックします。
- 3. 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 - 「Topology Generate Way」:トポロジの作成方法を「Automatically」(自動)または「Manually」(手動)から選択します。「Manually」(手動) を選択した場合、デバイスリストからデバイスを選択します。
 - ・「Choose a Central Switch」:トポロジの作成方法として「Automatically」(自動)を選択した場合、Central Switch (中央スイッチ)を指定します。
 - ・「Analysis topology within Hops of chosen devices」:ホップ数を選択します。

	C	reate New Top	ology			×
0						2
	1.	Choose D	evice			
Topology Generate Way	Automatically: Select	one device and	set hops to gen	erate the top	ology ()	
	O Manually: Generate th	e topology of se	elected devices			
Choose a Central Switch* 🥑	Choose one Item	Ŧ				
Analysis topology within Hops of chosen devices	2 V Hops					
		Linked Devic	es			
System Name IP	D-View Managed	Model Name	Device Type	Probe	Location	Label
		No Data Found	đ			
						Next

🗵 5-4 Create New Topology 01

- 4. 以下の画面で設定を行い、「Apply」をクリックします。
 - ・「Name」:トポロジマップの名前を入力します。
 - ・「Data source of links」:データソースへのリンクを、「Synchronization with system」(システムと同期)または「User-defined」(ユーザ定義) を選択します。
 - 「Description」:トポロジマップの概要を入力します。
 - ・「Display Type」トポロジマップの種類を「Star」(スター型)または「Tree」(ツリー型)から選択します。
 - •「Central Device for display」:トポロジの中央となるデバイスを選択します。「Auto」にチェックを入れると、選択した中央スイッチをもと にマップを作成します。

	Create New Topology	
0	Topology Information	
	Topology Internation	
Name*		
Data source of links	 Synchronization with system User-defined 	
Description		
Display Type	• 🔆 • 💦	
Central Device for display	Star Tree	
		Back App

トポロジマップの操作

トポロジマップの操作方法について説明します。

■ 表示の移動・拡大・縮小

トポロジマップを上のオブジェクトを移動する場合、クリックし、表示したい方向へドラッグします。 「+」「-」でトポロジマップ画面の拡大、縮小を行います。

ターゲットアイコン 💮 をクリックすると中央スイッチがトポロジマップの中央に来るように表示されます。

■ メニューアイコン



・「Edit」:トポロジマップの編集を行います。詳細は「トポロジマップの編集」を参照してください。

- ・「Display」:トポロジマップに表示する項目を「IP」「Stystem Name」から選択します。
- ・「Export」:トポロジマップを PNG 形式で表示します。
- Q:トポロジマップを検索します。検索した箇所は赤枠で示されます。

■ デバイス情報の表示

カーソルをトポロジ上のデバイスに乗せると、IPアドレスやMACアドレス、最近のイベントなど、当該デバイスについての情報がポップアップで表示されます。



図 5-6 Device Information

■ 接続情報の表示

カーソルをトポロジ上の線に乗せると、リンクポートの情報がポップアップで表示されます。

Est 172.18.190.19	DMA-512 172.10.190.222						
	Line Information Capacity Link Port	16					
	Name	IP	Port				
	209	172.18.190.209	1/21				
	test	172.18.190.199	Slot0/4				
•	Traffic RX / TX Last Updated	9 Kbps / 18.58 Kbps 2017-04-28 11:45:2	3				
172.	Detection Source	FDB					

⊠ 5-7 Line Information

トポロジマップの編集

- 1. トポロジマップ画面右上の「Edit」をクリックします。
- 2. トポロジマップ上部に表示される以下のアイコンを使用して編集を行います。



🚠 「Auto Arrangement」

トポロジマップの表示タイプと中央スイッチを選択します。

Auto Arrangement						
Display Type	O Star Tree					
Central Device for display	N/A 👻 🗌 Auto					
	Save					

🗵 5-8 Auto Arrangement

「Display Type」:表示タイプを「Star」(スター型)または「Tree」(ツリー型)から選択します。 「Central Device for display」:中央スイッチを選択します。「Auto」をチェックすると自動的に中央スイッチを選択します。

「Edit Devices」

Т

新しいデバイスの追加や既存のデバイスの削除などを行います。

All	Selected					Search "K	leyword"	C
V	System Name	* IP \$	D-View Managed	Model ¢	Device Type	¢ Probe ¢	Location \$	Label
•	N/A	172.18.191.164	Yes	DWL-6600AP	Unified AP	Local Probe	N/A	N/A
•	N/A	172.18.191.247	Yes	DWL-8600AP	Unified AP	Local Probe	N/A	N/A
•	N/A	192.168.0.17	Yes	N/A	Unknown	000	N/A	N/A

図 5-9 Edit Devices

既存のデバイスの削除

デバイスのチェックを外し、「Save」をクリックします。

新規デバイスの追加 「All」をクリックし、有効なデバイスを表示します。追加するデバイスを選択 →「Save」をクリックします。

🗹 「Edit Line」

トポロジマップでデバイス間を接続している線の編集を行います。

既存の線を編集する

- (1) トポロジマップの線を選択します。
- (2) 🖸 をクリックします。
- (3) 以下の画面で設定を行います。

「Link Type」:リンクタイプを「Normal Link」「LACP Link」「Logical Link」から選択します。 「Link Device」:リンクしているデバイスが表示されます。

「Link Port」:リンクポートを選択します。 「Link To」:リンク先を選択します。

			Lines Se	tting		2
Link Type Link Device	Normal Link 192.168.10.201	OL	ACP Link	O Logi	cal Link .200	
Link Port	LAN-p1	~	Link To	1	~	
						ок

81

図 5-10 Line Settings(4)「OK」をクリックします。

新規の線を作成する

- (1) デバイスにカーソルを合わせます。
- (2) クリック&ドラッグでデバイスからデバイスへの線を作成します。



(3) 以下の画面で設定を行います。

「Link Type」: リンクタイプを「Normal Link」「LACP Link」「Logical Link」から選択します。 「Link Device」:リンクしているデバイスが表示されます。 「Link Port」:リンクポートを選択します。 「Link To」:リンク先を選択します。

	Lines Setting	22
Link Type Link Device Link Port	Normal Link LACP Link Logical Link 192.168.10.201 Ink To 1	
		ОК

⊠ 5-11 Line Settings

(4)「OK」をクリックします。

📆 「Delete」

選択したデバイスまたは線を削除します。

3. 以下のいずれかをクリックし、編集を終了します。 「Exit wihout Saving」:変更を保存せずに編集を終了します。 「Save and Exit」:変更を保存し、編集を終了します。

注意 ユーザ定義のリンクはトポロジ内で最も高い優先度を持ち、トポロジの更新による影響を受けません。

Rack View (ラックビュー)

Rack View 画面では、物理ラックをシミュレートしたり、デバイスのグループ化などを行う上での「仮想ラック」を作成できます。 複数のラックがラックリストにリスト化され、画面の左側に表示されます。



図 5-12 Rack View

■ ラックグループリストの編集



A:新しいラックグループを作成します。「Name」(ラックグループ名)と「Description」(概要)を入力し「Create」をクリックします。 B:イベントを変更します。表示するイベントをチェックし、「OK」をクリックします。

C:リストが表示されているコラムを非表示にします。

D:リストを検索します。

- E: ラックグループリストの名前を変更、またはラックグループリストを削除します。
- F:ドラッグし、リストの順番を変更します。

ラックの作成

新規のラックを作成する方法について説明します。

- ラックを追加するラックグループを選択します。
 新規でラックグループを作成する場合はラックグループリストの「+」アイコンをクリックします。
- 2. 画面右上部の「Add Rack」をクリックします。
- 3. 「New Rack」画面右上の「+」をクリックします。



🗵 5-13 New Rack

4. ラックに追加するデバイスを選択し、「Add」をクリックします。

All	Selected]			Search "Keyw	ord" C
	Status (System Name 🔺	MAC \$	IP \Leftrightarrow	Device Type 👙	Model Name 🔶
	•	<u>N/A</u>	00:1B:11:16:6E:40	172.18.191.48	L2 FE Switch	DES-3052P
	•	<u>N/A</u>	1C:7E:E5:29:ED:07	172.18.190.253	Smart GE Switch	DGS-1500-20
	•	<u>N/A</u>	00:19:5B:EC:32:8C	192.168.0.27	L2 FE Switch	DES-3052P
	•	DES-3052P	00:19:5B:EC:32:8C	192.168.0.27	L2 FE Switch	DES-3052P
	•	DES-3828P	00:19:5B:13:37:40	192.168.0.29	L3 FE Switch	DES-3828P
	•	DES-3828P	00:19:5B:13:37:40	192.168.0.29	L3 FE Switch	DES-3828P
	•	DEV-191.28	00:22:B0:82:C2:80	172.18.191.28	L2 FE Switch	DES-3552
	•	DGS-1500-20	C8:D3:A3:A2:DC:BE	<u>192.168.0.15</u>	Smart GE Switch	DGS-1500-20
	•	DGS-3100	00:08:05:00:00:85	<u>172.18.191.41</u>	L2 GE Switch	DGS-3100-48
	•	DGS-3120-24TC- TEST	AC:F1:DF:B1:24:E0	<u>192.168.0.254</u>	L2 GE Switch	DGS-3120-24TC
						« < 1 2 3 >

図 5-14 Add Device

5. デバイスがラックに追加され、以下のように表示されます。

	Rack001	+	x
•		CIQX	
A B (1	72.1		
DES3028-35	(17		
DES-3052_2	2 (1	C ₩ I Q ×	
• DES-3200-28	3 (1	C 💟 I Q ×	
• dgs3120-24t	c (1	C V I Q ×	
D-Link (172.		C W I Q X	

🗵 5-15 Rack List

デバイスはドラッグ&ドロップで有効なラックに移動できます。

Event View (イベントビュー)

Event View 画面は、D-View7 サーバで発生したすべてのイベントをリスト化して表示します。

本画面には以下のタブがあります。

- ・「Device」タブ:検出したデバイスから受信したイベントを表示します。
- ・「System」タブ:システムイベントを表示します。

dview 🏾				Upgrade	Matt_Luu (logout) admin 🔻 English 🤻	Help V D-Link
Dashboard	Inventory M	Aonitor Maintena	ince		C 62 W 2	1 I 27 S 53 U 84
쑴 Home > Mon	itor > Event View					
Device	System				Show Active Events	Acknowledged Events
					Search "Keyword"	Q Export
Even	¢ Time v	Sensor Type 0	Source 🖗	Label	Alert Message	Transition Log \diamond
🗆 🔛	2014-05-09 11:30	CPU Utilization	DES-3200-28 (172.18.191.46)	-	CPU Utilization >= 80% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:30	CPU Utilization	DES-3026 (172.18.191.44)	-	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
	2014-05-09 11:28	CPU Utilization	DGS-3650 190.210 (172.18.190.210)	••	CPU Utilization >= 70% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:28	CPU Utilization	test (172.18.191.172)	•	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:27	CPU Utilization	das3120-24tc (172.18.191.50)	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
	2014-05-09 11:25	CPU Utilization	<u>N/A (172.18.191.99)</u>		CPU Utilization >= 70% for 1 Times	Yes
🗆 🔛	2014-05-09 11:25	CPU Utilization	dws4026-191.111 (172.18.191.111)		CPU Utilization $>=$ 80% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:23	CPU Utilization	DES-3052 22 (172.18.191.47)	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
	2014-05-09 11:21	CPU Utilization	D-Link DAP-2360 (172.18.190.155)	•••	CPU Utilization >= 70% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:17	CPU Utilization	DES3028-35 (172.18.191.35)	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:17	CPU Utilization	A B (172.18.191.38)	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:17	CPU Utilization	<u>111 (172.18.190.43)</u>	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:17	CPU Utilization	D-Link DAP-2590 (172.18.191.153)		CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:16	CPU Utilization	<u>N/A (172.18.191.31)</u>	•••	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
	2014-05-09 11:16	Ping	D-Link DAP-2310 (172.18.191.170)	-	Response Time = Online for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 11:06	CPU Utilization	test (172.18.191.43)	•	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-09 10:08	CPU Utilization	D-Link DAP-3690 (172.18.191.166)	-	CPU Utilization >= 90% for 1 Times	Yes
C	2014-05-08 20:20	Wired Traffic	A B (172.18.191.38)	-	TX \geq = 10Gbps for 1 Times	Yes
C	2014-05-08 19:35	Wired Traffic	<u>111 (172.18.190.43)</u>	•••	RX >= 10Gbps for 1 Times	Yes
C	2014-05-08 18:03	Wired Traffic	DGS-3650 190.210 (172.18.190.210)	••	TX $>=$ 10Gbps for 1 Times	Yes
20 🗸 Reco	ds per page				« < 1	23456> >>

図 5-16 Event View(Device タブ)

shboard	Inventory Ma	nitor Maintenance			C 62 W 21 I 27 S 53 U
lome > Monito	or > Event View				
Device	System				Show Active Events Acknowledged Events
					Search "Keyword" Q Export
Event	Time 🔻	Source	Action \diamond	Target	Alert Message
S	2014-05-08 17:47	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.49)	2014/5/8 17:47:02 N/A (172.18.190.49) has been Discovered
S	2014-05-08 17:46	Local Probe (localhost)	Discover	D-Link (172.18.190.233)	2014/5/8 17:46:44 D-Link (172.18.190.233) has been Discovered
S	2014-05-08 16:43	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.32)	2014/5/8 16:43:32 N/A (172.18.190.32) has been Discovered
S	2014-05-08 16:43	Local Probe (localhost)	Manage	N/A (172.18.190.209)	2014/5/8 16:43:18 N/A (172.18.190.209) has been Managed
S	2014-05-08 16:41	admin	Manage	D-Link DAP-2590 (172.18.191.153)	2014/5/8 16:41:01 D-Link DAP-2590 (172.18.191.153) has bee Managed
S	2014-05-08 16:40	admin	UnManage	N/A (172.18.190.253) N/A (172.18.191.12)	2014/5/8 16:40:54 N/A (172.18.190.253) and N/A (172.18.191.12) have been UnManaged
S	2014-05-08 16:11	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.124)	2014/5/8 16:11:21 N/A (172.18.190.124) has been Discovered
S	2014-05-07 20:57	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.222)	2014/5/7 20:57:58 N/A (172.18.190.222) has been Discovered
S	2014-05-07 15:45	Local Probe (localhost)	Discover	D-Link DAP-2590 (172.18.191.153)	2014/5/7 15:45:05 D-Link DAP-2590 (172.18.191.153) has bee Discovered
S	2014-05-05 16:35	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.191.242)	2014/5/5 16:35:42 N/A (172.18.191.242) has been Discovered
S	2014-05-05 15:32	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.50)	2014/5/5 15:32:25 N/A (172.18.190.50) has been Discovered
S	2014-05-05 13:58	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.191.248)	2014/5/5 13:58:55 N/A (172.18.191.248) has been Discovered
S	2014-05-05 11:21	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.53)	2014/5/5 11:21:08 N/A (172.18.190.53) has been Discovered
S	2014-05-05 09:47	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.71)	2014/5/5 9:47:54 N/A (172.18.190.71) has been Discovered
S	2014-05-05 09:47	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.48)	2014/5/5 9:47:52 N/A (172.18.190.48) has been Discovered
S	2014-05-05 09:47	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.27)	2014/5/5 9:47:50 N/A (172.18.190.27) has been Discovered
S	2014-05-05 09:47	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.18)	2014/5/5 9:47:47 N/A (172.18.190.18) has been Discovered
S	2014-05-04 16:45	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.191.223)	2014/5/4 16:45:10 N/A (172.18.191.223) has been Discovered
S	2014-05-04 14:09	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.191.179)	2014/5/4 14:09:46 N/A (172.18.191.179) has been Discovered
S	2014-05-04 14:09	Local Probe (localhost)	Discover	N/A (172.18.190.224)	2014/5/4 14:09:31 N/A (172.18.190.224) has been Discovered

図 5-17 Event View(System タブ)

Event View 画面の操作

■ イベントを認識済みにする

- 1. リストからイベントを選択します。
- 2. リスト上部に表示される「Acknowledge」をクリックします。

■ イベントをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、デバイスリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

Acknowledge	Advanced Search ×	Export					
Event	All	Time	From	Sensor Type	All		~
			То				
Source							
						Search	Close

🗵 5-18 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

■ イベントリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. リストが CSV 形式でエクスポートされます。

■ アクティブなイベントのみ表示する

1. 画面右上部の「Active Events」をクリックします。

■ 認識済みのイベントのみ表示する

1. 画面右上部の「Acknowledged Events」をクリックします。

✓モ) 「Device」タブのイベントリスト内にあるリンクをクリックすると、詳細情報が表示されます。

Monitor Logs (モニタログ)

Monitor Logs 画面は、検出したデバイスから受信した Trap イベントと Syslog イベントを表示します。

本画面には以下のタブがあります。

- ・「Trap Log」タブ:検出したデバイスから受信した Trap イベントを表示します。
- 「Syslog」タブ:Syslog イベントを表示します。

view 7							peter.chan (logout) admin + English + Help + D-Lin
ashboard	Inventory	Monitor	Maintena	nce Rep	ort System		C 122 W 2 1 59 5 100
Home > Monitor >	Monitor Logs						
Trap Log	Syslog						
							Advanced Search 🛩 Export
Time .	System	Name IP		SNMP Version	Generic Type	Original Message	Translated Message
2019-01-31 15:4	3:23 Test Mob	le 172.	.18.190.224	V2	enterpriseSpecific	Trap OLD: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.49 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.3.9.0-CPU usage: 13% Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.2.1.1.1.2.0-0.0.0.0 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.2.1.1.1.2.1.1.2.0-062828027356261 	Trap OID: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.4.9 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.3.9.0=CPU usage: 13% Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.2.1.1.1.2.0=0.0.0.0 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.2.1.1.5.1.1.26=062820027356261
2019-01-31 15:4	3:23 Test Mob	le 172	18.190.224	V2	enterpriseSpecific	Trap OID: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.4.10 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.3.10.0=Memory usage: 38% Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.1721.70.3.2.0.2.1.1.1.2.0=0.0.0.0	Trap OID: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.4.10 Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.3.10.0-Memory usage: 38% Binding Variable: 1.3.6.1.4.1.171.70.3.2.0.2.1.1.1.2.0=0.0.0.0

図 5-19 Monitor Logs (Trap Log タブ)

dview 7						Upgrade Matt_Luu (logout) admin v English v Help v D-Linck
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System		C 52 W 21 1 27 S 53 U 64
∦ Home > Monito						
Trap Log	Syslog					
						Advanced Search Export
Time 🔻	System	Name		$\mathbf{IP} \ \varphi$	Severity \$	Message
2014-05-04 0	9:10:37 <u>test</u>			172.18.191.172	Debug	CRIT: Unit 1, System cold start
2014-05-04 0	9:10:37 <u>test</u>			172.18.191.172	Debug	CRIT: Unit 1, System started up

図 5-20 Monitor Logs (Syslog タブ)

Monitor Logs 画面の操作

- イベントをフィルタする
- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、リストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

								Advanced Search 🔺	Export
SNMP Version	All	~	Generic Type	All	~	Time	From		
							То		
Original Message	OID							Search	Close

図 5-21 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。
- イベントリストをエクスポートする
- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. デバイスのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

(メモ) イベントリスト内にあるリンクをクリックすると、詳細情報が表示されます。

Ping Helper (Ping 送信)

リモートまたはローカルの Probe へ Ping を行います。

Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System		C 90	W 66 I 4	7 S 362	U 5
∦ Home > Monitor >	Ping Helper								
Probe to send	Local Pro	be	•						
IP									
Ping Times	1		•						
Packet Size	32		•						
			Send						
Times			Roundtrij	o (ms)	TTL				
				No Data Found					

図 5-22 Ping Helper

- 1. 以下の項目を入力します。
 - •「Probe to send」:Ping を送信する Probe を選択します。
 - ・「IP」: IP アドレスを入力します。
 - •「Ping Times」:Ping の回数を選択します。
 - ・「Packet Size」:パケットサイズを選択します。
- 2. 「Send」をクリックします。
- 3. Ping の結果が画面下部に表示されます。

第6章 Maintenance (メンテナンス)

- ・「Maintenance(メンテナンス)の概要」
- 「Batch Configuration (バッチコンフィグレーション)」
- ・「Firmware Management(ファームウェア管理)」
- ・「Configuration Management (コンフィグレーション管理)」
- ・「Task Management(タスク管理)」
- ・「File Management(ファイル管理)」
- ・「Configuration Comparison (コンフィグレーション比較)」

Maintenance(メンテナンス)の概要

Maintenance メニューでは、以下の設定を行います。

- ・ Batch Config: テンプレートを使用し、複数のデバイスを同時に設定、管理します。
- Firmware Management:ファームウェアの管理を行います。
- Configuration Management : コンフィグレーションの管理を行います。
- Task Management: タスクの管理を行います。
- ・ File Management : ファームウェアファイル、コンフィグレーションファイルの管理を行います。
- Configuratioin Comparison : コンフィグレーションを比較を行います。

注意
ファームウェアアップグレード、コンフィグバックアップ、コンフィグリストアについては、下記の制限があります。

- DXS-3600 シリーズ:単体、物理スタックを含むファームウェアアップグレード、コンフィグリストアは未サポート。
- DXS-3400 シリーズ:物理スタック構成でのファームウェアアップグレードは未サポート。
- DGS-3630 シリーズ:物理スタック構成でのファームウェアアップグレードは未サポート。
- DGS-3630-28SC/28TC/52TC は単体でのファームウェアアップグレードも未サポート。
- DGS-3620 シリーズ:物理スタック構成でのファームアップグレード、コンフィグリストアは未サポート。
- DGS-3420 シリーズ:物理スタック構成でのファームウェアアップグレードは未サポート。
- DGS-3120 シリーズ:物理スタック構成でのファームウェアアップグレードは未サポート。
- DGS-1510 シリーズ:物理スタック構成でのファームウェアアップグレードは未サポート。
- ・ DMS-1100 シリーズ:ファームウェアアップグレードは未サポート。
- DGS-1100-05/05PD/08/08P(B1): すべて未サポート。
- ・ DIS-200G シリーズ:ファームウェアアップグレードは未サポート。
- ・ DWL-8610AP:コンフィグバックアップは未サポート。
- DAP-3662:コンフィグバックアップは未サポート。

Batch Configuration (バッチコンフィグレーション)

Batch Configuration 画面では、複数のデバイスを同時に設定、管理できます。 コンフィグのテンプレートはデバイスによって異なります。

Maintenance>Batch Configuration をクリックすると、「Config Template」タブの「Common Template」が表示されます。

dview 7				Upgrade Matt_Luu (logout) admin v B	english - Help - D-Link	
Dashboard Inventory	Monitor	Maintenance	System		C 🖸	2 W 21 I 27 S 53 U 84
	fig					
«		100				
Config Template Script Template	Commo	on Template				
Search "Template" Q	Include a f	ew general configuration	ons			
a Common Template	Q Click the C	DEATE halten to creat	hateb cooling to	als with this template for a group of devices		
AP Profiles Configuration	V Click the C	REATE DUCON to creat	s batch coning ta	Based black	6	a second
DHCP Server Dynamic Pool	Sub-Templa	te		Description	Supported Model	Create
Distributed Tunneling Confi	LLDP Status	Configuration		Set LLDP status for device	All Category	Create
Captive Portal Global Config	Telnet Statu	s Configuration		Set Telnet status and port for device	All Category	Create
Managed Access Point Confi	Web Access	Status Configuration		Set Web Access status and port for device	All Category	Create
Modifying Radio Configurati	Safeguard E	ngine Status Configura	tion	Set Safeguard Engine Status for device	All Category	Create
Multi-SSID Configuration	Reboot			Reboot device	All Category	Create
Wireless Network Configura	Trap Status	Configuration		Set Trap status for device	All Category	Create
RF Management Configurati	Syslog Statu	s Configuration		Set Syslog status for device	All Category	Create
Security Configuration	RMON Statu	s Configuration		Set RMON status for device	All Category	Create
SNMP Trap Configuration	Spanning Tr	ee Status Configuration		Set Spanning Tree status for device	All Category	Create
SSH Configuration		-		-		
System Configuration						
Wireless Configuration						
Wireless Global Configuration						
Wireless MAC ACL Configur						
Wireless Schedule Configur						
Wireless SNMP Trap Config						

🗵 6-1 Batch Configration





A:「Config Template」タブまたは「Script Template」タブを選択します。

B: テンプレートまたはスクリプトを検索します。

C:新しいスクリプトテンプレートを作成します。詳細は「スクリプトテンプレートの作成」を参照してください。

D:リストが表示されているコラムを非表示にします。

- E:テンプレートの名前を変更、またはテンプレートを削除します。
- F:ドラッグし、リストの順番を変更します。

コンフィグテンプレートの使用

コンフィグテンプレートの使用方法について説明します。

- 1. 「Config Template」タブを選択します。
- 2. 画面右端の「Create」をクリックします。
- 3. コンフィグの動作を設定します。
 - 以下の画面の例の場合は、「LLDP Status」の「Enable」(有効)/「Disable」(無効) を選択します。

	Create New Task X									
0				2 1. Device			3			
LLDP Sta	tus Configu	ration								
LLDP Sta	atus	Enable 🗸								
Apply to	Device(s)									
All	Selected	Select All Deselect All				Search "Keyword"	Q			
	Status 0	System Name 🔺	MAC 0	IP 0	Device Type 🍦	Model Name 💠				
	•	DGS-1100-10MP	54.860A/7000017	153.195.30.200	L2 GE Switch	DGS-1100-10MP				
		DGS-1210	54.8666A(7006040	152.198.00.200	L2 GE Switch	DGS-1210-28P				
		DGS-1510-28	54.8668478668397	153.166.00.200	L2 GE Switch	DGS-1510-28				
		DGS-3000-10L	54.866Ar78660107	152.198.00.200	L2 GE Switch	DGS-3000-10L				
	•	DGS-3000-10TC/A2	54:86:6A:70:662:07	152.168.08.290	L2 GE Switch	DGS-3000-10TC				
		DIS-200G-12SW-DJP	54.8666A(70660)07	152.166.00.200	L2 GE Switch	DIS-200G-12S/SW				
	•	Switch	54.800Ac7000D07	152,166,00,200	L2 GE Switch	DGS-1510-28X				
		Switch	Section 20 address	192, 102, 10, 200	1.2 GE Switch	DGS-1510-20				

🗵 6-2 Template 01

- 4. タスクを適用するデバイスを選択し、「Next」をクリックします。
- 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 「Name」:タスク名を入力します。
 「Description」:タスクの概要を入力します。
 「Type」:タスクのタイプを「One Time」(1回のみ実行)/「Recurrent」(複数回実行)から選択し、スケジュールを設定します。

		Create New Task	×
		0	3
		2. Set Task Details	
Name*			
Description		~	
Туре	One Time ○ Re	urrent	
	Time Start	Immediately	
	Expired after	1 V Hour(s)	
			Back Next

🗵 6-3 Template 02

6. 確認画面で「Submit」をクリックします。

			Create New	Task	
<u></u>			<u></u>		
		3	3. Confirm C	reation	
lask Info					
Name	test				
Description	N/A				
Time Start	Immediately				
Expired after	1 Hour(s)				
onfiguration Set	tings				
LLDP Status	Enable 🗸				
apply to Device(s)				
Status 🌵 Systen	n Name *	MAC 0	IP 0	Device Type 🕴	Model Name 🔶
DGS-1	100-10MP	54(68)94(70)90(07	192,158,13,208	L2 GE Switch	DGS-1100-10MP
					Back Subm
					Jubin
5-4 Templ	ate 02				

スクリプトテンプレートの作成

- 1. 画面左上の「+」をクリックします。
- 2. 以下の画面で設定を行います。
 - •「Name」:スクリプト名を入力します。
 - 「Description」: 概要を入力します。
 - ・「Command Line」: コマンドを入力します。右端のオンラインヘルプで、基本的なコマンドライン入力ガイドラインを参照できます。

	Create New Script	
lame*		
escription	~	
	~	
Command Line		e

🗵 6-5 Create New Script

3. 「Create」をクリックします。



スクリプトテンプレートの使用

- 1. 「Script Template」タブを選択します。
- 2. 画面右下の「Create」をクリックします。
- 3. スクリプトを適用するデバイスを選択し、「Next」をクリックします。
- 4. 認証情報を入力し、「Next」をクリックします。

		Create New Task		
Ø			3	4
	2. Set Authenti	cation Info & Assign A	ttributes	
Default Value				Reset
Deliver Protocol*	Username*		Password	
SSH 🔽				
Device Attributes				Reset
				Search: Search Device
Device *	Deliver Protocol*	Username* 👙	Password	¢
DG5-1100-10MP (192 168 10 200)	[Default]	✓ [Default]	[Default]	

図 6-6 Script Template 01

- 5. 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 - ・「Name」:タスク名を入力します。
 - ・「Description」:タスクの概要を入力します。
 - ・「Type」:タスクのタイプを「One Time」(1回のみ実行)/「Recurrent」(複数回実行)から選択し、スケジュールを設定します。

o —		• •	4
		3. Set Task Details	
Name*			
Description		Ç	
Туре	● One Time	current	
	Time Start Expired after	Timmediately	
			Back Next

New Task

図 6-7 Script Template 02

6. 確認画面で「Submit」をクリックします。

				Create New Task			
			4	. Confirm Creat	ion		
isk Info							
Name	test						
)escription	N/A						
lime Start	Immediately						
Expired after	1 Hour(s)						
Command Line							
Command Line #AAA #AAA #AAA Attributes							
Command Line #AAA #AAA #AAA Attributes		Deliver	Protocol*	Usernam	*	Password	
Command Line #AAA #AAA #AAA Attributes Device DGS-1100-10MP	(192.168.10.200)	Deliver N/A	Protocol*	Usernam CLI_USEF	»* NAME	Password	
Command Line #AAA #AAA #AAA Attributes Device DGS-1100-10MP	(192.168.10.200)	Deliver N/A	Protocol*	Usernam CLI_USEF	* NAME	Password	
Command Line #AAA #AAA #AAA Attributes Device DGS-1100-10MP pply to Device(s) Status © System	(192.168.10.200) Name * IP	Deliver N/A	Protocol* Device Type 🕴	Usernam CLI_USER FW Version 🕴	a* NAME HW Version 0	Password	Label

🗵 6-8 Script Template 03

注意 同時に Telnet や SSH を実行できる数はお使いの Windows OS によって異なります。

Firmware Management (ファームウェア管理)

Firmware Management 画面では、ネットワーク上のデバイスのファームウェアアップグレード、トラッキングなどの管理を行います。

注意 ファームウェア更新プロセスの初期ステップにおいて、デバイスの種類とファームウェアバイナリが一致していることを確認してください。 一致していないデバイスを選択してしまった場合、更新プロセスは正しく終了しません。 また、ファームウェアリリースノートに記載されている更新の際の注意などを確認し、問題なくプロセスが完了できるかを事前に確かめて ください。

ファームウェアアップグレード

- 1. 画面右上の「Firmware Upgrade」をクリックします。
- 2. ファームウェアとデバイスを選択し、「Next」をクリックします。
 - ファームウェアは以下から選択できます。
 - ・Upload a new firmware file to upgrade:新しいファームウェアをアップロードする
 - ・Use existing firmware file from D-View 7 to upgrade: D-View7 に存在するファームウェアを使用する
 - ・Use existing firmware file from remote server to upgrade: リモートサーバに存在するファームウェアを使用する

					Create New Task					
1					2					3
				1. U	pgrade Sett	ing				
W Upgra	ade Configurati	on								
Upgrade	Method		Upload a ne	w firmware file to	upgrade					
			O Use existing	firmware file from	n D-View 7 to upgra	de				
			O Use existing	firmware file from	n remote server to u	pgrade				
F	e File For Upgrad	le	No File			Upload				
Firmware										
Firmware						N2				
Apply to I	Device(s)									
All	Device(s) Selected	Select All D	eselect All			W		Search "Keyword"		(
All	Device(s) Selected Status \$ Sys	Select All D	eselect All	IP \$	FW Version 🍦	HW Version 🔶	Location \$	Search "Keyword" Model Name 🗇	Label	0
Apply to I	Device(s) Selected S Status © Sy:	Select All D stem Name *	eselect All MAC + 9C:D6:43:FD:3B:D0	IP \$ 192.168.0.50	FW Version 0	HW Version 🔶 A1	Location 💠 N/A	Search "Keyword" Model Name © DGS-1510-20	Label N/A	¢

🗵 6-9 Firmware Upgrade 01

3. タスクの詳細を設定し、「Next」をクリックします。

	Create New Task	×
<u>o</u>	2 2. Set Task Details	3
Name* Description		
Time Start	Immediately	
Expired ditor	L roon(o)	Back Next

🗵 6-10 Firmware Upgrade 02

4. 確認画面で「Submit」をクリックします。

			Create New	Task	×
~					
		3	3. Confirm C	creation	
Task Info					
Name	Test				
Description	N/A				
Time Start	Immediately				
Expired after	1 Hour(s)				
Configuration Set	tings				
Firmware File For U	Ipgrade	DES-3028 & DES-3052 Series_A1_	prom_v1.00.b06.ha	əd	
Apply to Device(s	;)				
Status 🕴 System	n Name 🔺	MAC 🔶	IP \$	Device Type 🔅	Model Name 🔶
• <u>N/A</u>		00:10:10:10:00:40	171.18.191.47	L2 FE Switch	DES-3052
					Back Submit

⊠ 6-11 Firmware Upgrade 03

■ ファームウェアアップグレードについての注意事項

物理スタック構成でスイッチをご利用の場合、D-View7からファームウェアアップグレードはできません。

■ ファームウェアのファイル名についての注意事項

ファームウェアアップグレード後、必要に応じてファームウェアのファイル名を変更してください。

以下のスイッチについては、ファームウェアアップグレード後、ブートアップファームウェアとして起動しているファームウェアの Flash 上のファ イルを上書きするため、同じファイル名のままとなります。

必要に応じて、ファームウェア名をアップグレード後のバージョンが分かる名前に変更してください。

- ・ DGS-3620 シリーズ
- ・ DGS-3420 シリーズ
- ・ DGS-3120 シリーズ
- ・ DGS-3000 シリーズ

以下のスイッチについては、ファームウェアアップグレード後、「dlink」という新しいファイル名で Flash 上に新しいファームウェアが保存され、 起動ファームウェアに設定されます。

- ・ DXS-3600 シリーズ
- ・ DXS-3400 シリーズ
- ・ DGS-3630 シリーズ
- ・ DGS-1510 シリーズ

Configuration Management (コンフィグレーション管理)

Config Management 画面では、単一または複数のデバイスに対し、コンフィグレーションのリストアとバックアップを実行できます。

dview ႗							Ipgrade Matt_Luu	(logout) admin 👻 English 💌 H	elp - D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System				C 63 W 21	I 26 S 53 U 84
중 Home > Maintena	ance > Config Mar	nagement							
Backup Re	store							Search "Keyword"	् Export
Operation Time 0	Type 0		System N	ame *	IP 0	MAC	Model Name 0	Result 0	
2014-04-26 19:43	B Backup		<u>N/A</u>		172.18.191.31	00:1C:F0:17:D8:44	DGS-3200-10	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		111		172.18.190.43	00:15:E9:48:3B:70	DES-3010F	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		3600AP		172.18.190.171	00:22:44:66:88:00	DWL-3600AP	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		A B		172.18.191.38	00:24:01:FB:7F:C9	DGS-3200-24	Success	
2014-04-26 19:43	Backup		DES-3026	ž	172.18.191.44	00:13:46:ED:3E:5C	DES-3026	Success	
2014-04-26 19:43	Backup		DES-3052	2 2222	172.18.191.47	00:1B:11:16:6E:4C	DES-3052	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		DES-3200)-28 <html></html>	172.18.191.46	00:1E:58:6E:A6:E0	DES-3200-28	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		dqs3120-	24tc	172.18.191.50	34:08:04:C4:F7:EF	DGS-3120-24TC	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		DGS-3650	0 190.210	172.18.190.210	00:1C:F0:23:AC:80	DGS-3650	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link		172.18.191.33	00:47:44:35:26:29	DES-3526	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link 8	600 AP	172.18.191.161	1C:AF:F7:1F:25:00	DWL-8600AP	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link Al	2	172.18.191.247	5C:D9:98:27:1C:C0	DWL-8600AP	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link D	AP-2310	172.18.191.170	00:DE:FA:25:C0:00	DAP-2310	Success	
2014-04-26 19:43	Backup		D-Link D	AP-2360	172.18.190.155	5C:D9:98:02:40:50	DAP-2360	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link D	AP-2553	172.18.191.151	00:05:5D:84:06:01	DAP-2553	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link D	AP-2690	172.18.191.156	00:11:22:33:44:55	DAP-2690	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		D-Link D	AP-3690	172.18.191.166	FC:75:16:29:66:E0	DAP-3690	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		DLINK-W	LAN-AP	172.18.191.251	00:1C:F0:08:E6:E0	DWL-8500AP	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		<u>a a</u>		172.18.191.39	00:1E:58:4F:FA:10	DES-3528	Success	
2014-04-26 19:43	B Backup		test		172.18.191.43	00:13:46:ED:3E:44	DES-3018	Success	
20 🔽 Records per	r page								« < 1 2 > »

⊠ 6-12 Configration Management

■ Configuration Management 画面の操作

Backup Restore Search "Keyword" Q Export	
--	--

- ・「Backup」: コンフィグレーションのバックアップを行います。詳細は「コンフィグレーションのバックアップ」を参照してください。
- ・「Restore」: コンフィグレーションのリストアを行います。詳細は「コンフィグレーションのリストア」を参照してください。
- ・「Search "Keyword"」:リストを検索します。「Advanced Search」をクリックし、詳細な検索を行うこともできます。
- ・「Export」:リストを CSV 形式でエクスポートします。

コンフィグレーションのバックアップ

- 1. 画面右上の「Backup」をクリックします。
- 2. デバイスを選択し、「Next」をクリックします。

				¢	Create New Task				
1					2				
					1. Device				
All	Selected							Search "Keyword"	e
	Status 🕴	System Name A	MAC \$	IP \$	FW Version \$	HW Version \$	Location \diamond	Model Name 🔶	Label
	•	<u>N/A</u>	00:1B:11:16:6E:4C	172.18.191.47	2.00.B27	6C 64 20 32 2E 30 30 2E 80 41 F1 B0 ld 2 .00A	N/A	DES-3052	••
	•	<u>N/A</u>	00:1B:11:16:6E:40	<u>172.18.191.48</u>	1.00-B32	6C 64 20 31 2E 30 30 2D 80 41 F 1 B0 ld 1.00A	N/A	DES-3052P	N/A
	•	N/A	1C:7E:E5:29:ED:07	172.18.190.253	2.10.002	A1	N/A	DGS-1500-20	N/A
	•	<u>N/A</u>	00:19:5B:EC:32:8C	<u>192.168.0.27</u>	1.00-B30	6C 64 20 31 2E 30 30 2D 80 34 F 1 AC ld 1.004	N/A	DES-3052P	N/A
	•	<pre><html><div></div></html></pre>	00:17:9A:95:2D:14	172.18.191.96	4.2.0.2	N/A	124	DWS-4026	N/A
	•	111	00:15:E9:48:3B:70	172.18.190.43	N/A	N/A	023	DES-3010F	••
	٠	123	00:17:9A:95:1F:00	172.18.191.95	3.0.0.14	N/A	11	DWS-3026	N/A
	•	ab	00:05:5D:55:93:A0	172.18.191.152	1.15	N/A	N/A	DAP-3520	
	•	<u>A B</u>	00:24:01:FB:7F:C9	172.18.191.38	2.00.016	A1	TEST Lab	DGS-3200-24	••
		DAP-2690-B1	78:54:2E:AD:6B:D0	192.168.0.28	3.00	N/A	DHQ-Neihu	DAP-2690B	N/A
								« < 1 2	3456>
									Nov
									Next

図 6-13 Configuration Backup 01

以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 「Name」:タスク名を入力します。
 「Description」:タスクの概要を入力します。
 「Type」:タスクのタイプを「One Time」(1回のみ実行)/「Recurrent」(複数回実行)から選択し、スケジュールを設定します。

		Create New Task	×
<u></u>		0	3
		2. Set Task Details	
ime*	test		
scription		$\hat{}$	
pe	One Time O Rec	urrent	
	Time Start	Immediately	
	Expired after	1 🔽 Hour(s)	
			Back Next

図 6-14 Configuration Backup 02

4. 確認画面で「Submit」をクリックします。

			Create New	/ Task		
<u>o</u>			Confirm (Treation	0 :	
			. commu	reation		
Task Info						
Name	j					
Description	N/A					
Time Start	Immediately					
Expired after	1 Hour(s)					
Apply to Device(s)					
Status 🔶 System	Name *	MAC \$	IP \$	Device Type 🔶	Model Name 🔶	
N/A		00:19:5B:EC:32:8C	192.168.0.27	L2 FE Switch	DES-3052P	

⊠ 6-15 Configuration Backup 03

メモ タスクの実行状況は、Maintenance > Task Management 画面で確認できます。

コンフィグレーションのリストア

- 1. 画面右上の「Restore」をクリックします。
- リストアするファイルを以下から選択し、「Next」をクリックします。 「System」: D-View7 にバックアップされているファイルを使用します。 「Upload」: ファイルをアップロードします。

	Create	New Task	×			
1	2	3	4			
	1. Restore Mode					
Choose the restore file so	urce that you want to use.					
System						
You can restore devices which	h have been backuped in D-View 7. You should restore the c	onfig file seperately for each of the selected devices.				
You can upload one file for th	ne devices that you want to be restored.					
No File	Upload					
			Next			

🗵 6-16 Configuration Restore 01

3. コンフィグレーションをリストアするデバイスを選択し、「Next」をクリックします。

-				2			3	
					2. Devic	e		
All	Selecte	ed Select All	Deselect All					Search "Keyword"
	Status 🕴	System Name 🔺	MAC \$	IP 0	Location 0	Model Name 🌵	Label	Backup File*
2	•	DGS-1510-28	3C:1E:04:AA:22:00	<u>192.168.10.101</u>	DJP_Gotanda	DGS-1510-28		2018/08/02 14:50:18_192.168.10.10
	•	DIS-200G-12SW- DIP	78:32:1B:05:05:ED	<u>192.168.10.110</u>	Gotanda	DIS-200G- 12S/SW	-	2018/08/02 14:50:19_192.168.10.10
		DSR-1000	90:8D:78:D5:BA:60	<u>192.168.10.201</u>	DJP_Gotanda	DSR-1000		2018/08/02 14:50:21_192.168.10.20

⊠ 6-17 Configuration Restore 02

- 4. 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 - ・「Name」:タスク名を入力します。
 - ・「Description」:タスクの概要を入力します。
 - 「Expired after」: リストア完了までの期限(単位:時間)を選択します。

O		<u> </u>	-3 4
		3. Set Task Details	
Name*			
Description		Ŷ	
Expired after	1 V Hour(s)		
			Back Next

5. 確認画面で「Submit」をクリックします。

		Create Nev	v Task	
~			<u></u>	
		4. Confirm	Creation	
Task Info				
Name	test			
Description	N/A			
Time Start	Immediately			
Expired after	1 Hour(s)			
Configuration Set	tings			
System Name		IP	Backup File*	
N/A		172.18.191.47	2014/6/3 16:23:34_172.18.191.47_DES-3052	da i

図 6-19 Configuration Restore 04

(メモ) タスクの実行状況は、Maintenance > Task Management 画面で確認できます。

Task Management (タスク管理)

Task Management 画面では、タスクの表示と管理を行います。

- ・「Current Task」タブ:現在実行中のタスクの表示と管理を行います。
- 「Historical Task」タブ:以前トラックしていたタスクを表示します。

dview 7							Upgrade Matt_Luu (logout)	admin 👻 🛛 English 👻 🛛	Help 👻 🛛 🕽	D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System				C 63 W 21	I 26 S	53 U 84
俗 Home > Maint	enance > Task Mana	agement								
Current Ta	sk Historic	al Task								
Task: 0								Search "Keyword"		Q
Recurrent	Name 🕴	Status 🗄	Created Time	Target Devices 0	Created by ϕ	Function 0	Next Execute Time▲	Latest Result \diamond	Detail	Action
					No Data Found					

図 6-20 Task Management (Current Task タブ)

dview 7							Upgrade admin	(logout) admin ¬	🖷 🛛 English 👻 🗌 Help 👻	D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System						C 2 S 6
∦ Home > Maint	enance > Task Man	agement						li shaha datar		
Current Ta	sk Historie	cal Task								
Task: 2								Search "Keywo	rd" Q	Export
Recurrent	Created Time 👻	Start Time	🔶 🛛 End Tim	ie 🗄	Name 💠	Function	Created by	Target Devices	Latest Result	Detail
	2016-09-14 21:47	2016-09-14	22:45 2016-09	9-14 22:45	DGS-xxx-Backup	Config Backup	admin	3	Failed	Q
	2016-09-14 21:34	2016-09-14	21:34 2016-09	9-14 21:34	DGS-xxx- Upgrade	Firmware Upgrade	admin	2	Failed to Deliver	Q

図 6-21 Task Management (Historical Task タブ)

■ タスクをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、タスクリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

Advanced Search × Expo
Name
freedow (here

図 6-22 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

タスクリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. タスクのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

■ アイコンについて

🔘:タスクの詳細を表示します。

- 🕕:タスクを一時停止します。
- 〇:一時停止したタスクを再開します。
- 💼 :タスクを削除します。

File Management(ファイル管理)

File Management 画面では、D-View7 にアップロードしたファームウェアとコンフィグレーションファイルの管理を行います。

dvi	ew 7								adr	nin (logo	ut) admin = English =	Help =	D-Link
Dash	board	Invento	ory Monitor	Maintenance	Report	Sy	stem				C 🛛 🗤 🛙	2 1 10	s 500 U 8
🖗 Horr	ne > Mainte	enance > File	Management	31									
Uplo	ad File	Delete File	Compare File								Search "Keyword"	Q	Export
	Upload T	ime 🔻	File Type	File Name 🔶	Fil Siz	e o	Uploaded by	Related Devices	MD5	Status	Description		Action
	2018-08-	02 14:50	Configuration File	2018/08/02 14:50:21_192.168.10.201 1000	_DSR- 20	6KB	admin	1	fa5774244a3d188c8eb73851c8bfb 1f3	Not In (Use		460
	2018-08-	02 14:50	Configuration File	2018/08/02 14:50:19_192.168.10.101 200G-12S/SW	_DIS- 87	'0B	admin	1	2f6340e347e8110d107260eaed45 9dd0	Not In U	Use		4C 0
				2010/00/02									

🗵 6-23 File Management

ファイルリストには以下の項目が表示されます。

- Upload Time:アップロードした日時が表示されます。
- File Type:ファイルタイプが表示されます。
- File Name:ファイル名が表示されます。
- File Size:ファイルサイズが表示されます。
- Uploaded By:アップロードしたユーザが表示されます。
- Related Devices: 関連するデバイスです。リンクをクリックすると詳細が表示され、各デバイスの Inventory 画面へ移動できます。
- MD5: MD5 の情報が表示されます。
- Status:ステータスが表示されます。
- Description:概要が表示されます。
- Action:アイコンから、ファイルの編集/削除/ダウンロードが実行できます。

■ ファイル管理のアイコン

Upload File Delete File Compare File

- ・「Upload File」:ファイルをアップロードします。詳細は「ファイルのアップロード」を参照してください。
- ・「Delete File」:選択したファイルを削除します。
- ・「Compare File」: 選択したファイルの比較を行います。詳細は「ファイルの比較」参照してください。

■ アイコンについて

「Action」欄のアイコンから、ファイルの編集 / 削除 / ダウンロードが実行できます。

🛃 : ファイルをダウンロードします。

📝 :ファイルの「Description」を編集します。

<u>前</u>:ファイルを削除します。

ファイルリストをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、デバイスリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

le Name	File Type	All	✓ Stat	All		~
D5	Upload Time	From				
		То				
					Search	Clos

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

ファイルリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. ファイルのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

ファイルのアップロード

- 1. 画面左上の「Upload File」をクリックします。
- 2. 以下の画面で設定を行います。
 - ・「File Type」:ファイルタイプを「Configuration File」(コンフィグレーションファイル)または「Firmware File」(ファームウェアファイル) から選択します。
 - 「Description」: 概要を入力します。
 - ・「File To Upload」:「Upload」をクリックしてファイルを選択します。

	Upload File	
File Type	Configuration File	~
Description		^
		~
File To Upload	No File	Upload
		Submi
5-25 Upload Fi	le	

3. 「Submit」をクリックします。

ファイルの削除

- 1. 削除するファイルにチェックをいれます。
- 2. 画面左上の「Delete File」をクリックします。
- 3. 確認画面で「OK」をクリックします。

		^
(!)	Are you sure you want to delete the selected file(s)?	
	ок	Cancel

図 6-26 Delete File

ファイルの比較

- 1. 比較するコンフィグレーションファイルを2つ選択します。
- 2. 画面左上の「Compare File」をクリックします。
- 3. Configuration Comparison 画面で比較結果が表示されます。

(メモ) ファイル比較についての詳細は「Configuration Comparison(コンフィグレーション比較)」を参照してください

Configuration Comparison (コンフィグレーション比較)

Configuration Comparison 画面では、コンフィグレーションファイルの比較を行います。



⊠ 6-27 Configuration Comparison

- 1. 「File selection range」でファイルの選択範囲を以下から選択します。
 - ・「Select from all devices」:すべてのデバイスからコンフィグレーションファイルを選択します。
 - •「Select from specified device」:指定したデバイスからコンフィグレーションファイルを選択します。ドロップダウンリストからデバイスを 選択します。
- 2. 「File on the left」と「File on the right」で比較するファイルを選択します。
- 比較結果が画面下部に表示されます。
 異なる箇所は赤でハイライト表示されます。

アイコンについて

- 😏 :表示を更新します。
- 🔀 : コンフィグレーションファイルを保存します。
- 🔁 :コンフィグレーションファイルをデバイスヘリストアします。

▶ <u>▲</u>:鍵マークをクリックすると、右パネルと左パネルの同時スクロールを解除できます。 ▲▶マークをクリックすると、ハイライト表示された箇所を別のパネルへ移動できます。

第7章 Report (レポート)

「Report (レポート)の概要」

Report(レポート)の概要

Report メニューでは、デバイスに関する詳細なレポートを生成し、閲覧・保存することができます。

arrent a								admin (log	gout) admin	n - English - Help - I	D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System					C2 W2 110 S	507 U 8
∦ Home > Report			TRANSFER TO A STATE	and the second	82						
	«	Report	Generator List	Report List							
Basic Report Gener	rator		Track							County Processed?	0
Wired Traffic		Add Gen	erator Iotai	4						Search Keyword	Q.
Syslog		NO. Re	current Name 0			Status 🌣	Created Time 👻	Target Devices	Created by	Next Execute Time 🔅	Action
Advanced Report G	Generator	1 🛱	DIS-200G_T	able_Chart		Active	2018-08-02 15:04	1	admin	2019-09-13 03:00	00
Top N		2 🛱	DIS-200G			Active	2018-08-02 15:03	1	admin	2019-09-13 03:00	00
		3	Test			Generated	2018-01-25 17:03	0	admin	2018-01-25 17:03	0 0
		4	wired_test re	port		Generated	2017-11-29 12:51	0	admin	2017-11-29 12:51	Qŵ

図 7-1 Report

■ タブの種類

- ・「Report Generator List」タブ:レポートの作成ルールを設定します。詳細は「レポートジェネレータリスト」を参照してください。
- ・「Report List」タブ:レポートのリストを表示します。詳細は「レポートリスト」を参照してください。

■ レポートの種類

画面左のコラムで表示するレポートの種類を選択できます。

- 「Wired Traffic」:トラフィックの履歴を表示します。
- ・「Syslog」:Syslog を表示します。
- ・「Top N」:項目別の上位レート(CPU 使用率、メモリ使用率、応答時間、エラーパケット、スループット)を表示します。

■ レポートをフィルタする

画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、レポートをフィルタできます。

■ アイコンについて

Action 欄のアイコンで以下の操作を実行できます。

- 🔘:レポートの詳細を表示します。
- ①:レポートを一時停止します。
- 〇 :一時停止したレポートを再開します。
- 💼:レポートを削除します。
- 🛃:レポートを PDF 形式でダウンロードします。

レポートジェネレータリスト

レポートの作成ルールを設定します。

- 1. 左コラムでレポートの種類を「Wired Traffic」「Syslog」「Top N」から選択します。
- **2.** 「Add Generator」をクリックします。

dview 7				
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Rej
☆ Home > Repor	t			
	«	Report	Generator List	Repo
Basic Report Ger	nerator			_
Wired Traffic		Add Gene	erator Total	0
		NO. Rec	urrent Name 🌢	

🗵 7-2 Add Generator

3. レポート「Name」(名前) と「Description」(概要) を入力し、「Next」をクリックします。

	Create a New Wire	Thank Report Selferator	
1	2	3	4
	1. Report Gen	erator Information	
lame*			
Description	^		
	~		
			Next

図 7-3 Report Generator 01

- 4. レポートの生成ルールを設定し、「Next」をクリックします。
 - 手順1で「Wired Traffic」または「Syslog」を選択した場合:
 - ・「Generate Type」:「One Time」(1回のみのレポート生成)または「Reccurent」(定期的なレポート生成)を選択し、スケジュールを設定します。
 - ・「Display Mode」: レポートの表示「Table」(表)または「Chart」(グラフ)から選択します。

			3			4
2. S	etting Re	port Generate	Rules			
ecurrent						
1 V Hour(s)						
Last 24 Hours	Start 2	019-09-02 15:11	End	2019-09-03 15:11		
30 Min 🔽						
☑ Table ☑ Chart						
					Back	Next
	ecurrent I V Hour(s) Last 24 Hours V 30 Min V Table Chart	ecurrent 1 Hour(s) Last 24 Hours Start 30 Min V V Table V Chart	ecurrent 1 V Hour(s) Last 24 Hours V Start 2019-09-02 15:11 30 Min V V Table V Chart	ecurrent 1 V Hour(s) Last 24 Hours V Start 2019-09-02 15:11 End 30 Min V Table V Chart	ecurrent 1 V Hour(s) Last 24 Hours V Start 2019-09-02 15:11 End 2019-09-03 15:11 30 Min V V Table V Chart	ecurrent I V Hour(s) Last 24 Hours V Start 2019-09-02 15:11 End 2019-09-03 15:11 30 Min V Table C Chart Back

🗵 7-4 Report Generatoor 02

手順1で「Top N」を選択した場合:

- 「Generate Type」:「One Time」(1回のみのレポート生成)または「Reccurent」(定期的なレポート生成)を選択し、スケジュールを設定します。
 「Statistical Type」:統計タイプを以下から選択します。
- 「CPU Utilization」「Memory Utilization」「Response Time」「Wired Error Packet」「Wired Throughput(TX)」「Wired Throughput(RX)」 ・「Display Mode」: レポートの表示「Table」(表)または「Chart」(グラフ)から選択します。

0		2		3		4
		2	. Setting Report G	enerate Rules		
Generate Type	◉ One Time () Recu	urrent				
	Expired after Statistical Type	1 V Hour(s) V CPU Utilization V Wired Error Packet	 ✓ Memory Utilization ✓ Wired Throughput(TX) 	 ✓ Response Time ✓ Wired Throughput(RX) 		
	Time Interval Display Mode	1D 💟				
					Back Ne	ext

Create a New Top N Re

図 7-5 Report Generator 03

5. レポートを生成するデバイスを選択し、「Next」をクリックします。

ene	Create a New Wired Traffic Report Generator										
	<u></u>			<u></u>						4	
	3. Apply to Device(s)										
	All	Selected						Search "K	(eyword"	Q	
		Status 🖨	System Name 🔺	MAC \Leftrightarrow	IP \$	Device Type 👙	Model Name 👙	Label	Monitor Port *		
		•	N/A			L2 GE Switch	DGS-3000- 10TC	•	Choose Port	T	
		•	N/A			L2 GE Switch	DGS-3000- 10TC	N/A	Choose Port	T	

図 7-6 Report Generator 04

6. 確認画面で「Submit」をクリックします。

		c	reate a New Wired Traf	fic Report Generato	r		
~							
			4. Confirm	Creation			
Report Generato	or Info						
Vame	test						
Description	N/A						
Expired after	1 • Hour(s)						
îme Period	Last 24 Hours 🔻		Start 2017-11-28	16:42	E	End 2017-11-	29 16:42
Fime Interval	30 Min 🔻						
Display Mode	🕑 Table 🛛 🥑 Chart						
Apply to Device	(5)						
Status Syst	em Name ≑	MAC \$	IP ≑	Device Type 👙	Model Name 💠	Label	Monitor Port *
• <u>N/A</u>				L2 GE Switch	DGS-1210-20	N/A	All,Slot0/1 🔻
							Back Submit

🗵 7-7 Report Generator 05

7. 作成したルールは右側パネルに表示されます。

dview 7									admin (logout)	admin 👻 🛛 English 👻 🕅 H	elp -]	D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System						33 1 1	0 S 380
중 Home > Repor	t											
	«	Report (Generator List	Report List								
Basic Report Ger	nerator											0
Wired Traffic		Add Gene	Total	1						Search "Keyword		Q
Syslog		NO. Rec	urrent Name 🕸		Status	Create	d Time 🔻	Target Devices	Created by	Next Execute Time	Detail	Action
Advanced Report	t Generator	1	wired_test r	eport	Generate	d 2017-1	1-29 12:51	1	admin	2017-11-29 12:51	Q	畲
Top N												
l												

🗵 7-8 Report Generator List

レポートリスト

生成されたレポートの一覧を表示します。

dview 7							admin (logou	t) admin 👻 Eng	lish 💌 Help 👻	D-Link	
Dashboard	Inventory	Monito	or Maintenance	Report	System					C 33	I 10 S 380
∦ Home > Report						Deleted successfully					
	*	Rep	oort Generator List	Report List							
Basic Report Gen	erator	Total	0						Soarch	"Kouword"	0
Wired Traffic		Total	2						Jearch	Keyword	9
Syslog		N O .	Name 👙	Gene	rator 😄	Date generated $_{\mp}$	Start Time 👙	End Time 💠	Time Interval $\mbox{$\ddagger$}$	Display Mode	Action
Advanced Report	Generator	1	test_2017-11-29_16-44	-16 test		2017-11-29 16:44	2017-11-28 16:42	2017-11-29 16:42	30 Min	Table/Chart	0 🕹 🕅
Top N		2	wired_test report_2017 29_12-51-43	-11- wirec	_test report	2017-11-29 12:51	2017-11-28 12:50	2017-11-29 12:50	30 Min	Table/Chart	0 1 🏧

🗵 7-9 Report List

- ・「Action」欄のアイコンで詳細情報の表示などを実行できます。詳細は「アイコンについて」を参照してください。
- ・「Report」では、検出済みデバイスに関する詳細なレポートを生成し、閲覧・保存することが可能です。
- ・「Report」の初期表示項目は「Basic Report Generator」タブ下の「Wired Traffic」です。
- レポートの種別には「Wired Traffic」「Syslog」「Top N」があり、それぞれのレポートではトラフィックの履歴や Syslog、項目別の上位レート(CPU 使用率、メモリ使用率、応答時間、エラーパケット、スループット)を取得することができます。
第8章 System (システム)

- ・「System(システム)の概要」
- ・「License(ライセンス)」
- •「Discovery (Probe 検出)」
- ・「User / Workspace (ユーザ / ワークスペース管理)」
- ・「Sensor Settings(センサ設定)」
- ・「Notification Center(通知センター)」
- ・「System Logs(システムログ)」
- ・「Trap Editor(トラップエディタ)」
- 「About (本製品について)」

System(システム)の概要

System メニューでは、ライセンスや Probe の管理などを行います。System メニューには以下の画面があります。

- ・「License」:ライセンスの管理を行います。
- 「Discovery」: Probeの管理を行います。
- ・「User/Workspace」:ワークスペースの管理を行います。
- ・「Sensor Settings」: センサの設定を行います。
- ・「Notification Center」:通知ルールの設定を行います。
- ・「System Logs」:イベントのリストを表示します。
- ・「Trap Editor」:SNMP トラップの管理を行います。
- ・「About」:D-View7 についての情報を表示します。

License(ライセンス)

License 画面では、既存のライセンスの管理やライセンスのアクティベーションを行います。

view	7						admin (logo	ut) 🛛 admin 🔻 🗍 English 👻 🗌	Help - D-Link
ashboard	I Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System			C 🛛 💘 2	I 10 S 500 U 8
Home > Sy	vstem > License				-0		Deales (Used	(7-4-1)	
) rom		~ [']	lode (Used / Tot		_	Probe (Used ,		
_ r	-1611	IIUI	ш.	_	0/12	2		5/7	
					License List				
Add Licer	nse Deactivate Lic	ense Unbir	d License						Export
License N	0.		Activation Date		Prob			Node	
2016-08-02 18			2016-08-02 18:08	3:08 0					
SORDCAP	2016-08-02 18		2016-08-02 18:08	:08 0					
SORCEP	2016-08-02 1		2016-08-02 18:09	1:09 5			0		
					Probe List				
Add Prob	e								Export
Status	Association Code		Probe Name		IP	MAC	Last Connected	Managed Devices	Action
Offline	SONDER SONDER SOND	CBP	2080/389		208DC 208DC8F	SONDERPOSIFICATION	2019-01-15 12:05	0	靈
Offline	JOIDCH JOIDCHFION	DCBF	adaptartar		208DC8P88DC8P	SORDER 3 SORDERF	2018-09-18 12:49	6	童
Offline	2080C 2080C3P8DC3	n	2080/089		208DC 208DC8F	2080C202080C8F	2019-07-02 11:38	2	童
Inactive	2010C8FIREC8FIREC8	e .	2080/089		2	2	u	2	ŵ
					REST API Key L	ist			
Add API	Кеу								
API Key N	lame		Created by		Created Ti	me	API N	Cey	Action
			admin		2010 04 2	4 11.52	10.000		

図 7-1 License - List

- アイコンについて
- ・「Add License」: ライセンスの追加を行います。詳細は第2章の「ライセンスのアクティベーション」を参照してください。
- ・「Deactive License」: ライセンスの無効化を行います。詳細は「ライセンスの無効化」を参照してください。
- ・「Unbind License」: ライセンスの解放(アンバインド)を行います。詳細は「ライセンスの解放」を参照してください。
- ・「Export」:リストを CSV 形式でエクスポートします。
- ・「Add Probe」: Probe の追加を行います。詳細は「Probe の追加」を参照してください。
- ・「Add API Key」: API キーの追加を行います。詳細は「API キーの追加」を参照してください。

ライセンスの無効化

ライセンスを無効にする方法について説明します。

注意 ライセンス無効化の処理は取り消すことができません。

注意 ライセンスを無効化すると、サーバと D-View ライセンスの関連性は断たれ、D-View7 が無効化されます。

注意 ライセンスの無効化は、主にライセンスの他のサーバへの移行時など、サーバの移動、交換、初期化などの際に行います。 一度 D-View7 を無効化すると、リセットや再インストールを行わない限り元に戻すことはできません。

- 「Deactivate License」をクリックします。 1.
- 警告を確認後、「I understand the risk and confirm to deactivate」にチェックを入れ、「Confirm」をクリックします。 2.

	Product De	activation		×							
License Summary											
License NO.	Registration Date	Probe Server	Node	-							
23023093727007049675	2014-08-11 15:08	0	1000								
223C230F1727007049875	2014-05-13 14:12	0	50	=							
23023093727007049875	2014-08-11 15:08	0	1000								
223C230F1727007049875	2014-05-13 14:12	0	50								
23023093727007049875	2014-05-16 19:11	0	100								
23023093727007049875	2014-08-11 15:08	0	1000								
223023093727007049675	2014-05-13 14:12	0	50								
23023093727007049675	2014-05-16 11:44	0	100								
23023093727007049875	2014-05-16 19:11	0	100	-							
1 WARNING											
The process CANNOT be reverse use this system until you reset time. Are you sure you want to	ed. Once you deactivated or reinstall D-View 7. The deactivate D-View 7?	, you CANNOT use the license(s) listed above	e D-View 7 anymore. Ye will be released at th	ou cannot Ie same							
I understand the risk and cor	nfirm to deactivate.										
			(Confirm							

図 7-2 License - Deactivate License

- ライセンス解除後、以下のオプションを選択できます。 3.
 - ・「Export Database」(データベースのエクスポート):新規にインストールする D-View7 ためにデータベースをバックアップします。
 - ・「Reset System」(システムのリセット):D-View7をリセットしサーバからすべての機器情報と設定を消去します。
 - •「Logout」(ログアウト): D-View7 のインタフェースからログアウトします。

ライセンスの解放

ライセンスを解放(アンバインド)する方法について説明します。 ライセンスを解放すると、D-View7 ライセンスとサーバの関係性が断たれますが、トライアル版の D-View7 は使用できます。 ライセンスの解放は、サーバの移動、交換などの際に行います。

- 1. 「Unbind License」をクリックします。
- 2. 以下の画面を確認後、「OK」をクリックします。



⊠ 7-3 Alert - Unbind License



ライセンスの解放を行うと、D-View7 はトライアル版に戻ります。26 台以上の管理ノード、もしくは 3 つ以上の Probe がある場合、 D-View7 はトライアル版で対応可能なノード /Probe 数になるまで、全てのノードや Probe の管理を停止します。

Probe の追加

Probe の追加方法について説明します。

- 1. Probeのライセンスを追加します。手順については第2章の「ライセンスのアクティベーション」を参照してください。
- 2. 「Add Probe」をクリックします。
- 3. 「Probe Name」(Probe 名)入力し、「Next」をクリックします。

	Add Probe	×
Probe Name*		
		Next

図 7-4 Add Probe 01

- 4. D-View7 は自動的に新しく作成された Probe に有効なライセンスコードを割り当てます。
- アクティベーションを行うために、Probe サーバに入力する必要のあるアクティベーションコードも発行されます。

	Add Probe	×		
Probe Name	Activate Code			
test	23HH PQ7V 88A2-2222			
	Back Apply	/		

図 7-5 Add Probe 02

 アクティベーションコードをリモート Probe サーバに入力します。 アクティベーションコードを入力し D-View7 サーバへの接続が正常に戻るまで、Probe は D-View7 サーバ上で非アクティブのままとなります。

×モ Action 欄の から Probe を削除できます。

API キーの追加

REST API に使用する API キーの追加方法について説明します。

- 1. 「Add API Key」をクリックします。
- 2. 「Name」に名前を入力し、「Next」をクリックします。

	Add API Key	×
Name*		Next
図 7-6 Add API Key 01		

3. 「Apply」をクリックします。

	Add API Key
API Key Name	API Key
арі	worthitcheover.hetworksiteteres
	Back Appl

🗵 7-7 Add API Key 02

Discovery(Probe 検出)

Discovery 画面では、D-View7 の管理者が D-View7 サーバのアクティブな Probe の管理を行うことができます。

ishboard Inve iome > System > Disco	ntory Monitor	Maintenance Sy	stem								C 191	V 63 1 14 S	196
🔒 Local Probe						Ø	😑 🕞 talwan (172.18.190).254)					
Managed Devices	Δ	Discover in 49 Min	о 5	Discover Inter	60 Mins		Managed Devices	S	Discover in	Dis	cover Interv	al 5 _{Mins}	
	-	Last Updated Time 2016-08-12 15:12		Location	N/A			5	Last Updated Time 2016-08-10 11:37	Loc	auon	N/A	
MAC 00:0C:29:61:0F:0F		Probe Version 1.0.4.3		Uptime 15 Days, 00:01	:07		MAC EC:F4:88:04:89:AD		Probe Version 1.0.4.3	0.pr 3 D	ime ays, 04:22:24		
SNMP Version	Communities	Username	IP Range /	Subnet	Allas		SNMP Version	Communities	Username	IP Range / Sub	net	Alias	
1/V2	public(RO),private(RW) -	172.18.190	1-172.18.190.25	4 190net		V1/V2	public(R0),private(RW) +	192.168.4.1-192	168.4.254	N/A	
V1/V2	public(RO),private(RW) -	124.10.80.8	8-124.10.80.88	N/A								
v2	public(RO),private(RW) -	111.250.1.3	50-111-250-1-25	0 N/A		● 汕 北原分公司 (172.18.	190.254)					
V1/V2	public(RO),private(RW) -	172.18.191	1-172.18.191.2	4 191net		Managed Devices		Discover in	Dis	cover Interv	al	
V2	public(R0),private(RW) -	111.250.2.2	50-111.250.2.21	0 N/A			-				5 Mins	
Q ★都开好了 (172.18	.190.29)					Ø				Loc	ation		
Managed Devices		Discover in		Discover Inter	val				Last Updated Time 2016-06-22 16:39			N/A	
		_			5 Mins		MAC		Probe Version	Upt	ime		
				Location			00:0C:29:3A:8F:D1		1.0.4.1	52	Days, 00:01:5	7	
		Last Updated Time 2016-05-19 15:56		Location	N/A		SNMP Version	Communities	Username	IP Range / Sub	net	Alias	
MAC		Probe Version		Uptime			V1/V2	public(RO),private(RW) -	172.18.170.1-17	2.18.170.254	170	
00:24:81:88:E9:86		1.0.3.8		84 Days, 23:27	:25		• 🕞 Zhugx (172.18.190	.227)					
SNMP Version	Communities	Username	IP Range /	Subnet	Alias		Managed Devices		Discourse in	Dis	course Testern		
V2	public(RO),private(RW) -	172.18.191	49-172.18.191.1	00 N/A		rannaged Devices		-	UIS	cover Interv	30 Mins	
Q_ success (172.18.19	0.254)					R							

図 7-8 Discovery

■ ウィジェットについて

Probe の情報はそれぞれのウィジェットに表示されます。

ウィジェットには、「Probe 名」「IP アドレス」「管理デバイス」「バージョン」などの情報が表示されます。

ウィジェットの下部には Probeの検出モードが表示されます。

A transport_1 (to)	Contraction (Contraction)				ľ	
Managed Devices	C	Discover in	-	Discover Interval 5 Mins		
	0	Last Updated Time 2018-09-18 19:08		Location	EST	
MAC 30152/08/381-01/19		Probe Version 1.0.6.3		Uptime 350 Days, 20:42:30		
Discovery Mode	SNMP Version	Communities	Username	IP Range / Subnet / Filename	Alias	
SNMP	V2	public(RO),private(RW)	-	252.165.18.181 262.168.10.201	オフィス	

図 7-9 Widget

Probeがオフライン状態の場合、Local Probe ステータスアイコンは赤色になります。

ステータスアイコンの横に「!」マークが表示された場合、マウスカーソルを合わせるとトラブルシューティング情報が表示されます。



☑ 7-10 Discovery trouble shooting

Probe の編集

- 1. ウィジェット右上の / をクリックします。
- 2. 以下の画面で設定を行い、「Save」をクリックします。

be Info Setting ame* Local Probe becation covered Rules Setting ato Discovery Image: Ima	Action
ame* Local Probe Local Probe Local Probe Local Probe Local Probe Local Probe Local Probe Local Probe Local Pr	Action
cation Community* Community Communit	Action
to Discovered Rules Setting to Discovery ON OFF scover Time Interval 30 Minutes Discovered Rules Discovered Rules Discovered Rules Discovery Mode SNMP Version Communities Username IP Range / Subnet / Alias Actio No Data Found - Add Rule Discovery Mode SNMP V 1 V 3 SNMP V1/v2 Alias RO Community*	Action
to Discovery ON OFF scover Time Interval 30 Minutes Discovered Rules Discovery Mode SNMP Version Communities Username Filename Alias Actio No Data Found - Add Rule Discovery Mode SNMP Y OF Alias IP Coverage* IP Range Y OF Alias SNMP Version V 2 V 1 V 3 Alias RO Community*	Action
scover Time Interval 30 V Minutes	Action
Discovered Rules Discovery Mode SNMP Version Communities Username IP Range / Subnet / Alias Actio No Data Found Add Rule Discovery Mode SNMP Y IP Coverage* IP Range Y SNMP Version V v v v v v v v Alias RO Community*	Action
Discovery Mode SNMP Version Communities Username IP Range / Subnet / Alias Action - Add Rule IP Coverage* IP Range V IP Range V <t< td=""><td>Action</td></t<>	Action
No Data Found - Add Rule Discovery Mode SNMP V V2 v1 V1 v3 SNMP v1/v2 Alias	
- Add Rule Discovery Mode SNMP ♥ IP Coverage* IP Range SNMP Version ♥ v2 □ v1 □ v3 SNMP v1/v2 Alias RO Community*	
Discovery Mode SNMP IP Coverage* IP Range SNMP Version V 2 V 1 V 3 SNMP v1/v2 Alias	
SNMP Version V2 V1 V3 SNMP v1/v2 Alias	
SNMP v1/v2 Alias R0 Community*	
RO Community*	
RW Community	
	Add

⊠ 7-11 Discover Setting

Probe Info Setting

- 「Name」: Probe 名を入力します。
- 「Location」:場所を入力します。

Discovered Rules Setting

- 「Auto Discovery」:自動検出を「ON」または「OFF」にします。
- 「Discover Time Interval」:検出を行う時間間隔(単位:分)を選択します。

Discovered Rules

「Add Rule」をクリックすると、ルール設定画面が表示されます。

以下の項目を設定後、「Add」をクリックします。

- ・「Discovery Mode」:検出モードを「SNMP」または「SNMP Trap」から選択します。
- ・「SNMP Version」:SNMP のバージョンを選択します。
 - SNMP v1/v2 を選択した場合 「RO Community」: 読み取り専用の SNMP コミュニティ名を入力します。 「RW Community」:書き込み専用の SNMP コミュニティ名を入力します。 SNMP v3 を選択した場合 「Username」:ユーザ名を入力します。
 - 「Mode」:モードを「AuthPriv」「AuthNopriv」「NoAuthNopriv」から選択します。認証ありのモードを選択した場合、認証の設定を行います。
- ・「IP Coverage」: IP アドレスの範囲を「IP Range」(IP 範囲)「Subnet」(サブネット)「Import From File」(ファイルからインポート)から選択します。「Import From File」を選択した場合は、CSV 形式のファイルを使用してください。
- •「Alias」:エイリアスを入力します。

User / Workspace (ユーザ / ワークスペース管理)

User / Workspace 画面は、ユーザアカウントとすべての有効なネットワークスペースを表示します。 また、ワークスペースの追加を行うことも可能です。

dview 7						tom	.jay (logout) admir	n 👻 🛛 English 👻 🕅 H	elp • D-Link
Dashboard	Inventory	Mon	itor	Maintenance	System		C	379 W 135 I 1	46 S 246 U 14
☆ Home > Syster	m > User / Workspa	ace							
+	*	All U	sers T	otal Users 28 (💄 5 上 1	18 💑 5 💑 0)				
All Users (28)		New	v User	OpenID Provider			Search "F	(eyword"	Q Export
Search "Workspa	ce" Q		and second stage					Institutio	
admin(24)			Statu	s 💠 Name 🔺	Last Login Time 🔅	Last Login IP 🔅	Last Login OS 🔅	Browser	Workspace
test(3)	=		*	123	N/A	N/A	N/A	N/A	2
台湾(1)	=		*	123	2016-08-15 16:05	172.18.190.49	Windows 10	Chrome 51.0.2704.106	1
НК(3)	Ξ		1	497329113	2016-05-20 14:25	172.18.190.20	Windows 7	Chrome 50.0.2661.102	1
5555555555(1)	≡		1	5943608@qq.com	2016-08-12 19:18	172.18.190.254	Windows 10	Chrome 48.0.2564.116	3
			1	admin	2016-09-08 10:15	172.18.190.37	Windows 7	Chrome 51.0.2704.106	1
			&	Andy.Wang	N/A	N/A	N/A	N/A	2
			1	DJP	2016-08-25 13:00	172.18.190.254	Windows 10	Firefox 48.0	1
			1	<u>fei.liu</u>	2016-09-08 16:19	172.18.190.28	Windows 10	Chrome 51.0.2704.106	1
			1	Franny.Huang	2016-09-08 15:44	172.18.190.254	Windows 7	IE 11.0	1
			1	<u>hailong.li</u>	2016-09-08 16:27	172.18.190.211	Windows 10	Chrome 51.0.2704.106	1
			1	hongyan.yang	2016-03-16 11:20	172.18.190.64	Windows 7	Chrome 44.0.2403.157	1
				IronMan	N/A	N/A	N/A	N/A	1
								Chrome	

図 7-12 User/Workspace





A:新しいワークスペースを作成します。詳細は「ワークスペースの作成」を参照してください。

- B:リストが表示されているコラムを非表示にします。
- C:リストを検索します。
- D:ワークスペースの名前を変更、またはワークスペースを削除します。
- E:ドラッグし、リストの順番を変更します。

■ 右側パネルについて

dview 7								admin (logout) ad	Jmin 👻 🛛 English 👻 🛛 Help	- D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report System					C9 W2 11	10 S 507 U 8
∦ Home > System	> User / Workspa	ce								
+	**	test Total L	Isers 2 (📕 0 📕 0 💑 2 .	👃 0) Total Devices 0 (🛑 0	000)					
All Users (4)			-							
Search "Workspace'	• Q	Users	Devices							
admin(1)		New Use	r OpenID Provide	er Edit				Search "	Keyword"	Q Export
Workspace_A(1)	. =	Status 0	Name *	La	t Login Time 🕴	Last Login IP 🕴	Last Login OS 🅴	Last Login Browser	0	Workspace 0
test(2)		4	<u>aaa</u>	N/	۹.	N/A	N/A	N/A		1
test2(1)	=	*	test	N/	4	N/A	N/A	N/A		2

- ・「Users」タブ:ユーザのリストが表示されます。リンクをクリックすると詳細情報が表示されます。
- ・「Device」タブ:デバイスのリストが表示されます。リンクをクリックすると Inventory 画面で詳細情報が表示されます。
- ・「New User」:ユーザの追加を行います。詳細は「ユーザの追加」を参照してください。
- ・「OpenID Provider」:OpenID のユーザ情報を設定します。詳細は「OpenID プロバイダの設定」を参照してください。
- ・「Edit」:ワークスペースのユーザまたはデバイスを編集します。
- ・「Search Keyword」: ユーザまたはデバイスの検索を行います。
- ・「Export」:リストを CSV 形式でエクスポートします。

ワークスペースの作成

新しくワークスペースを作成する方法について説明します。

- 1. 画面左端の「+」をクリックします。
- 2. 「Name」(名前) と「Description」(概要)を入力し、「Next」をクリックします。

		200 - Sec.
0	2	3
	1. Workspace Information	
Name*		
Description		
		Next

図 7-13 Create New Workspace 01

- 3. デバイスを選択し、「Next」をクリックします。
- 選択したデバイスが無線コントローラなどのデバイスで管理されている場合、管理しているデバイスも追加してください。

<u> </u>				-2			3
			2. Appl	ly to Device(s)			
All	Selected Select All	Deselect All				Search "Keyword"	Q
	System Name 🔺	MAC 0	IP φ	Device Type 🔅	Label	Workspace 0	
•	DGS-1100-10MP	111.111.041.01.200	111.101.11.201	L2 GE Switch		0	
	DGS-1210	PERMIT ALL LANS	IN THE LEVE	L2 GE Switch	N/A	0	
	DGS-1510-28	Photostation actual	101100-0120	L2 GE Switch		0	
	DGS-3000-10L	Philippine scale	DOLM THE	L2 GE Switch		0	
	DG5-3000-10TC/A2	Philippine scale	DOLDAL DE D	L2 GE Switch		0	
	DIS-200G-12SW-DJP	PERMITABLE CAR	IN THE LT M	L2 GE Switch		0	
	DSR-1000	Philippine scale	DOLM TO N	Unified Router		0	
	SWITCH	Photosofie science	DOLLAR TEN	L2 GE Switch	N/A	0	

☑ 7-14 Create New Workspace 02

画面右端の検索ボックスでデバイスを検索できます。「Advanced Search」からより詳細な検索を行うこともできます。 All Selected Select All Deselect All Deselect All Deselect All

System Name			MAC						
Label	All	~	IP Range 🗸			Device Type	All		~
				1					
								Search	Close

図 7-15 Advanced Search

4. デバイスおよびモジュールの権限を「Read Only」(読み取りのみ)または「Read & write」(読み取りと書き込み)から選択します。

0-		O	
		3. Set Privilege	
Enable	Name	Device Privilege	Module Privilege
	test	Read Only	Read Only
	test	Read Only	Read Only
-	test	Read Only	Read Only

☑ 7-16 Create New Workspace 03

5. 「Submit」をクリックします。

ユーザの追加

D-View7 サーバに新しいユーザを追加する方法を説明します。

- 1. 「New User」をクリックします。
- 2. 以下の画面で設定を行います。
 - Account Source:アカウントのソースを「Local」または「OpenID」を選択します。
 - ・ Email Address:E メールアドレスを入力します。
 - Name:ユーザ名を入力します。
 - Password:パスワードを入力します。(「Local」選択時のみ)
 - Repeat Password:再度パスワードを入力します。(「Local」選択時のみ)
 - Description:概要を入力します。
 - Account Type:アカウントのタイプを「Admin」(管理者)または「User」(ユーザ)から選択します。
 - Privilege:アカウントタイプで「User」を選択した場合、ユーザの権限を選択します。アカウントの特権は、ワークスペースに基づくため、ワークスペースがユーザーが割り当てられるデバイスに対し正しい許可を持つかどうかを必ず確認してください。

count Cource			
count source	Local O OpenID		
nail Address*			
ime*			
ssword*		•	
peat Password*		•	
scription		~	
		~	
count Type	🔾 Admin 🔘 User		
vilege*	Enable Name	Device Privilege	Module Privilege
	Workspace_A	Read Only	Read Only
	test	Read Only	Read Only

🗵 7-17 Create New User

3. 「Submit」をクリックします。

ユーザの編集

既存のユーザの情報を編集します。

- 1. 右パネルの「System」列でユーザ名のリンクをクリックします。
- 2. User Profile 画面でユーザ情報の編集を行います。

Account Information(アカウント情報)タブ

ステータス、アカウントタイプ、権限を編集できます。

Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Repor	t System		C 9 W 2 I 10 5	5 507 U
룸 Home > Syste	em > User Profile				and the second second			
			Account Information	P	ersonal Info Se	curity		
			Status*	Inactive	Resend	Active		
			Account Type	🔾 Admin	 User 			
	🚴 User		Privilege	Enable	Workspace	Device Privilege	Module Privilege	
test	💄 User		Privilege	Enable	Workspace Workspace_A	Device Privilege Read Only	Read Only	
test	Luser		Privilege	Enable	Workspace Workspace_A test	Device Privilege Read Only V Read Only V	Module Privilege Read Only Read Only	

☑ 7-18 User Profile_Account Information

Personal Info(個人情報)タブ

ユーザ名、場所、電話番号、説明を変更できます。

Dachhoard	Tayontony	Monitor	Maintonanco	Report	Suctom				10	C 507 00
Home > Svete	m > User Profile	Monitor	Maintenance	кероп	System			C 9 W 2	1 10	5 507 0
in nome - oyote		,	Account Information	Persona	al Info	Security				
			Name*	test						
		9	ocation							
	👃 User		Telephone							
test		j.	Description				~			
							\sim			
							Save			

☑ 7-19 User Profile_Personal Info

Security(セキュリティ)タブ

パスワードとEメールを変更できます。

Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System		C 9 W 2	I 10	S 507 U
Home > Syste	n > User Profile								
		F	Account Information	Personal	Info Sec	urity			
			Change Password						
			Password*						
tect	👃 User		New Password*						
			Repeat Password*						
					Reset	Save			
			Change email						

⊠ 7-20 User Profile_Security

^{3. 「}Save」をクリックし、設定を適用します。

Sensor Settings (センサ設定)

Sensor Settings 画面では、センサの表示と編集、センサの新規作成を行うことができます。本画面で設定したセンサは、センサを適用したデバイスの Inventory 画面に表示されます。

センサの種類によっては適用できないデバイスがあります。(例:無線関連のセンサは無線機能のないデバイスに適用できません。)

dview 7						Up	grade Matt_Luu (logout)	admin 👻 🛛 English 👻 🗍 Help	D-Link
Dashboard	Inventory	Monito	r Maintenance	System				C 63 W 22 1 25	S 53 U 84
삼 Home > Syster	m > Sensor Settings								
	*								
CPU Utilization		CPU	Utilization						
Memory Utilization	1	Collect	CPU utilization						
Ping		Paran	neters CPU Ut	ilization	S	upported Devic	es <u>20</u>		
Syslog									
Trap		Sensor	List						
Wired Error Packe	t	New S	Sensor					Search "Keyword"	Q
Wired Traffic					7-11/10-2	Transfer 1	Transformed		
Wireless AP Type		NO.	Name -		Interval (Plin) +	Events	Target Devices v		Action
Wireless Client		1	COLL Utilization Conser		1		1		6
Wireless Error Pac	ket	2	CPO Oulization Sensor		1		19		
Wireless Traffic (b	it)								
Wireless Traffic (p	acket)								

図 7-21 Sensor Settings

センサの作成

- 1. 左コラムのセンサリストから、センサのタイプを選択します。
- 2. 「New Sensor」をクリックします。
- 3. 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 - 「Name」:センサの名前
 - ・「Interval」:デバイスからセンサがデータを収集する間隔(単位:秒)を選択します。
 - 「Description」: 概要を入力します。

0	2	3
	1. Set Sensor Information	
Name*		
Interval	5 🗸 Sec 0	
Description	Ç	
		Next

図 7-22 Create New Sensor 01

- 4. 以下の画面でセンサの情報を入力し、「Next」をクリックします。
 - 「Event」:イベントの「ON」または「OFF」を選択します。イベントは「Info Event」<「Warning Event」<「Critical Event」の順で優先度 が高くなります。
 - ・「Trigger」:トリガとなるしきい値を設定します。しきい値の単位はセンサのタイプによって異なります。
 - ・「Alert when trigger repeat for」:アラートを通知する前にトリガを繰り返す回数を設定します。
 - ・「Escalation」:「ON」にした場合、イベントが複数回検出されるとアラートはさらに高い優先度に変更(エスカレート)されます。
 - ・「Escalation when status repeat for」:エスカレートされる前にイベントを繰り返す回数を設定します。

		2. Set S	ensor Infor	mation			
ing Event Trigger	Rules						Res
Response Time	Settings	Info Event		Warning Event		Critical Event	
	Event	O ON OF	F	O ON OFF		O ON OFF	
	Trigger	Unknown		Unknown		Unknown	
	Alert when trigger repeat for	1 Times		1 Times		1 Time	
	Escalation ()	O ON OF	F	O ON OFF			
	Escalation when status repeat for	1	Times	1	Times		

図 7-23 Create New Sensor 02

5. センサを適用するデバイスを選択します。

				-0			€
			3. Apply	y to Device(s)		
All	Selected	Select All Deselect All				Search "Keyword"	C
	Status 🕴	System Name	MAC 0	ID 0	Device Type 🌵	Model Name 🕴	Label
~	•	DGS-1100-10MP	54:86:6A:70:60:87	152.166.00.200	L2 GE Switch	DGS-1100-10MP	
		DGS-1210	00185/04/AA(22/08	192-158-10-105	L2 GE Switch	DGS-1210-28P	N/A
		DGS-1510-28	0015204/AA02208	192-158-10-108	L2 GE Switch	DGS-1510-28	
	•	DGS-3000-10L	00155104/AA/22108	192-108-10-101	L2 GE Switch	DGS-3000-10L	
		DGS-3000-10TC/A2	30185/04/AA/22/08	192.155.10.105	L2 GE Switch	DGS-3000-10TC	
		DIS-200G-12SW-DJP	0015004/AA(22108	192-168-10-105	L2 GE Switch	DIS-200G-12S/SW	-
		DSR-1000	00182/04/AA22208	192.358.33.305	Unified Router	DSR-1000	-
10		SWITCH	301820484/22/08	192,355,10,305	L2 GE Switch	DGS-1100-16	N/A

図 7-24 Create New Sensor 03

6. 「Finish」をクリックします。

作成したセンサはセンサリストに表示されます。

Action 欄のアイコンから編集、削除を実行できます。

💼:センサを削除します。

📝:センサを削除します。

Notification Center (通知センター)

Notification Center は、何らかのイベントが検知された時に、管理者へ通知を実行する機能です。 本画面では通知ルールの設定を行うことができます。

注意

同時に Telnet や SSH を実行できる数はお使いの Windows OS に依存します。

lview 7							tom.jay (logout) adm	in 🔻 🛛 English 🔻 🗌 Help 🤻	D-Lini
ashboard	Inventory	Monitor	Mainten	ance Syst	tem		C	376 W 130 I 145	S 246 U 1
Home > Syste	m > Notification C	enter							
Add Notificatio	n Rule						Search '	'Keyword" @	ک Export
Name \$		Status	Source Device	Sensor	Trigger Event	Method	Latest Notify Time *	Latest Result	Action
日月		Active	0	HTTP Sensor - 010101	C 👿 I	Send Email	N/A	-	020
ddd434		Active	0	SNMP Sensor - 239CPU	C 🛛 I	Send Email	N/A		000
fdsfsfds		Active	0	SNMP Sensor - 123	C 🗑 I	Send Email	N/A	-	001
fsfdsfs		Active	0	HTTP Sensor - ddddd	C 🔛 I	Execute Script	N/A		001
12		Active	0	CPU Utilization	C 🖼 I	Execute Script	N/A		001
123		Active	0	Wired Traffic	С 🗑 I	Send Email	2016-05-24 10:57	22	OZť
test		Active	1	Trap	С 🔛 I	Send Email	2016-07-27 17:44	-	001
ddd		Active	1	CPU Utilization	C 🖬 I	Send Email	2016-09-07 14:47	-	001
WLY TEST		Active	1	CPU Utilization	C 👿 I	Execute Script	2016-09-07 14:47		001
ffdfd		Active	<u>10</u>	Memory Utilization	C 👿 I	Execute Script	2016-09-08 12:01		021
edd		Active	<u>6</u>	CPU Utilization	C 🖼 I	Send Email	2016-09-08 14:24		001

図 7-25 Notification Center

■ 通知ルールをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、通知ルールをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



図 7-26 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

■ 通知ルールリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. 通知ルールのリストが CSV 形式でエクスポートされます。

■ Action 欄のアイコンについて

◎ :ルールを一時停止します。

- ●: 一時停止したルールを再開します。
- ☑:ルールを編集します。編集方法については「通知ルールの追加」を参照してください。

前:ルールを削除します。

通知ルールの追加

- 1. 「Add Notification Rule」をクリックします。
- 2. 通知ルールの「Name」(名前)と「Description」(概要)を入力し、「Next」をクリックします。

	Add Notification Rule	×
0	2	3
	1. Set Profile Information	
Name*		
Description	^	
	~	
		Next

図 7-27 Add Notification Rule 01

- 3. 以下の画面で設定を行い、「Next」をクリックします。
 - ・「Sensor Type」: センサのタイプを選択します。
 - ・「Sensor」:センサを選択します。
 - ・「Choose Device」:デバイスを選択します。
 - •「Notify when the alarm happen」:通知するアラートのレベルを選択します。

						5
			2.	Set Conditio	ons	
sor Typ	e	CPU Utilization	~			
sor		Choose Sensor				
loose	Device					
	Selected	Select All Deselect All				Search "Keyword"
All						
AII]	Status	System Name *	MAC 0	IP 0	Model Name	Label
	Status	System Name *	MAC 0 SCIENCELARIZING	IP 0	Model Name 0 DGS-1510-28	Label
	Status •	System Name * DGS-1510-28 DGS-3000-10L	MAC 0 2013810414412100 2013810414412100	IP 0 191.000.00.001 191.000.00.001	Model Name DGS-1510-28 DGS-3000-10L	Label

⊠ 7-28 Add Notification Rule 02

4. 通知方法を「Send Email Notification」(E メールを送信)または「Execute Script」(スクリプトを実行)から選択します。

Add Notification Rule

0		 0						
	3. Set Notification Details							
Notification Method	Send Email Notification Execute Script							
Send Notification to	Add							
		Back Finish						

図 7-29 Add Notification Rule 03

5. 「Send Email Notification」を選択した場合は、「Send Notification to」にEメールアドレスを入力 →「Finish」をクリックします。

- 6. 「Execute Script」を選択した場合、以下の項目を入力→「Next」をクリックします。
 - •「Command Line」: コマンドを入力します。
 - •「Apply Script to」: コマンドを実行するデバイスを「Itself」または「Other Devices」から選択します。「Other Devices」を選択した場合、表示される D-View7 の管理デバイスから少なくとも一つ選択します。

		Add Notification Rule		\$
~		0	4	5
		3. Set Notification Details		
Notification Method	Send Email Notification	Execute Script		
Command Line		Command Line		0
Apply Script to	⊛Itself 📀	Other Devices		
				Back Next

🗵 7-30 Add Notification Rule 04

7. 接続方法(SSH または Telnet)とユーザ名・パスワードを指定し、「Next」をクリックします。

	4. Set Authentica	tion Info & Assign A	ttributes	
efault Value				Rese
Deliver Protocol*	Username*		Password	
SSH Telnet	field, please input a value for it			
evice Attributes				Rese
			Search: Search	h Device
Device *	Deliver Protocol* +	Username* +	Password +	
ATS core switch (10 100 20 103)	[Default]	[Default]	[Default]	

🗵 7-31 Add Notification Rule 05

8. オプションとしてスクリプトのアウトプットを受信する E-mail アドレスを指定することができます。「Send Result to」に E メールアドレスを入力します。

		Add Notification Rule		
<u>o</u> —	•	•	0	
		5. Receive Result by Email	(Optional)	
Send Result to		Add		
				Back Finish

☑ 7-32 Add Notification Rule 06

9. 「Finish」をクリックします。

System Logs(システムログ)

System Logs 画面では、D-View7 サーバで発生したすべてのイベントのリストを表示します。

dview 7						Upgrade Matt_Luu (logout) admin v English v Help v D-Li
Dashboard II	nventory	Monitor	Maintenance	System		C 64 W 21 I 25 S 53 U
☆ Home > System > S	System Logs					
						Advanced Search 👻 Export
Time 🔻	Category 0		User 0		Action 0	Target ϕ Message
2014-05-09 11:20	Device		matt_luu	@dlink.com.tw	Edit	dws4026-191.111 (172.18.191.111)
2014-05-09 11:20	Task		matt_luu	@dlink.com.tw	Create	QuickTask_CustomDiscover_2014/5/9 11:20:15
2014-05-09 11:20	Device		matt_luu	@dlink.com.tw	Edit	dws4026-191.111 (172.18.191.111)
2014-05-09 11:20	Task		matt_luu	@dlink.com.tw	Create	QuickTask_SystemConfig_2014/5/9 11:20:04
2014-05-09 11:19	User		matt_luu	@dlink.com.tw	Login	N/A
2014-05-09 10:54	User		junnan_d	lai@cn.dlink.com	Login	N/A
2014-05-09 10:43	User		junnan_d	lai@cn.dlink.com	Logout	N/A
2014-05-09 10:38	User		terrel_ye	h@dlink.com.tw	Login	N/A
2014-05-09 10:25	User		ivan		Login	N/A
2014-05-09 10:24	User		ivan		Logout	N/A
2014-05-09 10:08	User		terrel_ye	h@dlink.com.tw	Logout	N/A
2014-05-09 09:25	User		sylph_lin	@dlink.com.tw	Login	N/A
2014-05-09 09:08	User		shenwu_	liu@cn.dlink.com	Login	N/A
2014-05-08 18:52	User		shenwu_	liu@cn.dlink.com	Logout	N/A
2014-05-08 17:47	Device		Local Pro	be	Discover	N/A (172.18.190.49)
2014-05-08 17:46	Device		Local Pro	be	Discover	D-Link (172.18.190.233)
2014-05-08 16:46	Device		admin		Edit	D-Link DAP-2590 (172.18.191.153)
2014-05-08 16:46	Device		admin		Edit	D-Link DAP-2590 (172.18.191.153)
2014-05-08 16:43	Device		Local Pro	be	Discover	N/A (172.18.190.32)
2014-05-08 16:43	Device		Local Pro	be	Manage	N/A (172.18.190.209)

⊠ 7-33 System Logs

■ イベントリストをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、イベントリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。



図 7-34 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

■ イベントリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. イベントリストが CSV 形式でエクスポートされます。

Trap Editor (トラップエディタ)

Trap Editor 画面では、SNMP トラップの管理を行います。

dview 7						Upgrade admin (logo	ut) admin - English - Help - D-Link
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System			
Home > System	m > Trap Editor			and a star for the start	and the second		والمراجع والمتعالية والمتعالية والمتعالية والمتعارية المتعارية
Add							Search "Keyword" Q Export
OID *			OID Descr	iption	OID Type 💠	Action	
1.3.111.2.802.	1.1.8.0.1		dot1agCfm	FaultAlarm	Trap OID	2 1	
1.3.6.1.2.1.158	3.0.1		dot3OamT	hresholdEvent	Trap OID	2 曲	
1.3.6.1.2.1.158	3.0.2		dot3OamN	onThresholdEvent	Trap OID	C @	
1.3.6.1.2.1.16.	0.1		risingAlarn	1	Trap OID	2 8	
1.3.6.1.2.1.16.	0.2		fallingAları	n	Trap OID	区 會	
1.3.6.1.2.1.17.	0.1		newRoot		Trap OID	C m	
1.3.6.1.2.1.17.	0.2		topologyCl	nange	Trap OID	20	
1.3.6.1.2.1.47.	2.0.1		entConfig0	hange	Trap OID	区 會	
1.3.6.1.2.1.68.	0.1		vrrpTrapNe	ewMaster	Trap OID	C =	
1.3.6.1.2.1.68.	0.2		vrrpTrapAi	uthFailure	Trap OID	6 1	
1.3.6.1.2.1.80.	0.1		pingProbel	alled	Trap OID	区 會	
1.3.6.1.2.1.80.	0.2		pingTestFa	iled	Trap OID	区會	
1.3.6.1.2.1.80.	0.3		pingTestCo	ompleted	Trap OID	区會	
1.3.6.1.2.1.81.	0.1		traceRoute	PathChange	Trap OID	6 1	
1.3.6.1.2.1.81.	0.2		traceRoute	TestFailed	Trap OID	区會	
1.3.6.1.2.1.81.	0.3		traceRoute	TestCompleted	Trap OID	区會	
1.3.6.1.3.61.1.	0.1		pimNeighb	orLoss	Trap OID	6 1	
1.3.6.1.4.1.171	1.11.64.1.2.15.0.3		swL2macN	otification	Trap OID	区 會	
1.3.6.1.4.1.171	1.11.64.1.2.15.0.4		swL2porth	rpechgNotification	Trap OID		
1.3.6.1.4.1.171	.11.64.1.2.15.0.5		swPowerSI	atusChg	Trap OID	C @	
20 🔽 Records	per page						< < 1 2 3 4 5 6 × ×

🗵 7-35 Trap Editor

■ トラップリストをフィルタする

- 1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、トラップリストをフィルタできます。
- 2. 検索ボックスに表示される「Advanced Search」をクリックすると、以下の画面が表示されます。

Add				Advanced Search \mathbf{x}	Export
OID	OID Type	All	×		
				Search	Close

図 7-36 Advanced Search

- 3. 検索する項目を入力します。
- 4. 「Search」をクリックし、フィルタを実行します。

■ トラップリストをエクスポートする

- 1. 画面右上部の「Export」をクリックします。
- 2. トラップリストが CSV 形式でエクスポートされます。

■ Action 欄のアイコンについて

📝:トラップの OID を編集します。

💼:トラップを削除します。

トラップの追加

新しいトラップを追加する方法について説明します。

- 1. 「Add」をクリックします。
- 2. 以下の項目を入力します。
 - ・「OID」:OID を入力します。
 - 「OID Description」: OID の概要を入力します。
 - ・「OID Type」: OID のタイプを「Trap OID」または「Binding Variable OID」から選択します。

		Add Trap OID Description	×
OID*			
OID Description*			
OID Type	Trap OID Trap OID Binding Variable OID	Sav	/e

🗵 7-37 Add Trap OID Description

3. 「Save」をクリックします。

About (本製品について)

About 画面では D-View7 サーバの情報を表示します。

表示される情報は IP アドレス、MAC アドレス、システムの稼働時間、ソフトウェアのバーションなどです。

- ・「Support Device Model List」タブ:D-View7と互換性のあるデバイスを表示します。
- ・「Customized Identified Device Model List」タブ:カスタマイズされ、識別されたデバイスを表示します。

Dashbard Nuentory Mainternance Report System Constrained Cons	dview 7								admin (log	gout) admin 🔻	English 👻 Help	D-Link	
Name > System > About About Saftware Version 1.3.3.0 O Last Undate Date 2017-11-28 17.05 System Uptime 1 Days, 17.48:00 SMTP Server atts ULS Software Version Core Server MAC Core Server MAC Core Server MAC Supported Device Model List Core Server MAC Supported Device Model List Core Server MAC Supported Device Model List Core Server MAC Dare Server Core Server MAC Dare Server MaC Search "Keywerd" Core Server MAC Dare Server MAC Search "Keywerd" Core Server MAC Dare Server MaC Search "Keywerd" Search "Keywerd"	Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	Report	System					C 33	I 10 S 380	
About Seffware Version 1.3.3.0 O-view is up to date Last Update Date 2017-11-28 17.05 System Uptime 1 Days, 17.48:00 SMTP Server attp1.28.com Q' Core Server IP Core Server NAC 00:24:81:88:D6:8D Core Server MAC Dog 0.02.14 Outschell List Cure Server MAC System Off Core Server MAC Supported Device Model List Customized Identified Device Model List Customized Identified Device Model List System Off Vendor Core Server MAC DAP Series 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.56 D-Link Core Server MAC DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.49 D-Link Core Server MAC DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.49 D-Link Core Server MAC DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.49 D-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.49 D-Link DAP-2320 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.49 D-Link DAP-2320 Standalone AP A	쑴 Home > Syster	n > About											
Saftware Version 1.3.3.0 Device Vise Last Update Date 2017-11-28 17:05 System Uptime 1 Days, 17:48:00 SMTP Server smtp128:cm C Core Server IP Core Server MAC O024:81189106:80 C Supported Device Model List Customized Identified Device Model List Search "Negword" C Model Name Device Type HW Version System OID Vendor C DAP-2230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.56 O-Link O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 O-Link O-Link DAP-2320 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 O-Link O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 O-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 O-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 O-Link DAP							About						
System Uptime 1 Days, 17/49:00 SMTP Server Imbuilds.com C System Uptime 1 Days, 17/49:00 SMTP Server Imbuilds.com C Core Server IP Core Server NAC 00:24:91:98:06:80 Supported Device Model List Search "Keyword" Search "Keyword" Origin Sector DAP 2820 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.56 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 O-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 O-Link DAP-2320 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 O-Link DAP-2350 <td>Coffuerro Vor</td> <td>rion</td> <td>1220 01</td> <td>D Mowlis up to data</td> <td></td> <td>Lact</td> <td>Indata Data</td> <td>2017 11 29 17:00</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	Coffuerro Vor	rion	1220 01	D Mowlis up to data		Lact	Indata Data	2017 11 29 17:00					
System Uptime 1 Days, 17.48:00 SMTP Server smtp.12b.com C Core Server IP Core Server NAC 00:24:81:88:06:80 10:00:00:214 00:24:81:88:06:80 Supported Device Model List Custmized Identified Device Model List Supported Device Model List Custmized Identified Device Model List Model Name Device Type HW Version System 010 Vendor DAP Series DAP-2200 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1:3.6.1.4.1.71:10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1:3.6.1.4.1.71:10.37.43 D-Link DAP-2320 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.49 D-Link DAP-2310 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.40 D-Link DAP-2320 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.40 D-Link DAP-2350 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.40 D-Link DAP-2360 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.40 D-Link DAP-2353 Standalone AP A 1:3.6.1.4.1.71:10.37.40 D-Link DAP-2553 Standalone AP A <	Sultware ver	51011	1.3.3.0 🕥	D-view is up to date		Last	opuate Date	2017-11-28 17:03	-				
Core Server IP Core Server NAC 10.90.90.214 0024/31188:00580 Supported Device Model List Customized Identified Device Model List Nodel Name Device Type HW Version System 010 Vendor DAP-2200 Standalone AP A 13.6.1.4.1.71.10.37.56 D-Link DAP-2210 Standalone AP A1 13.6.1.4.1.71.10.37.42 D-Link DAP-2210 Standalone AP A1 13.6.1.4.1.71.10.37.42 D-Link DAP-2210 Standalone AP A1 13.6.1.4.1.71.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 13.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 13.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 13.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-2305 Standalone AP B 13.6.1.4.1.71.10.37.40	System Uptin	ne	1 Days, 17:-	48:00		SMTP	Server	smtp.126.com	Ľ				
00:24: 81:88:06:80 Supported Device Model List DuP - 2010 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.3.7.6 O-Link DAP - 2230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.3.7.4 O-Link DAP - 230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.3.7.9 O-Link DAP - 230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.3.7.9 O-Link DAP - 230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.3.7.9 O-Link DAP - 2500 Standalone AP <th c<="" td=""><td>Core Server</td><td>·IP</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Core Se</td><td>erver MAC</td><td></td><td></td><td></td><td></td></th>	<td>Core Server</td> <td>·IP</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>Core Se</td> <td>erver MAC</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	Core Server	·IP					Core Se	erver MAC				
Supported Device Model List Supported Device Model List Search "Keyword" Colspan="2">Search "Keyword" Nodel Name Device Type HW Version System 0ID Vendor DAP-2230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.56 D-Link DAP-2210 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 D-Link DAP-23108 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-23108 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2300 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2300 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP	10.90.90.21	4					00:24:8	81:8B:D6:8D					
Supported Device Model List Customized Identified Device Model List Search "Keyword" Search "Keyword"<			_										
Nodel Name Device Type HW Version System OID Vendor DAP-Series	Supported [Device Model List	Custor	nized Identified Device	Model List								
Nodel Name Device Type HW Version System DID Vendor DAP-Series											Search "Keyword"	Q	
DAP Series DAP-2230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.56 D-Link DAP-2210 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.43 D-Link DAP-2310 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.49 D-Link DAP-23108 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.49 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.50 D-Link DAP-2308 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.50 D-Link DAP-2553 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.36 D-Link DAP-2553 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.36 D-Link DAP-2553 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.36 D-Link DAP-2660 Standalone AP	Model Name		Dev	ісе Туре		HW Version	1	System OID		¥endor			
DAP-2230 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.56 D-4ink DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-23108 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-2353 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-2559 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1	DAP Series											- 1	
DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.42 D-Link DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-23108 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 D-Link DAP-23108 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2308 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2308 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2508 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2508 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.48 D-Link DAP-2500 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.36 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.35 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1	DAP-2230		Star	ndalone AP		A		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.56	D-Link			
DAP-2310 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.43 D-Link DAP-2310B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 D-Link DAP-2310 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2300 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2500 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2553 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.55 D-Link DAP-2600 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.64 D-Link DAP-2600 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.55 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.55 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.57 D-Link DAP-2600S Standalone AP B 1.3.6.1.	DAP-2310		Star	ndalone AP		A1		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.42	D-Link			
DAP-2310B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.49 D-Link DAP-2330 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.51 D-Link DAP-2360 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2360 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2360 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-23608 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.55 D-Link DAP-25538 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.55 D-Link DAP-2560 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.56 D-Link DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.52 D-Link DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.52 D-Link DAP-2690 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2690B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2690B Standalone AP A 1.3.6.1	DAP-2310		Star	ndalone AP		A1		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.43	D-Link			
DAP-2330 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.51 D-Link DAP-2360 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-23608 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.50 D-Link DAP-23608 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.50 D-Link DAP-23508 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.50 D-Link DAP-25578 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.44 D-Link DAP-25500 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.52 D-Link DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.52 D-Link DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.52 D-Link DAP-2690 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.57 D-Link DAP-2690B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.57 D-Link DAP-2690B Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.37.47 D-Link DAP-2690B Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.71.10.3	DAP-2310B		Star	ndalone AP		В		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.49	D-Link			
DAP-2800 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2808 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2808 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2853 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2853 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2850 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.30 D-Link DAP-2860 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.30 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.30 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.40 D-Link DAP-2860 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.1	DAP-2330		Star	ndalone AP		А		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.51	D-Link			
DAP-2360B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2553 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.35 D-Link DAP-2553B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.48 D-Link DAP-2553B Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2500 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2660 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2690 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2690 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.50 D-Link DAP-2690B Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2690B Standalone AP B1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2690S Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link	DAP-2360		Star	ndalone AP		A		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.40	D-Link			
DAP-2553 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.35 D-Link DAP-2553B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.48 D-Link DAP-2590 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.35 D-Link DAP-2600 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.171.10.37.35 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.52 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.52 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.57 D-Link DAP-2600 Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2609B Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2609S Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.47 D-Link	DAP-2360B		Star	ndalone AP		в		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.50	D-Link			
DAP-2553B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.71.10.37.40 D-Link DAP-2590 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.71.10.37.36 D-Link DAP-2600 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.71.10.37.36 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.39 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.45 D-Link DAP-26008 Standalone AP B4 1.3.6.1.4.1.71.10.37.45 D-Link DAP-26098 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.71.10.37.45 D-Link	DAP-2553		Star	ndalone AP		A1		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.35	D-Link			
DAP-2590 Standalone AP A2 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.36 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.52 D-Link DAP-2600 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.52 D-Link DAP-2600 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.45 D-Link DAP-2600B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.45 D-Link DAP-2609B Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.45 D-Link	DAP-2553B		Star	ndalone AP		в		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.48	D-Link			
DAP-2660 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.52 D-Link DAP-2690 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.171.10.37.99 D-Link DAP-2690B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2690B Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2695S Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.47 D-Link	DAP-2590		Star	ndalone AP		A2		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.36	D-Link			
DAP-2690 Standalone AP A1 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.39 D-Link DAP-2690B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.45 D-Link DAP-2695S Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.17.1.0.37.47 D-Link	DAP-2660		Star	ndalone AP		А		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.52	D-Link			
DAP-2690B Standalone AP B 1.3.6.1.4.1.171.10.37.45 D-Link DAP-2695 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.47 D-Link -	DAP-2690		Star	ndalone AP		A1		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.39	D-Link			
DAP-2695 Standalone AP A 1.3.6.1.4.1.171.10.37.47 D-Link -	DAP-2690B		Star	ndalone AP		в		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.45	D-Link			
	DAP-2695		Star	ndalone AP		A		1.3.6.1.4.1.171	.10.37.47	D-Link		*	

図 7-38 About

■ デバイスリストをフィルタする

1. 画面右上部の検索ボックスにキーワードを入力し、デバイスリストをフィルタできます。

■ デバイスリストを編集する

- 1. 「Customized Identified Device Model List」タブを選択します。
- 2. 📝をクリックします。
- 3. 以下の画面でデバイス情報を変更します。

	Identify	
System OID*	1.3.6.1.4.1.9.1.563	
Device Type	L3 FE Switch	
Start Port Index	1	
Port Count	26	
Model Name*	test	
HW Version		
Vendor*	dlink	
		Save

図 7-39 Identify

4. 「Save」をクリックします。

■ D-View7のEメール設定を編集する

- 1. 「SMTP Server」横のメールアドレスの をクリックします。
- 2. 以下の画面で E メールの設定を行います。
 - SMTP Host Address:SMTP ホストアドレスを入力します。
 - Port:ポートを入力します。
 - From Email Address:E メールアドレスを入力します。
 - From Name:名前を入力します。
 - SSL:SSL を「Enable」(有効)または「Disable」(無効)に設定します。
 - EncodingType:エンコード形式を選択します。
 - Require SMTP Authentication: SMTP 認証を要求する場合、チェックを入れてユーザ名とパスワードを入力します。
 - ・ Send Test Email:テストメールを送信する場合、チェックを入れてメールアドレスを入力→「Test」をクリックします。

	SMTP Settings		×
SMTP Host Address*	xxxxxxxxx.com		
Port*	25		
From Email Address*	xxxxxxxx@xxxxxx.com	9	
From Name*	dview7		
SSL	⊖ Enable		
EncodingType	UTF8	~	
Require SMTP Auther	tication		
Send Test Email			
		Save C	ancel

図 7-40 SMTP Settings

付録 A MongoDB バージョン 2.6 から 3.2 への移行

MongoDB のバージョン 2.6 から 3.2 への移行について説明します。 「MongoDB Upgrade Tool」は http://dview.dlink.com/download.php からダウンロードできます。

移行手順

- 1. D-View7 MongoDB ツール (D-View7 MongoDB Tool.exe) を起動します。
- 2. バージョンの移行に同意する場合は「Agree」をクリックします。



3. 以下の画面で「Check」をクリックします。本ツールを初めて使用する場合「Check」のみ選択可能です。

dview 7 MongoDB Tool Setup	DB Tool
Check	Data Backup
MongoDB Settings	Data Restore

🖾 8-2 MongoDB 02

4. 確認画面が表示されます。再度「Check」を実行する場合は「Check」をクリックします。 キャンセルする場合は「Cancel」をクリックしメイン画面に戻ります。

dview 7 MongoDB Tool	
Checking Please click "Check" button to verify the MongoDB Information.	
Check	incel

🗵 8-3 MongoDB 02

- 5. 「Check」が完了すると「Data Backup」が表示されます。 バージョン移行の前に「Data Backup」をクリックし、データベースのバックアップを行います。
- **6.** バックアップ先として PC 上のパスを指定します。初期値では「Backup」フォルダが移行ツールと同じ階層に作成されます。 「Backup」をクリックし、バックアップを開始します。

dviev	/ 7 MongoDE	3 Tool	
Please select a	path to backup the data files .		
Backup Path:	D:\MongoDB backup\Backup		Browse
		Backup	Cancel

図 8-4 MongoDB 03

- 7. バックアップ結果が表示されます。バックアップ完了後、「Cancel」をクリックしメイン画面へ戻ります。
- 8. バックアップ後のメイン画面には、起動中の「MongoDB」の状況に応じて以下の項目が表示されます。必要に応じてそれぞれの項目を実行してください。
 - 「Upgrade」(MongoDBのアップグレード)
 - ・「Register」(Windows サービスの登録)
 - 「Install」(MongoDBのインストール)

■ 「Upgrade」を行う場合(「MongoDB」のアップグレード)

手順「8」で「Upgrade」が表示されている場合、クリックし「MongoDB」のインストール(アップグレード)用パスを指定します。

dview 7 MongoDB Tool		
Please select the	e install path for MongoDB 3.2!	
MongoDB Path:		Browse
Attention: If you select	ed the original MongoDB path to do the upgrade, plea	se make
be emptied.	re backed-up your database, as the original data toi	der will
📄 Yes, I hav	ve backed-up the original database.	
	Upgrade	Cancel

図 8-5 MongoDB 04

既存のインストール済みのデータベースをアップグレードする場合、必ず事前に当該データベースのバックアップを取得してください。 オリジナルのデータフォルダ内は、アップグレード後は空になります。

「Yes, I have backed-up the original database」(オリジナルのデータベースをバックアップ済みです)の項目にチェックを入れ、「Upgrade」を クリックしてアップグレードを開始します。 インストレーションパスの下部にアップグレード状況が表示されます。

アップグレード完了後、「Cancel」をクリックしメイン画面へ戻ります。

■ 「Register」を行う場合(Winodws サービスとしての登録)

手順「8」で「Register」ボタンが表示されている場合、クリックし「MongoDB」の「bin」用パスを指定します。

dview 7 MongoD	B Tool
Please select the installed MongoDB 3.2 "bin"	path.
MongoDB Path:	Browse
	Register Cancel

🗵 8-6 MongoDB 05

「Register」をクリックし、登録を開始します。

登録完了後、「Cancel」をクリックしメイン画面へ戻ります。

■「Install」を行う場合(「MongoDB」のインストール)

手順「8」で「Install」ボタンが表示されている場合、クリックし「MongoDB」のインストール先を指定します。

dview 7 Mong	joDB Tool
Please select the install path for Mon MongoDB Path:	goDB 3.2! Browse
	Install

🗵 8-7 MongoDB 06

「Install」をクリックしてインストールを開始します。登録が完了した後、「Cancel」をクリックしメイン画面へ戻ります。

9. 「MongoDB」のインストール、Windows Service への登録が完了すると、メイン画面の「Data Restore」が選択可能となります。 「Data Restore」をクリックし、バックアップ済みの「MongoDB 2.6」データベースを「MongoDB 3.2」のデータベースとしてリストアします。

dview 7 MongoDB Tool Setup	DB Tool
Check	Data Backup
MongoDB Settings	Data Restore

図 8-8 MongoDB 07

10.「Data Restore」をクリックし、バックアップフォルダを指定します。「Restore」をクリックしリストアを開始します。

11. リストア状況が表示されます。リストアが完了すると「done」と表示されます。「Cancel」をクリックし、メイン画面へ戻ります。 130

トラブルシューティング

	<u>b7`++`+</u>		
メッセーシ内容			
Failed: error connecting	1.「Windows service manager」から「MongoDB」サービスを起動する。		
to db server: no	2.「MongoDB」を起動できない場合、MongoDB「bin」のパスにある「Mongo.config」の内容を確認します。(例;		
reachable servers	D:\MongoDB\bin.)		
	「Mongo.config」の内容は下記のようである必要があります。 directoryperdb = true logappend = true storageEngine = wiredTiger wiredTigerDirectoryForIndexes = true wiredTigerCollectionBlockCompressor = zlib serviceName = MongoDB serviceDisplayName = MongoDB logpath = D:MongoDB\log.txt dbpath = D:MongoDB\log.txt dbpath = D:MongoDB\log.txt		
Failed: DView7.	1. MongoDB「bin」のパスにある「Mongo.config」の内容を確認します。(例;D:\MongoDB\bin.)		
Bas_Template: error	2. ファイル内の「auth」の文字列を探します。発見した場合「auth=true」のエントリとともに削除します。		
reading database: not	3. 発見できない場合、以下の動作を実行します。		
authorized on DView7	①管理考と て "cmd" を実行		
to execute command {	\bigcirc "sc stop MongoDB" $\mathcal{E} \setminus \mathcal{I}$ Enter $\mathcal{E} \neq \mathcal{I}$		
listCollections: 1, cursor:	③ "sc delete MongoDB" を入力 Enter を実行		
{ batchSize: 0 } }			
	「MongoDR Sottings」が方効を提合。カリッカー「Windows convice」 A 登録		
	◎ 「Wongood Settings」が有効な物ロ、フリックし「Windows Setvice」、豆螺		
	4. Windows service manager」で MongoDB」を再起動します。		
	5. 再度 バックアップ」「リストア」を実行します。		

「Data Backup」「Data Restore」を実行中に以下のエラーメッセージが表示される場合があります。

MongoDB チェック結果について

MongoDB のチェック結果について表示します。

MongoDB バージョン	MongoDB サービス状態	結果	機能の状態
2.6.5	"MongoDB" という名前で Windows サー ビスとして登録されている。 (Be registered as windows service named as "MongoDB")	「MongoDB 2.6」と「MongoDB 3.2」がインストールされており、 「MongoDB 2.6」が Windows サービスとして登録されています。 「Database Backup」機能を使って「D-View7」データベースのバッ クアップを行い、「MongoDB Settings」で「MongoDB 3.2」のイン ストール、アップグレード、登録を行います。	有効: 「Data Backup」 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Restore」
2.6.5	"MongoDB" という名前で Windows サー ビスとして登録されていない。 (Never be registered as windows service; No service named "MongoDB")	「MongoDB 2.6」がインストールされていますが、「MongoDB 2.6」 がWindows サービスとして登録されていません。「MongoDB Settings」で「MongoDB 3.2」へのアップグレード、Windows サー ビスへの登録を行います。そして「Database Restore」機能を使っ て「MongoDB 3.2」へバックアップデータのリストアを行います。	有効: 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Restore」 「Data Backup」
3.2.6	"MongoDB" という名前で Windows サー ビスとして登録されている。 (Be registered as windows service named as "MongoDB")	「MongoDB 3.2」がインストールされており Windows サービスとし て登録されています。「Database Restore」機能を使って「MongoDB 3.2」へバックアップデータのリストアを行います。	有効: 「Data Restore」 無効: 「Data Backup」 「MongoDB Settings」

付録A MongoDBバージョン2.6から3.2への移行

MongoDB バージョン	MongoDB サービス状態	結果	機能の状態
3.2.6	"MongoDB"という名前で Windows サー ビスとして登録されていない。 (Never be registered as windows service; No service named "MongoDB")	「MongoDB 3.2」がインストールされていますが、Windows サービ スとして登録されていません。「MongoDB Settings」でWindows サービスへの登録を行います。そして「Database Restore」機能を 使って「MongoDB 3.2」へバックアップデータのリストアを行いま す。	有効: 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Backup」 「Data Restore」
2.6.5/3.2.6	「3.2.6」が Windows サービスとして登録 されている。 (3.2.6 was registered as windows service named as "MongoDB")	「MongoDB 2.6」と「MongoDB 3.2」がインストールされており、 「MongoDB 3.2」が Windows サービスとして登録されています。 「Database Restore」機能を使って「MongoDB 3.2」へバックアッ プデータのリストアを行います。	有効: 「Data Restore」 無効: 「Data Backup」 「MongoDB Settings」
2.6.5/3.2.6	「2.6.5」が Windows サービスとして登録 されている。 (3.2.6 was registered as windows service named as "MongoDB")	「MongoDB 2.6」と「MongoDB 3.2」がインストールされており、 「MongoDB 2.6」が Windows サービスとして登録されています。 「Database Backup」機能を使って「D-View7」データベースのバッ クアップを行い、「MongoDB Settings」で「MongoDB 3.2」のイン ストール、アップグレード、または登録を行います。	有効: 「Data Backup」 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Restore」
2.6.5/3.2.6	「2.6.5」または「3.2.6」のどちらかが、 "MongoDB"という名前で Windows サー ビスとして登録されているが、どちらか 分析できない。 (One of them was registered as windows service named as "MongoDB", but the tool cannot analysis which one supply the service.)	「MongoDB 2.6」と「MongoDB 3.2」がインストールされており、 どちらかWindowsサービスとして登録されています。Windowsサー ビスとして登録されていない方をアンインストールしてください。	有効:「一」 無効: 「Data Restore」 「Data Backup」 「MongoDB Settings」
2.6.5/3.2.6	「2.6.5」または「3.2.6」のどちらも、 "MongoDB"という名前で Windows サー ビスとして登録されていない。 (Both them were not be registered as windows; No service named "MongoDB")	「MongoDB 2.6」と「MongoDB 3.2」がインストールされていますが、 どちらも Windows サービスとして登録されていません。「MongoDB Settings」で「MongoDB 3.2」の登録、そして「Database Restore」 機能を使って「MongoDB 3.2」へバックアップデータのリストアを 行います。	有効: 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Restore」 「Data Backup」
2.6.5/3.2.6	「MongoDB」という名のサービスがない。 (No "MongoDB" service)	「MongoDB」が PC に見つかりません。「MongoDB Settings」で 「MongoDB 3.2」のインストール、Windows サービスへの登録を行 います。そして「Database Restore」機能を使って「MongoDB 3.2」 へバックアップデータのリストアを行います。	有効: 「MongoDB Settings」 無効: 「Data Restore」 「Data Backup」
2.6.5/3.2.6	「MongoDB」という名の Windows サー ビスがある。 (There is a windows services named "MongoDB")	バージョンのわからない「MongoDB」が Windows サービスとし て登録されています。本ツールは D-View7 によってインストール された「MongoDB」のバージョンのみ使用可能です。	有効:「一」 無効: 「Data Restore」 「Data Backup」 「MongoDB Settings」

付録 B リモート Probe の追加

本項目ではリモート Probe の追加について記載致します。 使用する「D-View 7 Probe」ツールについては http://dview.dlink.com/download.php からダウンロード可能です。

D-View 7 Probe ツールのインストール

1. D-View 7 Probe インストーラ(dv-700_probe_v1.0.1.9.exe)を起動し、「Next」をクリックします。
D-View 7 Probe 1.0.1.9 Setup

D-Link	Welcome to the D-View 7 Probe 1.0.1.9 Setup Wizard This wizard will guide you through the installation of D-View 7 Probe 1.0.1.9. It is recommended that you close all other applications before starting Setup. This will make it possible to update relevant system files without having to reboot your computer. Click Next to continue.
	Next > Cancel

🖾 8-9 Welcome

2. ライセンス合意を行い「Next」をクリックします。

Please review the license terms before installing D-View 7 Probe 1.0.1.9.	
Press Page Down to see the rest of the agreement.	
D-Link D-View Platform	-
Software License Agreement	1
(MPORTANT READ CAREFULLY: This Software End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you(either an individual or a "or the software(s) identified above, which includes the user's guide, any associated software components, an materials other than the user's guide and any online or electronic documentation (collectively "SOFTWARE"). By therwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the nstall or use the SOFTWARE. If the SOFTWARE was mailed to you, return the media envelope along with the I ocation where you obtained it within thirty (30) days from purchase.	a single entity) and D-Link 1y media, any printed y installing, copying, or terms of this EULA, do not rest of the package to the
. The SOFTWARE is licensed, not sold.	
2. GRANT OF LICENSE. This SOFTWARE is owned by D-Link or its suppliers and is protected by copyright law a reaty. Therefore, you must treat this SOFTWARE like any other copyrighted materials (e.g., a book), except i one (1) copy of the SOFTWARE solely for backup or archival purposes or transfer the SOFTWARE to a single h	and international copyright that you may either make hard disk, provided you
If you accept the terms of the agreement, click the check box below. You must accept the agreement to install Next to continue.	1 D-View 7 Probe 1.0.1.9. Clio
I accept the terms of the License Agreement	
< Back Net	xt > Cancel

🖾 8-10 License Agreement

3. 「Browse」をクリックし、D-View 7 Probe アプリケーションをインストールするフォルダを指定します。左下に、インストールに必要なディス ク容量と現在の空き容量が表示されます。「Install」をクリックしてインストールを開始します。

Choose Install Location		
Choose the folder in which to install D-View 7 Probe 1.0.1.9.		
Setup will install D-View 7 Probe 1.0.1.9 in the following folder. To install i nother folder. Click Install to start the installation.	n a different folder, click Browse	and select
Destination Folder [C:¥Program Files (x86)¥D-Link¥D-View 7¥Probe		Browse
ipace required: 2.6MB		
Space available: 318.3GB		

4. インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。「Run D-View 7 Probe」にチェックを入れると、インストールツールの終了後にソフトウェアが起動します。インストールウィザードを終了するには「Finish」をクリックします。

D-View 7 Probe 1.0.1.9 Se	tup	
O.O. D-Link	Completing the D-View 7 Probe 1.0.1.9 Setup Wizard D-View 7 Probe 1.0.1.9 has been installed on your computer. Click Finish to close this wizard.	
	< Back Einish	Cancel

図 8-12 Completing

Probe のアクティベーション

Probe のインストール後、ライセンスの有効化と D-View7 サーバへの追加を行います。 Probe 設定ツールの初回起動時に、ライセンスとサーバの設定を行うウィザードが表示されます。

以下の画面で設定を行います。

tive Probe	
ou can activate this Probe throug nother Probe, this Probe will repl hrough D-View 7 system only.	gh Activation Code generated from D-View 7. If you use the same Activation Code of lace the old Probe, and the old Probe will be removed. And Probe can be deactivated
Core Server URL http(s))://
Association Code	(Example: https:// dview.dlink.com.tw)
	(Example: XXXX-XXXX-XXXX-XXXX)
et Probe IP	
IP Address	- Apply
obe Status	
Status Stop	3

🗵 8-13 Welcome

Active Probe セクション

「Core Server URL」:コアサーバの URL を入力します。FQDN(例:http://dview.dlink.com.tw)か、IP アドレス(例:http://192.168.0.1)を設定す ることができます。

「Activation Code」:アクティベーションコードを入力します。アクティベーションコードは、XXXX-XXXX-XXXX の形式であり、コアサーバの ライセンス画面で確認することができます。

注意 別の Probe と同じアクティベーションコードを使用した場合、新しい Probe が古い Probe に置き換わり、古い Probe は D-View7 から削除 されます。Probe の非アクティブ化は D-View7 コアサーバのインタフェース上のみで行うことが可能です。

Set Probe IP セクション

「IP Address」: Probe ソフトウェアに使用するローカル Probe の IP アドレスを選択します。

Set Probe Status セクション

ローカル Probe のステータスが表示されます。Probe ソフトウェアを起動するには「Start」、停止するには「Stop」をクリックします。

Probe の検出

D-View7 サーバの Discovery 画面を開き、Probe の検出ルールを設定します。 Probe の検出手順については、「Discovery(Probe 検出)」を参照してください。

付録 C D-View7 への HTTPS 接続

Microsoft Internet Information Services (IIS) の設定を行い、HTTPS 接続を行います。 インターネットまたはローカル LAN から D-View7 に対するセキュアな接続を行うことができます。

システム要件

以下の手順では IIS 7 を使用した設定を記載しています。サポートされる他の Windows Server システムでも同様の手順です。 サポートされる OS については「ハードウェア要件」を参照してください。

上記ソフトウェア要件に加え、サーバ証明書が必要となります。自己署名証明書または認証局により署名された証明書を使用することができます。 自己署名証明書を使用した場合でも、セットアップ手順に大きな違いはありません。

また、本手順では Microsoft URL Rewrite Module 2.0 for IIS 7(x64) パッケージを使用します。これは、Microsoft ダウンロードセンターからダウンロードすることが可能です。

HTTPS 接続設定手順

- Microsoft ダウンロードセンターから Microsoft URL Rewrite Module 2.0 for IIS 7(x64) パッケージをダウンロードし、インストールを行います。 インストール完了後、IIS Manager または CLI を使用して IIS を再起動します。IIS Manager 起動後、接続パネルでサーバ名を選択すると、メイン画面に「URL 書き換え」オプションが表示されます。
- 2. IIS Manager の接続パネルでサーバ名を選択した状態で、「サーバ証明書」を開きます。操作パネルで「自己署名入り証明書の作成」をクリックします。
- 3. 証明書要求のファイル名を入力し、「OK」をクリックします。ここで設定した名前が「サーバ証明書」インタフェースに表示されます。

自己署名入り証明書の作成	? ×
フレンドリ名を指定します	
証明書の要求のファイル名を指定してください。この情報私署名のために証明機関に送信される可能性が あります:	
証明書のフレンドリ名を指定してください(Y)	
DV7-CA83	
OK _*	ヤンセル

図 8-14 自己署名入り証明書の作成

4. 接続パネルで「Default Web Site」を右クリックし、「バインドの編集」を選択します。サイトバインド画面で「追加」ボタンをクリックし、種類に https を指定します。SSL 証明書には先ほど作成した証明書を選択し、「OK」をクリックします。「閉じる」をクリックしてサイトバインド画面を終了します。

ታ ብት /ፕብጋ	/ド				? ×
種類 http net.tcp net.pipe net.ms msmq.f	ホスト名	ポート 80	IP アドレス *	パインド 808:* * localho localho	追加(<u>A</u>) 編集(<u>E</u>) 削除(<u>B</u>) 参照(<u>B</u>)
•				Þ	閉じる(<u>C</u>)

図 8-15 Site Bindings

- 5. 接続パネルでサーバ名が選択された状態で、URL 書き換えツールを開きます。操作パネルで「規則の追加」をクリックし、受信規則で「空の規 則」を選択して「OK」をクリックします。
- 6. 「受信規則の編集」画面で、ルール名(例: HTTP to HTTPS redirect)を入力します。「URL の一致」セクションでは、「(.*)」といったパターン(括 弧は除く)を設定します。
- 7. 「条件」セクションでは、「追加」ボタンをクリックし、「条件の入力」欄に「{HTTPS}」を入力します。パターンには「^OFF\$」と入力し、「OK」 をクリックします。

条件の編集	? ×
条件の入力(<u>C</u>): [HTTPS]	
入力文字列が次の条件を満たしているかどうかをチェック: パターンに一致する	
パターン(<u>T</u>): ^OFF\$	テスト ハঙ≁ン(₽)
▶ 大文字と小文字を区別しない	
OK	キャンセル

🗵 8-16 Add Condition

- 「アクション」セクションでは、アクションの種類に「リダイレクト」を選択します。 リダイレクト URL に「https://{HTTP_HOST}/{R:1}」を入力し、リダイレクトの種類は「検出 (302)」を選択します。アクションパネルの「適用」 をクリックし、設定を保存します。設定を破棄する場合は「キャンセル」をクリックします。
- 9. D-View7への HTTPS 接続が可能となります。(接続 URL 例: https://<hostname or IP>/DView7/)

付録 D MongoDB の手動アンインストール

通常のアンインストール手順により MongoDB が削除されない場合や、クラスタ構成の D-View7 システムで MongoDB が D-View7 とは異なるサー バにインストールされている場合などに、手動による削除が必要になる場合があります。 D-View7 サーバ上での通常のアンインストール手順については、第2章の「ライセンスのアクティベーション」を参照してください。

システム要件

システム要件の詳細は、第2章の「インストール要件」を参照してください。

アンインストール手順

1. MongoDB がインストールされているサーバで、Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム > アクセサリ」を開き、コマンドプロンプトを右クリックして「管理者として実行」を選択します。



2. 「sc stop MongoDB」を入力し、Enter キーを押下します。



- 3. 「sc delete MongoDB」を入力し、Enter キーを押下します。

C:\Users\Administrator>sc delete MongoDB [SC] DeleteService SUCCESS

🗵 8-19 sc delete MongoDB

 Windows のスタートメニューからコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」を選択します。MongoDB のインストールパッケージを選 択して「アンインストール」をクリックします。確認メッセージに同意して、アンインストール処理を続行します。

Programs and Features			
😋 🕞 🗢 🖾 🔹 Control Panel 🔹 P	rograms 👻 Programs and Features	👻 🔯 Search Program	ns and Features 🛛 😰
Control Panel Home	Uninstall or change a program		
View installed updates	To uninstall a program, select it from the list and then	n click Uninstall, Change, or R	epair.
👽 Turn Windows features on or off	Organize 🕶 Uninstall Change Repair		= • 👔
	Name 🔶	Publisher	▼ Install ▼ Size ▼
	Microsoft .NET Framework 4 Client Profile	Microsoft Corporation	2016/2/25 38.8 MB
	Microsoft .NET Framework 4 Extended	Microsoft Corporation	2016/2/25 51.9 MB
	Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable	Microsoft Corporation	2016/2/25 11.0 MB
	MongoDB 3.2.3 2008R2Plus SSL (64 bit)	MongoDB	2016/5/26 430 MB
	WinDoop 4.1.2	CACE Tochoologiac	2016/2/29
	Are you sure you want to uninstall MongoDB 3.	2.3 2008R2Plus SSL (64 bit)?	2016/2/29
	☐ In the future, do not show me this dialog box	<u>Y</u> es <u>N</u> o	
	▲[
	MangaDB Product version: 3.2.3 Help link: http://www.ma	Support link: ht ongodb.org/ Size: 43	tp://www.mongodb.org/ 30 MB
図 8-20 プログラムと	機能		

5. ログとデータを削除する場合は、MongoDB のインストールフォルダで削除を行います。

MongoDB				_ 🗆 >			
🕤 🔾 🗸 🗸 Gompute	🕞 🗸 🕨 🔹 Computer 🔹 Local Disk (C:) 🔹 MongoDB 👻 🛛 👻 🚱 Search MongoDB						
Organize 🔻 🛛 Include in lib	rary 🔻 Share with 💌 New folder			:= - 📑 🔞			
🔆 Favorites	Name *	Date modified	Туре	Size			
🧮 Desktop) bin	2016/5/26 14:18	File folder				
Downloads	📙 data	2016/9/23 14:58	File folder				
🕍 Recent Places	GNU-AGPL-3.0	2016/2/17 20:37	0 File	35 KB			
🚝 Libraries	📄 log	2016/9/23 14:56	Text Document	187,203 KB			
Documents	MPL-2	2016/2/17 20:37	File	17 KB			
J Music	README	2016/2/17 20:37	File	2 KB			
E Pictures	THIRD-PARTY-NOTICES	2016/2/17 20:37	File	36 KB			
Videos							
💻 Computer							
🚢 Local Disk (C:)							

図 8-21 ログとデータの削除

付録 E D-View7 の移行と D-View7 ライセンスの解除

本項目では、D-View7を別のサーバへ移行する手順と、ライセンスを解除する手順について説明します。

注意

サーバ機器の故障状態によっては、「1.ライセンスの解放」「2.データベースのバックアップ」の実行が不可能になり、正しくライセンスの 移行作業が完了できない場合があります。データベースのバックアップが行われていなければ新しいサーバでのデータの復旧はできないた め、定期的にバックアップを取得しておくことを強く推奨します。

D-View7 の移行について

本項目では D-View7 を別のサーバへ移行する手順について説明します。

- 手順の概要は以下の通りです。
 - (1) ライセンスの解放
 - (2) データベースのバックアップ
 - (3) 移行先 PC の IP アドレス変更
 - (4) 移行先 PC への D-View7 のインストール
 - (5)移行先 PC へのデータベースのリストア
 - (6) D-View7 の再起動
 - (7)移行先 PC へのライセンス追加

(1) ライセンスの解放

1. D-View7の System > License 画面で「Unbind License」をクリックします。



🗵 8-22 Unbind License

2. 警告メッセージが表示されます。問題がなければ「OK」をクリックします。



🗵 8-23 Alert Message

3. ライセンスが解放されました。「OK」をクリックします。

	Notice	×
(i)	Unbind Success	
		ОК

図 8-24 License Unbind

4. メイン画面に戻ります。ライセンスの解放が確認できます。

dview 7								
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System				
∯ Home > System	m > License							
Edition Type						Node (Used / Te	otal)	
		Tri	al					0/25
								License List
Add License								
License NO.				Activation D	ate			Probe
								No Data Found

図 8-25 No License

(2) データベースのバックアップ

注意

- サーバの故障状態によりデータベースのバックアップ作業ができない場合、新しいサーバでのデータ復旧はできません。そのような事態に 備えて、定期的にバックアップを取得しておくことを強く推奨します。
- 1. 「Windows」で管理者として「cmd」(コマンドプロンプト)を起動させます。
- 「cd」コマンドを使用して、ディレクトリを「MongoDB」のインストールパスに変更します。(例:「cd D:\MongoDB\bin」) 2.
- 「MongoDB」のサービスが開始していることを確認してください。「mongo.exe」を入力、「Enter」をクリックしてデータベースに接続します。 3.

Q Services							
File Action View	Help						
(= = + 📰 🗊	a 🔒 🛛 🖬 🕨 🖬 🕪						
🔍 Services (Local)	Q Services (Local)						
	MongoD8	Name 🗠	Description	Status	Startup Type	Log On As	
		KtmRm for Distribut	Coordinate		Manual	Network S	
	Stop the service	Link-Layer Topolog	Creates a		Manual	Local Service	
	Restart the service	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
		Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
	Description	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
	MongoDB Server	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
		Microsoft Fibre Cha	Registers t		Manual	Local Service	
	1	Microsoft iSCSI Initi	Manages I		Manual	Local System	
	1	C. Microsoft Software	Manages s		Manual	Local System	_
	1	MongoD8	MongoD8 5	Started	Automatic	Local System	
	1	Multimedia Class Sc	Enables rel		Manual	Local System	- 1
	1	🔍 Net Msmq Listener	Receives a		Disabled	Network S	
	1	Q Net.Pipe Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	
	1	🔍 Net. Tcp Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	
		O Net Top Port Sharin	Provides a		Dicabled	Local Service	

⊠ 8-26 MongoDB.exe

ログイン成功後、「use admin」を実行し管理者データベースへ移行します。 4.

C:\bin>mongo.exe	
MongoDB shell version: 2.6.5	
connecting to: test	
> use admin	
switched to db admin	
>	

🗵 8-27 use admin

- 5. 「show users」を入力し、現在の全ユーザのデータベースを確認します。「MongoDB」が管理者モード(authentication mode)で実行されてい るかも確認します。
- 「コマンドプロンプト」にエラーが発生していない場合、手順「10」へ移動します。 6.
- 7. 「コマンドプロンプト」にエラーメッセージが表示されている場合、データベースアカウントとパスワードでログインする必要があります。(エ ラーメッセージは " 権限がない " といったものです。「Error: not authorized on admin to execute command…」)

show users 2016-05-20T11:49:19.656+0800 Error: not authorized on admin to execute command { usersInfo: 1.0 } at src/mongo/shell/db.js:1281

🗵 8-28 Not Authorized

「db.auth('admin', 'admin')」を入力し、管理者データベースへログインします。 8.

> db.auth<'admin','admin'>

🗵 8-29 Admin

- 9. コマンドプロンプトに「1」が表示されるとログインは成功です。失敗した場合は再度手順「8」からやり直してください。
- 10.「use DView7」を入力し「D-View7」のデータベースに移行します。

> use DView? switched to db DView?

🗵 8-30 D-View7 database

11. 次のコマンドを入力し実行します。

b.createUser({
user: "dview",
pwd: "dview",
roles:[{
role: "readWrite",
db: "DView7"
}]
})

12. 「Enter」を入力します。成功を示す「Successfully…」が表示されない場合、手順「10」から再度やり直します。





(例)

- 13.「exit」を入力し、現在の接続を切断します。
- 14. コマンド「mongodump.exe h host d dbName o dir –u user p pwd」を入力します。「Enter」を押しバックアップを実行します。

 mongodump.exe - h 127.0.0.1 -d DView7 - o "D:\MongoDB backup" -u dview -p dview

 パラメータについて

 「-h」: MongoDB のホスト IP アドレス (例: 127.0.0.1)

 「-d」: バックアップが必要なデータベースのインスタンス (例: DView7)

 「-o」: バックアップデータベースのパス。バックアップ前に作成されている必要があります。(例: C:\data\dump)

 「-u」: 現在のデータベースユーザ名

 「-p」: 現在のデータベースパスワード

15. バックアップの動作が完了すると、"DView7"ドキュメントフォルダが「C:\data\dump」に配置され、全ての D-View7 データベースバックアッ プファイルは「C:\data\dump\DView7」に保存されます。(mongoDB のインストールパスやバックアップ指定ディレクトリにより、保存先は 異なります。)



データベースのバックアップパスを「MongoDB」のインストールパスと同じディレクトリにしないでください。同じディレクトリにする と D-View7 のアンインストール時にバックアップファイルも削除されてしまいます。





図 8-33 Authentication Mode Backup

(3)移行先 PC の IP アドレス変更

古い「D-View7」にいくつかのリモート Probe が接続されている場合、該当の Probe の再インストールを防ぐために、移行先の PC の IP アドレスを 移行元の PC の IP アドレスに変更しておく必要があります。

(4) 移行先 PC への D-View7 のインストール

移行先の PC に D-View7 をインストールします。「第 2 章 製品のインストール」を参照ください。

(5)移行先 PC へのデータベースのリストア

移行先の PC にバックアップしたデータベースのリストアをします。

- 1. 「Windows」で管理者として「cmd」(コマンドプロンプト)を起動させます。
- 2. 「cd」コマンドを使用して、ディレクトリを「MongoDB」のインストールパスに変更します。(例:「cd D:\MongoDB\bin」)
- 3. 「MongoDB」のサービスが開始していることを確認してください。「mongo.exe」を入力、「Enter」をクリックしてデータベースに接続します。

Q Services							×
File Action View	Help						
(+ +) 💼 🖬 😨	o 😹 🛛 📷 🕨 🖩 🕂 🕨						
🔍 Services (Local)	Q Services (Local)						
	MongoD8	Name 🗠	Description	Status	Startup Type	Log On As	-
		KtmRm for Distribut	Coordinate		Manual	Network S	
	Stop the service	Link-Layer Topolog	Creates a		Manual	Local Service	
	Restart the service	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
		Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
	Description:	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
	MongoDB Server	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
		Microsoft Fibre Cha	Registers t		Manual	Local Service	
	1	Microsoft iSCSI Initi	Manages I		Manual	Local System	
	1	C. Microsoft Software	Manages c		Manual	Local System	
	1	MongoD8	MongoDB 5	Started	Automatic	Local System	
	1	Multimedia Class Sc	Enables rel		Manual	Local System	
	1	Net.Msmq Listener	Receives a		Disabled	Network S	
		Net.Pipe Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	
	1	Net.Tcp Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	
	1	O.Net. Tcn Port Sharin	Provides a		Disabled	Local Service	

🗵 8-34 MongoDB.exe

4. ログイン成功後、「use admin」を実行し管理者データベースへ移行します。



図 8-35 use admin

- 5. 「show users」を入力し、現在の全ユーザのデータベースを確認します。「MongoDB」が管理者モード(authentication mode)で実行されてい るかも確認します。
- 6. 「コマンドプロンプト」にエラーが発生していない場合、手順「10」へ移動します。
- 7. 「コマンドプロンプト」にエラーメッセージが表示されている場合、データベースアカウントとパスワードでログインする必要があります。(エ ラーメッセージは " 権限がない " といったものです。「Error: not authorized on admin to execute command…」)



🗵 8-36 Not Authorized

8. 「db.auth('admin', 'admin')」を入力し、管理者データベースへログインします。

> db.au 1 > _	th('admin','admin'		
図 8-37	Admin		

- 9. コマンドプロンプトに「1」が表示されるとログインは成功です。失敗した場合は再度手順「8」からやり直してください。
- 10.「use DView7」を入力し「D-View7」のデータベースに移行します。

> use D switched	Jiew? d to db DView?			
図 8-38	D-View7 database			

11. 次のコマンドを入力し実行します。

db.createUser({
user: "dview",
pwd: "dview",
roles:[{
role: "readWrite",
db: "DView7"
}]
3)

12. 「Enter」を入力します。成功を示す「Successfully…」が表示されない場合、手順「10」から再度やり直します。



🗵 8-39 Create

- 13.「exit」を入力し、現在の接続を切断します。
- 14. コマンド「mongorestore.exe -h 127.0.0.1 -d DView7 "D:\MongoDB backup\DView7" -u dview -p dview --drop」を入力します。「Enter」を押し リストアを実行します。

```
パラメータについて
「-h」: MongoDB のホスト IP アドレス
「-d」: リストアデータベースのインスタンス(例: C:\data\dump\DView7)
「-drop」: リストアの前に、現在のデータベースの削除が必要です。現在のデータベースはバックアップファイルとし
てカバーされています。
「-u」: 現在のデータベースユーザ名
「-p」: 現在のデータベースパスワード
```

15. ユーザは「"mongorestore.exe --help"」にてデータベースバックアップコマンドを確認できます。

```
2016-05-17T19:21:15.136+0800
                                     restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacket_Day fro
m D:\MongoDB backup\DUiew7\Snr_ErrorPacket_Day.bson
2016-05-17T19:21:15.145+0800 restoring indexes f
                                     restoring indexes for collection irectoreyperdb.
Snr_ErrorPacket_Day from metadata
2016-05-17119:21:15.511+0800
                                     finished restoring irectoreyperdb.Evt_EventHisto
ry (0 documents)
2016-05-17T19:21:15.514+0800
2016-05-17T19:21:15.514+0800 reading metadata for irectoreyperdb.Snr_ErrorPac
ket_HalfHour from D: MongoDB backup\DUiew7\Snr_ErrorPacket_HalfHour.metadata.jso
2016-05-17119:21:15.516+0800
                                     restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacket_HalfHou
r from D:\MongoDB backup\DView?\Snr_ErrorPacket_HalfHour.bson
2016-05-17T19:21:15.520+0800
                                    restoring indexes for collection irectoreyperdb.
Snr_ErrorPacket_HalfHour from metadata
2016-05-17T19:21:15.955+0800 finish
                                     finished restoring irectoreyperdb.Evt_EventInfo
<0 documents>
2016-05-17119:21:16.255+0800
                                     finished restoring irectoreyperdb.Snr_PortTraffi
c_HalfHour (Ø documents)
2016-05-17T19:21:16.709+0800
                                     finished restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacke
t_Day (0 documents)
2016-05-17T19:21:17.356+0800
                                     finished restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacke
t_HalfHour (0 documents)
2016-05-17119:21:17.357+0800
                                     done
C:\Program Files\MongoDB\Server\3.2\bin>
```

🗵 8-40 More Commands
(6) D-View7 の再起動

D-View7の再起動を行います。

Services	Mala					
e Woou Tiew	Deb					
• 🗣 🔃 🛄 🛄	3 🕒 🖬 💷 🕨 🖬 🗉 🕩					
Services (Local)	Q Services (Local)					
	D-View 7 CoreServer	Name	Description	Status	Startup Type	Log O
		Q DHCP Client	Registers a	Started	Automatic	Local
	Stop the service	Diagnostic Policy Service	The Diagno	Started	Automatic (D	Local
	Restart the service	Q Diagnostic Service Host	The Diagno		Manual	Local
		Diagnostic System Host	The Diagno		Manual	Local
	Description:	Q Disk Defragmenter	Provides Di		Manual	Local
	D-Link D-View 7 core service.	Oistributed Link Tracking Client	Maintains I	Started	Automatic	Local
		Distributed Transaction Coordina	Coordinate	Started	Automatic (D	Netw
	1	ONS Client	The DNS Cl	Started	Automatic	Netw
	1	D-View 7 CoreServer	D-Link D-Vi	Started	2 O.W	-
	1	O-View 7 License Agent Server	D-Link D-Vi	Started	A Start	- 1
	1	O-View 7 Probe File Server	Co-works	Started	A Scop	
	1	O-View 7 Probe Server	Co-works	Started	A Couse	
	1	Encrypting File System (EFS)	Provides th		Resume	
	1	C Extensible Authentication Protocol	The Extens		V_Restart	
	1	Eunction Discovery Provider Host	The FDPH	Started	v All Tasks	•
	1	C Function Discovery Resource Pu	Publishes t		V	
	1	Group Policy Client	The servic	Sated	Refresh	
	1	C Health Key and Certificate Mana	Provides X	210 100	Propertie	
	1	C Human Interface Device Access	Enables on			-
	1	115 Admin Service	Enables thi	bate C	Help	
	1	TVE and AuthID IDrac Vasing Mo	The IVEEY	Owted	Automatic	Local
	1	Totar active Services Detection	Foobler or	Marteu	Manual	Local
	1	Distance Connection Charles (NCS)	Dravider o		Dirabled	Local
	1	To Helese	Provides h	Quited	Automotic	Local
	1	sag ar neiper	Provides (U	scarted	AUCOMBCC	Local
		<u> </u>		_		<u> </u>

⊠ 8-41 D-View7 Restart

注意 D-View7 Core Server のサービスを再起動する前に、Mongo DB のサービスが先に起動していることを確認してください。詳細は「第2章 製品のインストール」の「D-View7 をインストールしたサーバの起動時または再起動時についての注意」を参照してください。

(7). 移行先 PC へのライセンス追加

D-View7移行先のPCでのライセンスの追加を行います。



🗵 8-42 Add License

ライセンスの追加については、「ライセンスのアクティベーション」を参照ください。

D-View ライセンスの解除について

本項目では D-View7 のライセンス解除について説明します。



ライセンスを一度解除してしまいますと、以後 D-View7 を使用することはできなくなります。D-View7 のリセット、再インストールをす るまで使用することはできません。

主に次の手順で「D-View ライセンスの解除」「システムのリセット」「リストア / 再起動」を行います。

(1) ライセンス解除(Deactivate License)
 (2) データベースのエクスポート(Export Database)
 (3) システムのリセット(Reset System)
 (4) データベースのリストア
 (5) D-View7の再起動
 (6) リセットした D-View7へのライセンス追加

(1) ライセンス解除(Deactivate License)

1. System > License 画面で「Deactivate License」をクリックします。次の画面が表示されます。

	License St	ummary	
License NO.	Registration Date	Probe Server	Node
	2016-08-09 13:57	0	50
Total		0	50
WARNING			
WARNING ie process CANNOT be re is system until you rese iu sure you want to dear	eversed. Once you deactivated, yo t or reinstall D-View 7. The license ctivate D-View 7?	u CANNOT use the D-Vie e(s) listed above will be re	ew 7 anymore. You cannot use leased at the same time. Are

図 8-43 Deactivate License

- 2. 警告を確認した後、「I understand the risk and confirm to deactivate」にチェックを入れ、「Confirm」をクリックします。D-View7 ライセンスの解除が開始されます。
- 3. ライセンス解除後、画面が表示されます。
 - 「Export Database」(データベースのエクスポート)「Reset System」(システムのリセット)「Logout」(ログアウト)の 3 つのオプションを選 択できます。

Product Deactivation
Successfully deactivated D-View 7.
Thank you for using D-View 7. You have deactivated D-View 7 successfully. You can export its database and use D- View 7 in a different server using the same license key. Alternatively, you can reset D-View 7 which will erase all previous data associated with D-View 7.
• Warning: Once you "Reset" the system, the database will be erased and the data CANNOT be recovered in the future.
Export Database
Reset System
Logout

図 8-44 Deactivated

(2) データベースのエクスポート(Export Database)

- 1. 「Windows」で管理者として「cmd」(コマンドプロンプト)を起動させます。
- 2. 「cd」コマンドを使用して、ディレクトリを「MongoDB」のインストールパスに変更します。(例:「cd D:\MongoDB\bin」)
- 3. 「MongoDB」のサービスが開始していることを確認してください。「mongo.exe」を入力、「Enter」をクリックしてデータベースに接続します。

Q Services						
File Action View	Help @ 🕞 🛛 📷 🕨 🖩 11 🕪	•				
🤹 Services (Local)	Q Services (Local)					
	MongoDB	Name 🗠	Description Status	Startup Type	Log On As	-
	- Iongood	KtmRm for Distribut	Coordinate	Manual	Network S	_
	Stop the service	Link-Layer Topolog	Creates a	Manual	Local Service	
	Restart the service	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Disabled	Local System	
		Microsoft .NET Fra	Microsoft	Disabled	Local System	
	Description:	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Automatic	Local System	
	MongoD8 Server	Microsoft .NET Fra	Microsoft	Automatic	Local System	
		Microsoft Fibre Cha	Registers t	Manual	Local Service	
		Microsoft iSCSI Initi	Manages I	Manual	Local System	
		C. Microsoft Software	Manages s	Manual	Local System	_
		MongoD6	MongoDB S Started	Automatic	Local System	
		Multimedia Class Sc	Enables rel	Manual	Local System	- 1
	1	🖓 Net. Msmq Listener	Receives a	Disabled	Network S	
	1	Q Net.Pipe Listener A	Receives a	Disabled	Local Service	
	1	Net.Tcp Listener A	Receives a	Disabled	Local Service	
1		C Net Ton Post Sharin	Drouides a	Dicabled	Local Service	

図 8-45 MongoDB.exe

4. ログイン成功後、「use admin」を実行し管理者データベースへ移行します。

C:\bin>mongo.exe MongoDB shell version:	2.6.5		
connecting to: test			
> use admin switched to db admin			

図 8-46 use admin

- 5. 「show users」を入力し、現在の全ユーザのデータベースを確認します。「MongoDB」が管理者モード(authentication mode)で実行されてい るかも確認します。
- 6. 「コマンドプロンプト」にエラーが発生していない場合、手順「10」へ移動します。
- 7. 「コマンドプロンプト」にエラーメッセージが表示されている場合、データベースアカウントとパスワードでログインする必要があります。(エ ラーメッセージは " 権限がない " といったものです。「Error: not authorized on admin to execute command…」)



8. 「db.auth('admin', 'admin')」を入力し、管理者データベースへログインします。

- 9. コマンドプロンプトに「1」が表示されるとログインは成功です。失敗した場合は再度手順「8」からやり直してください。
- 10. 「use DView7」を入力し「D-View7」のデータベースに移行します。



11. 次のコマンドを入力し実行します。

db.createUser({	
user: "dview",	
pwd: "dview",	
roles:[{	
role: "readWrite",	
db: "DView7"	
}]	
})	

12. 「Enter」を入力します。成功を示す「Successfully…」が表示されない場合、手順「10」から再度やり直します。

> db.createUser<{
user:"dview",
pwd:"dview",
roles:[{
role:"readWrite",
db:"DUiew7"
>1
>>
Successfully added user: {
"user" : "dview",
"roles" : [
ς
"role" : "readWrite",

🗵 8-50 Create

- 13.「exit」を入力し、現在の接続を切断します。
- **14.** コマンド「mongodump.exe h host d dbName o dir u user p pwd」を入力します。「Enter」を押しバックアップを実行します。 (例)

mongodump.exe -h 127.0.0.1 -d DView7 -o "D:\MongoDB backup" -u dview -p dview

パラメータについて 「-h」: MongoDB のホスト IP アドレス(例:127.0.0.1) 「-d」: バックアップが必要なデータベースのインスタンス(例:DView7) 「-o」: バックアップデータベースのパス。バックアップ前に作成されている必要があります。(例:C:\data\dump) 「-u」: 現在のデータベースユーザ名 「-p」: 現在のデータベースパスワード

- 15. バックアップの動作が完了すると、"DView7"ドキュメントフォルダが「C:\data\dump」に配置され、全ての D-View7 データベースバックアップファイルは「C:\data\dump\DView7」に保存されます。(mongoDBのインストールパスやバックアップ指定ディレクトリにより、保存先は異なります。)
- 注意

データベースのバックアップパスを「MongoDB」のインストールパスと同じディレクトリにしないでください。同じディレクトリにする と D-View7 のアンインストール時にバックアップファイルも削除されてしまいます。

16. ユーザは「"mongorestore.exe --help"」にてデータベースバックアップコマンドを確認できます。



⊠ 8-51 Non-Authentication Backup



図 8-52 Authentication Mode Backup

(3) システムのリセット(Reset System)

1. ライセンス解除(Deactivate License)後の画面にて「Reset System」をクリックします。次の画面が表示されます。「X」をクリックして、前の画面に戻ることも可能です。「OK」をクリックするとシステムはリセットされ初期値に戻ります。

	Alert	×
(!)	Are you sure you want to reset the system?	
		ОК
🗵 8-53 Res	et System	

2. リセットを実行しています。

6 ⁰ 0 €₀0	
Reset the system, please wait.	

図 8-54 Reset

3. システムのリセットが完了しました。「Go to Login」でログインした後、すべての値が初期値に戻っていることを確認できます。



🗵 8-55 Reset the system successfully

(4) データベースのリストア

エクスポート(バックアップ)したデータベースのリストアをします。

- 1. 「Windows」で管理者として「cmd」(コマンドプロンプト)を起動させます。
- 2. 「cd」コマンドを使用して、ディレクトリを「MongoDB」のインストールパスに変更します。(例:「cd D:\MongoDB\bin」)
- 3. 「MongoDB」のサービスが開始していることを確認してください。「mongo.exe」を入力、「Enter」をクリックしてデータベースに接続します。

Q Services							
File Action View	Help G 🕞 🔽 📷 🕨 🖩 11 11	•					
🤹 Services (Local)	Q Services (Local)						
	MongoDB	Name 🔶	Description	Status	Startup Type	Log On As	
		KtmRm for Distribut	Coordinate		Manual	Network S	
	Stop the service	Link-Layer Topolog	Creates a		Manual	Local Service	
	Restart the service	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
		Microsoft .NET Fra	Microsoft		Disabled	Local System	
	Description	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
	MongoD8 Server	Microsoft .NET Fra	Microsoft		Automatic	Local System	
		Microsoft Fibre Cha	Registers t		Manual	Local Service	
		Microsoft iSCSI Initi	Manages I		Manual	Local System	
		C. Microsoft Software	Managers c		Manual	Local System	_ 11
		MongoDB	MongoDB 5	Started	Automatic	Local System	
		See Multimedia Class Sc	Enables rel		Manual	Local System	- 11
		🦓 Net. Msmq Listener	Receives a		Disabled	Network S	- 11
		🖳 Net. Pipe Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	_
		Net. Tcp Listener A	Receives a		Disabled	Local Service	
	1	Alat Ten Doct Charin	Demidae a		Dissblad	Loral Candra	

⊠ 8-56 MongoDB.exe

4. ログイン成功後、「use admin」を実行し管理者データベースへ移行します。

C:∖bin>mongo.exe		
MongoDB shell version: 2.6.5		
connecting to: test		
> use admin		
switched to db admin		
>		

🗵 8-57 use admin

- 5. 「show users」を入力し、現在の全ユーザのデータベースを確認します。「MongoDB」が管理者モード(authentication mode)で実行されてい るかも確認します。
- 6. 「コマンドプロンプト」にエラーが発生していない場合、手順「10」へ移動します。
- 7. 「コマンドプロンプト」にエラーメッセージが表示されている場合、データベースアカウントとパスワードでログインする必要があります。(エ ラーメッセージは " 権限がない " といったものです。「Error: not authorized on admin to execute command…」)

> show u	users
2016-05-	-20T11:49:19.656+0800 Error: not authorized on admin to execute command <
usersIn	nfo: 1.0 > at src/mongo/shell/db.js:1281
図 8-58	Not Authorized

8. 「db.auth('admin', 'admin')」を入力し、管理者データベースへログインします。

> db.au 1 > _	uth('admin','admin')		
図 8-59	Admin		

- 9. コマンドプロンプトに「1」が表示されるとログインは成功です。失敗した場合は再度手順「8」からやり直してください。
- 10. 「use DView7」を入力し「D-View7」のデータベースに移行します。

> use DU	Jiew?
switched	d to db DView?
図 8-60	D-View7 database

11. 次のコマンドを入力し実行します。

db.createUser({
user: "dview",
pwd: "dview",
roles:[{
role: "readWrite",
db: "DView7"
}]
3)

```
12. 「Enter」を入力します。成功を示す「Successfully…」が表示されない場合、手順「10」から再度やり直します。
```



図 8-61 Create

- 13.「exit」を入力し、現在の接続を切断します。
- 14. コマンド「mongorestore.exe -h 127.0.0.1 -d DView7 "D:\MongoDB backup\DView7" -u dview -p dview --drop」を入力します。「Enter」を押し リストアを実行します。

パラメータについて 「-h」: MongoDB のホスト IP アドレス 「-d」:リストアデータベースのインスタンス(例:C:\data\dump\DView7) 「-drop」:リストアの前に、現在のデータベースの削除が必要です。現在のデータベースはバックアップファイルとし てカバーされています。 「-u」:現在のデータベースユーザ名 「-p」:現在のデータベースパスワード

15. ユーザは「"mongorestore.exe --help"」にてデータベースバックアップコマンドを確認できます。

2016-05-17T19:21:15.136+0800	restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacket_Day fro
m D∶\MongoDB backup\DView7\Sn	r_ErrorPacket_Day.bson
2016-05-17T19:21:15.145+0800	restoring indexes for collection irectoreyperdb.
Snr_ErrorPacket_Day from meta	data
2016-05-17T19:21:15.511+0800	finished restoring irectoreyperdb.Evt_EventHisto
ry (Ø documents)	
2016-05-17T19:21:15.514+0800	reading metadata for irectoreyperdb.Snr_ErrorPac
ket_HalfHour from D:\MongoDB	backup\DView?\Snr_ErrorPacket_HalfHour.metadata.jso
n	
2016-05-17T19:21:15.516+0800	restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacket_HalfHou
r from D:\MongoDB backup\DVie	w7\Snr_ErrorPacket_HalfHour.bson
2016-05-17T19:21:15.520+0800	restoring indexes for collection irectoreyperdb.
Snr_ErrorPacket_HalfHour from	metadata
2016-05-17T19:21:15.955+0800	finished restoring irectoreyperdb.Evt_EventInfo
<0 documents>	
2016-05-17T19:21:16.255+0800	finished restoring irectoreyperdb.Snr_PortTraffi
c_HalfHour <0 documents>	
2016-05-17T19:21:16.709+0800	finished restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacke
t_Day (0 documents)	
2016-05-17T19:21:17.356+0800	finished restoring irectoreyperdb.Snr_ErrorPacke
t_HalfHour <0 documents>	
2016-05-17T19:21:17.357+0800	done
C:\Program Files\MongoDB\Serv	er\3.2\bin>

図 8-62 More Commands

(5) D-View7 の再起動

D-View7 の再起動を行います。

e Action Yiew	Help					
🔿 🗖 🔂	Q 🕞 🔽 📰 🕨 🖩 II 🕨					
Services (Local)	🔕 Services (Local)					
	D-View 7 CoreServer	Name 🔶	Description	Status	Startup Type	Log O
		Client	Registers a	Started	Automatic	Local
	Stop the service	Diagnostic Policy Service	The Diagno	Started	Automatic (D	Local
	Restart the service	Diagnostic Service Host	The Diagno		Manual	Local
		Diagnostic System Host	The Diagno		Manual	Local
	Description	Q Disk Defragmenter	Provides Di		Manual	Loca
	D-Link D-View 7 core service.	Q Distributed Link Tracking Client	Maintains I	Started	Automatic	Local
		Distributed Transaction Coordina	Coordinate	Started	Automatic (D	Netw
	1	ONS Client	The DNS Cl	Started	Automatic	Netw
	1	D-View 7 CoreServer	D-Link D-Vi	Started	2 Orașt	
	1	D-View 7 License Agent Server	D-Link D-Vi	Rarted	A Store	- 1
	1	O-View 7 Probe File Server	Co-works	Started	A Stop	
	1	D-View 7 Probe Server	Co-works	Started	A Decemb	
	1	Encrypting File System (EFS)	Provides th		V Destart	
	1	Extensible Authentication Protocol	The Extens		V_Rescarc	
	1	Function Discovery Provider Host	The FDPH	Started	v All Tasks	
	1	Function Discovery Resource Pu	Publishes t		V Defect	
	1	Group Policy Client	The servic	Started	A Kerresh	
	1	Health Key and Certificate Mana	Provides X		 Propertie 	5
	1	Human Interface Device Access	Enables ge		Y	
	1	IIS Admin Service	Enables thi	Started	A Help	
	1	KE and AuthIP IPsec Keying Mo	The IKEEX	Started	Automatic	Local
	1	A Interactive Services Detection	Enables us		Manual	Local
	1	Internet Connection Sharing (ICS)	Provides n		Disabled	Local
	1	Q IP Helper	Provides tu	Started	Automatic	Local
	1	1				
	Sandud (Sundard)			_		-

🗵 8-63 D-View7 Restart

注意 D-View7 Core Server のサービスを起動する前に、Mongo DB のサービスが先に起動していることを確認してください。詳細は「第2章 製品のインストール」の「D-View7 をインストールしたサーバの起動時または再起動時についての注意」を参照してください。

(6) リセットした D-View7 へのライセンス追加

リセット、データベースもリストアを実行した D-View7 へのライセンスの追加を行います。



ライセンスの追加については、「ライセンスのアクティベーション」を参照してください。

付録 F RESTAPI 設定ガイド

D-View7 との間で情報を取得および送信する、カスタム API ついて説明します。

■ リターンステータスコード

ステータスコード	説明
-1	無効なリクエストです。
0	実行が成功しました。
1	不明なエラーです。
101	API キーが無効です。
103	無効な操作方法です。
105	データ形式が例外です。
106	API キーがアクティベートされていません。
107	タスクは存在しない、もしくは消去されています。
108	タスクのタイプがサポートされていません。

■ アクションコマンドリスト

ステータスコード	説明
getProbeInfoList	アクティブ化された Probe のリストを取得します。
getProbeInfo	選択した Probe の情報を取得します。
getProbeDiscoverParaList	選択した Probe の検出ルールを取得します。
setProbeInfo	Probe の情報をアップデートします。
delDiscoverParaList	選択した Probe の検出ルールを削除します。
addDiscoverPara	Probeの検出ルールを追加します。
getDeviceList	デバイスの基本情報を取得します。
createTask	サポートされているタスクをデバイスに作成します。
getTaskResultInfo	タスク情報と実行結果を取得します。
uploadFile	D-View7 にファイルをアップロードします。
createSnmpTask	特定の OID 値を取得する SNMP タスクを作成します。
getSnmpTaskResultInfo	createSnmpTask API で通常使用される、実行済み SNMP タスクの結果を取得します。

uploadFile API - デバイスのコンフィグレーションファイル / ファームウェアファイルを D-View にアップする

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPORAKQ&action=uploadFile

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
file	必須	file	アップロードするファイル。

■ データリターンの例

{ "fileId": "5b1f6b6edf11a91fbcad7f44", "fileName": "uploadFile.cfg", "message": "SUCCESS", "status_code": 0 }

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
fileld	string	正常にアップロードされたファイルの ID。 この ID は、"createTask" API が "Firmware Upgrade" タスクまたは "Configuration Restore" タスクを作成するために使用されます。
fileName	string	正常にアップロードされたファイルのファイル名。 このファイル名は、"createTask" API が "Firmware Upgrade" タスクまたは "Configuration Restore" タスクを作成するために使用されます。

■ ファイルアップロードの例(C#)

```
using System.Collections.Generic;
using System.Linq;
using System.Text;
using System.Net;
using System.IO;
```

namespace ConsoleApplication1

```
class UpLoadFile
{
    public string Name { set; get; }
    public string FileName { set; get; }
    public string Content_Type { set; get; }
    public byte[] Data { set; get; }
}
```

class Program

{

```
{
  /// <summary>
  /// Converting files into byte[] arrays
  /// </summary>
  /// <param name=" fileName" ></param>
  /// <returns></returns>
  private static byte[] FileContent(string fileName)
  {
    FileStream fs = new FileStream(fileName, FileMode.Open, FileAccess.Read);
    try
    {
      byte[] buffur = new byte[fs.Length];
      fs.Read(buffur, 0, (int)fs.Length);
      return buffur;
    }
    catch (Exception ex)
    {
      return null;
    }
    finally
    {
      if (fs != null)
      {
        fs.Close();
      }
    }
  }
  /// <summary>
  /// Initiating a HTTP POST request, to upload the file
  /// </summary>
  /// <param name=" url" >Request URL</param>
  /// <param name=" file" >File</param>
```

```
/// <param name=" endoding" >Code Method</param>
/// <returns></returns>
public static string PostResponse(string url, UpLoadFile file, Encoding endoding)
  string boundary = "------" + DateTime.Now.Ticks.ToString( "x" );
  HttpWebRequest request = (HttpWebRequest)WebRequest.Create(url);
  request.ContentType = "multipart/form-data; boundary=" + boundary;
  request.Method = "POST";
  request.KeepAlive = true;
  request.Expect = "";
  MemoryStream stream = new MemoryStream();
  byte[] line = Encoding.ASCII.GetBytes( "--" + boundary + "\r\n" );
  byte[] enterER = Encoding.ASCII.GetBytes( "\n'' );
  ////submit file
  if (file != null)
  {
      string fformat = "Content-Disposition:form-data; name=\" \{0\}\"; filename=\" \{1\}\" \r\nContent-Type:{2}\r\n\r\n";
    stream.Write(line, 0, line.Length); //item separator
    string s = string.Format(fformat, file.Name, file.FileName, file.Content_Type);
    byte[] data = Encoding.UTF8.GetBytes(s);
    stream.Write(data, 0, data.Length);
    stream.Write(file.Data, 0, file.Data.Length);
    stream.Write(enterER, 0, enterER.Length); //add \r\n
  }
    byte ]] foot_data = Encoding.UTF8.GetBytes( "--" + boundary + "--\r\n"); // The final delimiter string of the item needs to be taken with--
    stream.Write(foot_data, 0, foot_data.Length);
    request.ContentLength = stream.Length;
    Stream requestStream = request.GetRequestStream(); //Write request data
    stream.Position = 0L;
    stream.CopyTo(requestStream); //
    stream.Close();
    requestStream.Close();
    try
    {
      HttpWebResponse response;
      try
      {
        response = (HttpWebResponse)request.GetResponse();
        try
        {
          using (var responseStream = response.GetResponseStream())
          using (var mstream = new MemoryStream())
        {
          responseStream.CopyTo(mstream);
          string message = endoding.GetString(mstream.ToArray());
          return message;
        }
      }
      catch (Exception ex)
      {
        throw ex;
      }
    catch (WebException ex)
    {
      throw ex;
    }
  }
  catch (Exception ex)
```

{

{

```
throw ex;
}
}
```

{

}

static void Main(string[] args)

```
UpLoadFile file = new UpLoadFile();
file.Name = "C:\\Users\\Administrator\\Desktop\\DView7\\uploadFile.cfg";
file.FileName = "uploadFile.cfg";
file.Content_Type = "application/octet-stream";
file.Data = FileContent(file.Name);
```

 $string \ msg = PostResponse(\ "http://localhost:8080/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2 \ jII30A3kMFI4oAyeGxnPORAKQ&action=uploadFile", file, Encoding.UTF8);$

```
}
}
ファイルアップロードの例(HTML)
<html>
 <head>
   <style>
     form{width: 450px;}
     div{padding:10px 10px;text-align: center;}
     form div select, input, textarea { width: 250 px; }
     form div span{width: 100px;float: left;text-align: left;padding: 0 20px;}
     .btn{float: right;width: 120px;}
   </style>
  </head>
<body>
 <form action=" http://175.18.172.22/DView7/api/json/Api.aspx?apiKey= UpHkF7abCDEFG HGfzUqHvqAbXJOXXX&action=uploadFile" method="
post" enctype=" multipart/form-data" >
  <div>
    <span>File Type</span>
    <select name=" fileType" >
       <option value=" CFG" selected =" selected" >CFG</option>
       <option value=" FW" >FW</option>
    </select>
  </div>
  <div>
    <span>File Note</span>
    <textarea name=" fileNote" maxlength=" 255" rows=" 3" cols=" 20" ></textarea>
  </div>
  <div>
    <span>Select File</span>
    <input type=" file" name=" file" />
  </div>
  <div>
    <input type=" submit" value=" Upload File" class=" btn" />
 </div>
 </form>
</body>
</html>
<!--
The action format is {DV7_WEB_URL}/api/json/Api.aspx?apiKey= UpHkF7abCDEFGHGfzUgH
vqAbXJOXXX&action=uploadFile;
```

You need to modify the {DV7_WEB_URL} and apiKey based on your real test environment; -->

getProbeInfoList API- すべてのアクティブな Probe の情報リストを取得する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api. aspx?apiKey=NPXT7x2jII30A3kMFI4oAyeGxnPORAKQ&action=getProbeInfoList

■ リクエスト方法

• Get

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。

■ データリターンの例

```
{
"data" :[
 {
  "Active" : true,
  "AutoDiscover" : true,
  "Description" : "",
  "IP" : "localhost",
  "Interval" : 1800,
  "Location" : "" ,
  "MAC": "00:0C:29:61:0F:0F",
  "Name" : "Local Probe",
  "Online" : false,
  "PBID": "599d6187bccccc25fc185780",
  "PBSN": "local",
  "Version" : "1.0.6.1"
 },
 {
  "Active": true,
  "AutoDiscover": true,
  "Description": "",
  "IP": "172.18.190.254",
  "Interval": 1800,
  "Location": "",
  "MAC": "FC:45:96:32:5A:FC",
  "Name": "London",
  "Online": false,
  "PBID": "58f02daaa7c4a1212c43e6af",
  "PBSN": "BJAZ-ZKEZ-PJMZ-ZCYP",
  "Version": "1.0.5.3"
 },
 ],
 "message": "SUCCESS",
 "status_code": 0
}
```

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み	説明
		可 / 不可	
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。
Name	string	可	Probe 名。
Description	string	可	Probe の説明。
Location	string	可	Probe のロケーション。
Interval	int	可	Probe 検出の間隔:300、900、1800、3600(単位:秒)
AutoDiscover	bool	可	True:自動検出が有効、False: 自動検出が無効
Active	bool	不可	True:有効、False: 無効
IP	string	不可	Probe サーバIP のアドレス。
MAC	string	不可	Probe サーバの MAC アドレス
Online	bool	不可	Probe の接続ステータス。
			true:オンライン、false:オフライン
PBID	string	不可	Probe 固有の ID。
PBSN	string	不可	Probe のシリアルナンバー。
Version	string	不可	Probe のバージョン。

getProbeInfo API - Probe の基本的な情報を取得する

■ リクエスト URL

- {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4 oAyeGxnPORAKQ&action=getProbeInfo&probeSN=local
- リクエスト方法

• Get

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
probeSN	必須	string	Probe のシリアルナンバー。

■ データリターンの例

```
{
```

```
"data" :[
{
  "Active" : true,
  "AutoDiscover" : true,
  "Description" : "" ,
  "IP" : "localhost" ,
  "Interval" : 1800,
  "Location" : "",
  "MAC": "00:0C:29:61:0F:0F",
  "Name" : "Local Probe",
  "Online" : false,
  "PBID" : "599d6187b7c4a125fc185780" ,
  "PBSN": "local",
  "Version" : "1.0.6.1"
 }
],
"message" : "SUCCESS",
"status_code" :0
```

}

リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み 可 / 不可	説明
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。
Name	string	可	Probe 名。
Description	string	可	Probe の説明。
Location	string	可	Probe のロケーション。
Interval	int	可	Probe 検出の間隔:300、900、1800、3600(単位:秒)
AutoDiscover	bool	可	True:自動検出が有効、False: 自動検出が無効
Active	bool	不可	True:有効、False:無効
IP	string	不可	Probe サーバ IP のアドレス。
МАС	string	不可	Probe サーバの MAC アドレス
Online	bool	不可	Probe の接続ステータス。
			true:オンライン、false:オフライン
PBID	string	不可	Probe 固有の ID。
PBSN	string	不可	Probe のシリアルナンバー。
Version	string	不可	Probeのバージョン。

setProbeInfo API - Probe の情報をアップデートする

■ リクエスト URL

 {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jII30A3kMFl4oAye GxnPORAKQ&action=setProbeInfo&autoDiscover=true&interval=180 0&location=&name=local&pbid=599d6187b7c4a125fc185780

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	書き込み 可 / 不可	説明
аріКеу	必須	string	不可	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	不可	操作方法。
autoDiscover	必須	bool	可	True:自動検出が有効、False:自動検出が無効
name	必須	string	可	Probe 名。 (Probe 名は変更できません。最大 32 文字です。)
location	必須	string	可	Probe の場所。 (空欄にはできません。最大 32 文字で設定します。)
interval	必須	int	可	自動検出の間隔:300、900、1800、3600(単位:秒)
pbid	必須	string	不可	ProbeのID。

■ データリターンの例

{ "data": "", "message": "SUCCESS", "status_code": 0

}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み 可 / 不可	説明
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。

getProbeDiscoverParaList API -Probe の検出ルールリストを取得する

■ リクエスト URL

 {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAye GxnPORAKQ&action=getProbeDiscoverParaList&probeSN=local

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
probeSN	必須	string	Probe のシリアルナンバー。

■ データリターンの例

```
{
//Local Probe
 "data" :[
 {
  "IPCoverageType" : 0,
  "IPPara": "172.18.190.1-172.18.190.200",
  "IPVersion": 0,
  "Name" : "mptest",
  "PBSN" : "local",
  "SNMPConfig" : [
  "public \omega private",
  "
 ],
 "SNMPVersion": 1,
 "id": "23c557f6-3137-4caf-8f4c-dc70c1b32e70"
 }
],
"message" : "SUCCESS",
"status_code" :0
}
{
//Remote Probe
"data" :[
 {
 "IPCoverageType" : 1,
 "IPPara": "192.168.4.0/24",
 "IPVersion": 0,
 "Name" : "" ,
 "PBSN": "TTZEZ-EETZ-CCKZ-DDKX",
 "SNMPConfig" : [
 "public \omega private",
 ....
 ],
 "SNMPVersion": 3,
 "id" : "ae72a891-ebeb-4a6d-8678-9272fceb03b0"
 },
 {
 "IPCoverageType" : 1,
 "IPPara" : "192.168.0.1-192.168.1.254" ,
 "IPVersion" : 0,
 "Name" : "AliaTest" ,
 "PBSN": "TTZEZ-EETZ-CCKZ-DDKX",
 "SNMPConfig" : [
  "RO \omega RW"
 ],
```

"SNMPVersion": 0,

"id" : "5b4c693457c444434582b7287" }], "message" : "SUCCESS",

```
"status_code" :0
}
```

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み	説明
		可/不可	
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。
PBSN	string	不可	検出ルールが属する Probe のシリアルナンバー。
id	string	不可	検出ルールのID。
Name	string	可	検出ルールの名前。
SNMPVersion	int	可	検出ルールの SNMP バージョン。
SNMPConfig	array	可	検出ルールの SNMP コミュニティ。 分離には「ω」記号を使用します。
IPCoverageType	int	可	検出ルールの IP カバレッジタイプ。
IPVersion	int	可	検出ルールの IP バージョン。
IPPara	string	可	検出ルールの IP 範囲。

■ IPCoverageType の値のリスト

值	説明
0	IP 範囲
1	IPサブネット
2	予約済み
3	IP アドレス設定のために CSV ファイルをインポート

注意 「2」「3」は現在サポートされていません。

■ IPVersion の値のリスト

值	説明
0	IPv4
1	IPv6

注意 IPv6 は現在サポートされていません。

■ SNMP Version の値のリスト

値	説明
0	SNMPv1
1	SNMPv2
2	SNMPv3
3	SNMPv1v2
4	SNMPv2v3
5	SNMPv1v2v3



注意 「2」「4」「5」は現在サポートされていません。

addDiscoverParaList API - Probe の検出ルールを追加する

■ リクエスト URL

 {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4 oAyeGxnPORAKQ&action=addDiscoverPara&probeSn=local&ipCo verageType=0&ipPara=172.18.190.1-172.18.190.200&ipVersion=0-&name=discoverPara&roCommunity=public&rwCommunity=private&snmpVersion=1

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
probeSN	必須	string	Probe のシリアルナンバー。
ipCoverageType	必須	int	検出ルールの IP カバレッジタイプ。
			0:IP 範囲、1:IP サブネット
ipPara	必須	string	IP 情報、IP 範囲。
			IP 情報の例:192.168.0.1-192.168.0.100
			IP 範囲の例:192.168.0.10/24
ipVersion	必須	int	IP アドレスのバージョン。
			0:IPv4 (現在は IPv4 のみサポート)
name	必須	string	検出ルールの名前。
roCommunity	必須	string	検出ルールの SNMP read-only コミュニティ。
rwCommunity	必須	string	検出ルールの SNMP read/write コミュニティ。
snmpVersion	必須	int	SNMP バージョン。(SNMPv3 は現在サポートしていません。)

■ データリターンの例

{ "data" : "" , "message" : "SUCCESS" , "status_code" : 0

}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み 可 / 不可	説明
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。

■ IPCoverageType の値のリスト

值	説明
0	IP 範囲の設定
1	IP サブネットマスクの設定

■ IPVersion の値のリスト

值	説明
0	IPv4

■ SNMP Version の値のリスト

值	説明
0	SNMPv1
1	SNMPv2
2	SNMPv1v2



SNMPv3 は現在サポートされていません。

delDiscoverParaList API - Probe の検出ルールを削除する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPORAKQ&a ction=delDiscoverParaList&probeld=599d6187b7c4a125fc185780&probeSn=local&id s=23c557f6-3137-4caf-8f4c-dc70c1b32e70,23c557f6-3137-4caf-8f4c-dc70c1b32e70

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
probeSN	必須	string	Probe のシリアルナンバー。
probeld	必須	string	Probe の ID。
ids	必須	string	削除する検出ルールの ID。 複数の検出ルールを削除するには、カンマ "," を使用して区切りま す。 セットが空の場合、この Probe の下のすべての検出ルールが 削除されます。

■ データリターンの例

{
 "data": "",
 "message": "SUCCESS",
 "status_code": 0
}

}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	書き込み 可 / 不可	説明
status_code	int	不可	ステータスコード。
message	string	不可	メッセージ。

getDeviceList API - D-View7 が確認および管理しているデバイスのリストを取得する

■ リクエスト URL

- Get all managed devices list: {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jII30A 3kMFl4oAyeGxnPORAKQ&action=getDeviceList
 Get managed devices list by probe:
- {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4 oAyeGxnPORAKQ&action=getDeviceList&probeSn=local
- Get managed devices list by IP range and probe: {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPORAKQ &action=getDeviceList&probeSn=local&startIp=192.168.0.1&endIp=192.168.0.100

■ リクエスト方法

• Get

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
ProbeSn	任意	string	Probe でデバイスをフィルタする。
			null に設定できます。startlp および endlp と組み合わせて使用できます。
			単独で使用することもできます。
startlp	任意	string	IP 範囲でデバイスをフィルタする。
			null に設定できます。endlp と同時に使用する必要があります。
endlp	任意	string	IP 範囲でデバイスをフィルタする。
			null に設定できます。startlp と同時に使用する必要があります。

```
■ データリターンの例
{
"data" :[
{
 "contact" : "" ,
 "description" : "DWS-3160-24PC Gigabit Ethernet Switch",
 "devld" : "59eebbccb7c4a15ae014592b" ,
 "deviceType": "Wireless Switch",
 "discoverTime" : "/Date(1508813484921+0800)/",
 "fwVersion" : "1.00.038" ,
"hwVersion" : "A1" ,
 "ip": "172.18.190.209",
 "location" : "" ,
 "mac": "14:D6:4D:60:E6:60",
 "modelName" : "DWS-3160-24PC",
 "oid": "1.3.6.1.4.1.171.10.117.1.1",
 "serialNumber" : "R3B33C2000005" ,
 "snmpPrivilege" : "RO" ,
 "status" : 0,
 "supportTaskKind" :[
 "LLDPOn",
 "LLDPOff",
 "SyslogOff",
 "SyslogOn",
 "TelnetOff",
 "TelnetOn",
 "TelnetOff",
 "TelnetOn",
 "TrapOff",
 "TrapOn",
 "WebOff",
 "WebOn",
 "SpanningOff",
 "SpanningOn",
 "SafeguardOff",
 "SafeguardOn",
 "ConfigBackup",
 "ConfigRestore",
 "FirmwareUpgrade",
 " Reboot"
],
 "sysName" : "DGS-3120-24TC" ,
 "vendor" : "D-Link"
}
],
"message" : "SUCCESS",
"status_code" :0
}
```

164

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
data	array	フィルタしたデバイスのリスト。
snmpPrivilege	string	デバイスの D-View 7 SNMP 権限。
		RW:Read-Write(読み取り / 書き込み)権限、RO:Read-Only(読み取りのみ)権限
status	int	デバイスのオンライン / オフラインのステータス。
		0:オンライン
		1:オフライン
		2:不明(接続している Probe が D-View7 コアサーバから切断されました。)
supportTaskKind	array	デバイスのサポートしているタスクのタイプ。
		"LLDPOff", "SyslogOff", "SyslogOn", "TelnetOff", "TelnetOn", "TelnetOff", "TelnetOn", "TrapOff",
		"TrapOn", "WebOff", "WebOn", "SpanningOff", "SpanningOn", "SafeguardOff", "SafeguardOn",
		"ConfigBackup", "ConfigRestore", "FirmwareUpgrade", "Reboot"

getTaskResultInfo API - 作成したタスクの実行結果を取得する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPO RAKQ&action=getTaskResultInfo&taskId=5ab0c8a4b7c4a11db4594a1b

■ リクエスト方法

• Get

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
taskld	必須	string	作成されたタスクの ID。createTask API の実行から取得できます。

■ データリターンの例

```
{
    "data" : "5b4d8a7ab7c4a128d4ab9160" ,
    "message" : "SUCCESS" ,
    "status_code" : 0
}

{
    "data" : {
        "createTime" : "2018-06-10 22:47:49" ,
        "endTime" : "2018-06-10 22:47:49" ,
        "startTime" : "2018-06-10 22:47:49" ,
        "taskId" : "5b1d3a15df11a92374e56184" ,
        "taskKind" : "ConfigRestore" ,
        "
```

```
"taskResult" : "Failed",

"taskResultDetail" : [

{

    "content" : "Receive result timeout!",

    "devIP" : "172.18.190.5",

    "devId" : "58c8df15b7c4a14064a2abff",

    "devMac" : "1C:7E:E5:29:ED:07",

    "status" : "Failed"

},

{

    "content" : "Receive result timeout!",

    "devIP" : "172.18.190.233",

    "devId" : "58c8df16b7c4a14064a2ac39",

    "devMac" : "00:05:5D:8F:12:52",

    "status" : "Failed"
```

```
}
],
"taskState" : 3
},
"message" : "SUCCESS" ,
"status_code" : 0
}
```

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
taskState	int	タスクの現在のステータス。
		0:実行中、1:一時停止中、2:タスクが削除された、3:完了
createTime	string	タスクの作成時間。
endTime	string	タスクの実行の終了時間(null に設定可能)。
startTime	string	タスクの実行の開始時間(null に設定可能)。
taskld	string	タスクのID。
taskKind	string	タスクのタイプ。
taskResult	string	タスクの実行結果。
		Failed to Deliver (配信に失敗)、Partially Delivered (部分的に配信済)、Delivered (配
		信済)、Partially Done (部分的に完了)、Delivering (配信中)、Failed (失敗)、Done (完
		了)
taskResultDetail	array	各デバイスの実行中のタスクの結果。
devIP	string	デバイスのIPアドレス。
devld	string	デバイスの ID。
devMac	string	デバイスの MAX アドレス。
content	string	タスク実行結果の詳細情報。
status	string	各デバイスのタスクの実行結果。
		Failed to Deliver (配信に失敗)、Partially Delivered (部分的に配信済)、Delivered (配
		信済)、Partially Done(部分的に完了)、Delivering(配信中)、Failed(失敗)、Done(完
		(了)

createTask API - デバイス設定を変更するタスクを作成する

■ リクエスト URL

• Restore Configuration:

{D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPORA KQ&action=createTask&taskName=task1&taskKind=ConfigRestore&devld=58c8 df15b7c4a14064a2abff&fileId=5b1a4c50df11a9398c6b39f9&fileName=file.cfg • Telnet On:

{D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=6eSJcUi15qwrzN9ppLy5 gE5h3Hue0IX3&action=createTask&taskName=Telnet_on&taskKin d=TelnetOn&devId=59eeccccb7c4a15ae014592b&port=23

• LLDP Off:

{D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=6eSJcUi15qwrzN9ppLy5 gE5h3Hue0lX3&action=createTask&taskName=API_SystemConfig&t askKind=SystemConfig&devId=59eeccccb7c4a15ae014592b&sysNa me=DGS-3120-24TC&sysLocation=RD-Lab&sysContact=Tom

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
taskName	必須	string	作成するタスクの名前。
taskKind	必須	string	作成するタスクのタイプ。 詳細は「サポートしているタスクのリスト」を確認してください。
devld	必須	string	タスクを実行するデバイスのID。設定できるデバイスは1つのみです。
fileld	任意	string	ファームウェアアップグレードまたはコンフィグレーションリストアに使 用するファイルの ID。 ID は、"UploadFile" API を呼び出した後に取得できます。
fileName	任意	string	ファームウェアアップグレードまたはコンフィグレーションリストアに使 用するファイルの名前。 ファイルは、"UploadFile" API を呼び出した後に取得できます。
port	任意	int	UDP ポート番号。 TelnetOn、SSHOn、WebOn タスクを作成する場合、本パラメータの値を 設定する必要があります。
sysName	任意	string	デバイスのシステム名。 SystemConfig Task を作成する場合、本パラメータの値を設定する必要があ ります。
sysLocation	任意	string	デバイスの設置場所。 SystemConfig Task を作成する場合、本パラメータの値を設定する必要があ ります。
sysContact	任意	string	デバイスの管理者の名前や連絡先。 SystemConfig Task を作成する場合、本パラメータの値を設定する必要があります。

■ データリターンの例

{ "error_code" : 0, "message" :" SUCCESS" , "data" :" 5b1a4cbfdf11a9398c6b3a00" }

リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
data	int	検出ルールが属する Probe のシリアルナンバー。

■ サポートしているタスクのリスト

パラメータ名	説明
ConfigRestore	デバイスの設定をリストアします。
FirmwareUpgrade	ファームウェアをアップグレードします。
SystemConfig	「System Name」「System Location」「System Contact」の値を更新します。
LLDPOff	LLDP を無効にします。
LLDPOn	LLDP を有効にします。
SyslogOff	デバイスの Syslog を無効にし、すべての Syslog ホストを削除します。
SyslogOn	デバイスの Syslog を有効にし、D-View7 にホストポイントを作成します。
TelnetOff	デバイスの Telnet を無効にします。
TelnetOn	デバイスの Telnet を有効にし、Telnet の UDP ポートを設定します。 UDP ポートの初期値:23
SSHOff	デバイスの SSH を無効にします。
SSHOn	デバイスの SSH を有効にし、SSH の UDP ポートを設定します。 UDP ポートの初期値:22
TrapOff	デバイスの SNMP トラップを無効にし、すべての SNMP トラップホストを削除します。
TrapOn	デバイスの SNMP トラップを有効にし、D-View7 にホストポイントを作成します。
WebOff	デバイスの Web を無効にします。
WebOn	デバイスの Web を有効にします。
SpanningOff	デバイスの STP を無効にします。
SpanningOn	デバイスの STP を有効にします。
RmonOff	デバイスの RMON を無効にします。
RmonOn	デバイスの RMON を有効にします。
SafeguardOff	デバイスのセーフガードを無効にします。
SafeguardOn	デバイスのセーフガードを有効にします。
WebHttpsOff	デバイスの Web HTTPS を無効にします。
WebHttpsOn	デバイスの Web HTTPS を有効にします。
Reboot	デバイスをリブートします。

createSnmpTask API - デバイスから特定の OID を取得するための、カスタマイズ SNMP タスクを作成する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeG xnPORAKQ&action=createSnmpTask&oid=1.3.6.1.2.1.1.2.0&valueType=3 &devlds=58c8df15b7c4a14064a2abff,58c8df16b7c4a14064a2ac39

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
oid	必須	string	値を取得するために使用する特定の OID。
valueType	必須	int	OID 値のデータ型を返します。 四方サポートレススタイプ:Number Beeleen String
			現任サホートしてるダイブ・Number、Boolean、String
devlds	必須	string	特定の OID 値を読み取るために指定されたデバイスの ID。
			指定するデバイス ID が複数ある場合はコンマ「,」で区切ります。

■ データリターンの例

{
 "data" : "5b1a4f1ddf11a9398c6b3a1a" ,
 "message" : "SUCCESS" ,
 "status_code" : 0
}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
data	string	作成したタスクのID。

■ valueType パラメータリスト

值	説明
1	Number
2	Boolean
3	String

getSnmpTaskResultInfo API- カスタマイズ SNMP タスクの実行結果を取得する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxnPOR AKQ&action=getSnmpTaskResultInfo&taskId=5b1a4f1ddf11a9398c6b3a1a

■ リクエスト方法

• Get

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
apiKey	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
taskld	必須	string	ユーザーは、「createSnmpTask」の応答情報から SNMP タスクの
			IDを取得できます。

■ データリターンの例

```
{
```

}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。
finished	bool	特定のデバイスの実行ステータス。 true:完了、false:実行中
data	array	結果のデータ。
devld	string	タスクを実行したデバイスのID。
result	string	タスクの実行ステータスまたは実行結果

instantlyDiscover API - オンライン Probe 検出機能を即時実行する

■ リクエスト URL

• {D_View_7_Url}/api/json/Api.aspx?apiKey=NPXT7x2jll30A3kMFl4oAyeGxn PORAKQ&action=instantlyDiscover&pbid=599d6187b7c4a125fc185780

■ リクエスト方法

• Post

■ パラメータリスト

パラメータ名	必須/任意	タイプ	説明
аріКеу	必須	string	D-View7 にアクセスする REST API キー。
action	必須	string	操作方法。
pbid	必須	string	Probe の ID。

■ データリターンの例

{
 "data" : "" ,
 "message" : "SUCCESS" ,
 "status_code" : 0
}

}

■ リターンパラメータリスト

パラメータ名	タイプ	説明
status_code	int	ステータスコード。
message	string	メッセージ。

付録 G サードパーティ製機器の管理

本項目では、D-View7 を使用したサードパーティ製機器の管理について説明します。 説明する内容は以下です。

- ・「サードパーティ製機器の検出」
- ・「サードパーティ製機器のモデルリストへの追加」
- ・「ウィジェットによるサードパーティ製機器の情報表示」

サードパーティ製機器の検出

本項目では D-View7 を使用したサードパーティ製機器の検出について説明します。

1. D-View7 によって検出されたサードパーティ製機器は「Inventory」の「Unmanaged」に追加されます。「Device Type」としては「Unknown」 と認識されます。

+	*	Unman	aged To	tal 1									
D-View Managed (174	7)												_
Search "Label"	Q									Search *	Keyword"	Q	Export
AP(3)	=	S N	/stem ame	* IP 0	MAC ¢	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW	Version	HW Version	Serial Number	Discover Time
controller(2)		. 0	beroam	192.168.4.130	26:A7:C0:17:7F:9E	Unknown	N/A		N/A		N/A	N/A	2016-04-2
Test(1)													
Switch(2)													
LAB_2_1(24)													
LAB_2_2(0)	=												
CISCO(1)	=												
linux nodes(1696)	=												
Unmanaged (1)													

図 8-65 Unmanaged

2. 当該の機器を選択し「Move to Managed」をクリックすることで、「D-View Managed」へ移動させます。

☆ Home > Inventory												
+	*	Unn	nanaged T	Total 1								
D-View Managed (1747)				_							_
Search "Label"	Q	Mo	ove to Manag	ped Delete De	vice				Search *	Keyword"	Q	Export
AP(3)	=	۲	System Name	* IP 0	MAC ¢	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW Version	HW Version	Serial Number	Discover Time
controller(2)	=	۲	Cyberoam	192.168.4.13	0 26:A7:C0:17:7F:9E	Unknown	N/A	-	N/A	N/A	N/A	2016-04-27 11:02
Test(1)	=											
Switch(2)	=											
▶ LAB_2_1(24)	=											
LAB_2_2(0)	=											
CISCO(1)	=											
linux nodes(1696)	=											
Unmanaged (1)												
図 8-66 Mo	ve t	o N	lanage	ed								

3. 必要に応じてラベルを指定します。

Dustributant	Inventory	Huntter	Hatstenarro	System							6 829	1. 28	14 S 2
음 Home > Invento	ry	S. N. S. S. J. S.		1976 C.D.A					1.1808			Stand States	e Destruise
+	*	D-View M	anaged Total 2	(• 0 • 1 • 1)								
D-View Manage	d (1748)		-										_
Search "Label"	Q	Label 👻	Move to Unmai	naged						4.130		×	Export
AP(3)	=	Control	er m + II	0	MAC 0	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW Version	HW Version	Serial Number	Discover Time	0 Label
controller(2)	Ξ	🔲 Test	d36 1	72.18.4.130	02:42:AC:12:04:82	Unknown c	Linux Nodes	RO	N/A	A1	N/A	2016-02-21 13:37	
Test(1)	=	Switch	pam 19	2.168.4.130	26:A7:C0:17:7F:9E	Unknown	N/A	-	N/A	N/A	N/A	2016-04-27	N/A
Switch(2)	=	✓ LAB_2	1									11:02	
▶ LAB_2_1(24)	=		2,1										
LAB_2_2(0)		🗐 linux n	odes										
CISCO(1)	=	App	aly										
linux nodes(169	6) ≣												
Unmanaged (0)													

図 8-67 Set Label

4. この時点では「System name (Cyberoam)」「IP アドレス」「MAC アドレス」が表示されます。「Device Type」は「Unknown」のままです。

Dashboard	Inventory	Mon	itor	Maintenar	nce System							C 820	W 78 1	14	S 2294
+	«		Statu	s o System A Name	IP 0	MAC 0	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW Version	HW Version	Serial Number	Discover Time	Labe	el
D-View Manage Search "Label"	ed (1748) Q	0	•	N/A	192.168.4.123	6C:72:20:C3:D2:8F	L2 FE Swit	DES- 1210- 52/ME	RW	20.01.B06 3	C1	N/A	2016-02-03 18:04		
AP(3)	=	8	•	N/A	192.168.4.102	C0:A0:BB:6F:8D:80	L2 GE Swi tch	DGS- 1210-28	RW	4.00.064	C1	N/A	2016-02-04		
controller(2)		8	•	N/A	192.168.4.117	48:EE:0C:7D:4E:1E	L2 FE Swit	DES- 1210-08P	RW	4.00.064	C1	N/A	2016-02-04		
Test(1)	1		•	N/A	192.168.4.118	C0:A0:BB:78:3E:39	L2 FE Swit	DES- 1210-08P	RW	3.12.015	B1	N/A	2016-02-04		
Switch(2)		8	•	<u>N/A</u>	192.168.4.119	CC:B2:55:C7:A0:9B	L2 FE Swit	DES- 1210-28	RW	3.12.015	B1	N/A	2016-02-04		
LAB_2_2(0)			•	N/A	192.168.4.120	48:EE:0C:70:9E:93	L2 FE Swit	DES- 1210-28		4.00.064	C1	N/A	2016-02-04 13:07		
CISCO(1)			•	<u>N/A</u>	192.168.4.27	20:16:04:20:14:22	Unknown	N/A		N/A	N/A	N/A	2016-04-26		
linux nodes(16 Unmanaged (0)	i96) =	0	•	N/A	192.168.4.30	90:94:E4:D4:AB:E4	L2 GE Swi tch	DGS- 1100- 06/ME	RW	1.00.015	A1	N/A	2016-03-01 15:32		
onnunugeu (o	,	8	•	N/A	192.168.4.155	C8:D3:A3:FA:28:85	L2 GE Swi tch	DGS- 1100- 06/ME	RW	1.03.8009	A1	QBS72D4 000523	2016-03-16 16:03		
		0	•	N/A	192.168.4.208	DE:AD:BE:EF:01:02	L2 GE Swi tch	DGS- 1100- 10/ME	RW	V1.01.B05 1	A1	1MB1733 K0000A	2016-03-01 15:32		
			•	N/A	192.168.4.34	54:88:0A:68:32:F4	L2 GE Swi tch	DGS- 1210-52P	RW	4.10.004	C1	N/A	2016-03-16 16:04		
		8	•	N/A	<u>192.168.4.26</u>	00:0B:01:02:05:6C	L2 GE Swi tch	DGS- 3420- 28SC	RW	1.78.8002	B1	03	2016-03-16 17:10		
		8	•	Cyberoam	192.168.4.130	26:A7:C0:17:7F:9E	Unknown	N/A		N/A	N/A	N/A	2016-04-27 11:35		

🗵 8-68 D-View Managed

5. 「System name」の「Cyberoam」をクリックし、当該デバイスの「Overview」(デバイス概要)を表示します。

Cyber	oam 192.168.4.130 26:A7:C0:17:7F:9E	Unknown N/A	- N/A	N/A N/A	2016-04-2 11:35	7
8-69 Syste	em name					
peroam (192.168.4	.130) Updated on: 2016-04-27 11:51:41					
Overview Sensor	rs Monitor Views					
	Belongs to Device Labels			Recent 5 Active E	vents	
LAB_2_1			Event \diamond Time $_{\mathbf{v}}$	Sensor Type 🔅	Sensor ϕ	Label
						No Data Foun
	Device Information		4			
Status	 Online 			Latest 30 Days Ava	ilability	
IP	192.168.4.130					
MAC	26:A7:C0:17:7F:9E			No Data		
SNMP Privilege	• 5.52					
Device Type	Unknown					
Model Name	N/A					
HW Version	N/A					
Vendor	N/A					
	System Information					
System Name	Cyberoam					
System Location	SRD2					
System Contact	TESTER					
System Up Time	10 days, 20:31:46					
System OID	1.3.6.1.4.1.21067.2					
System Description	N/A					
	Current Tasks					
Recurrent Name φ	Status Function	Next Exec				
	No Data Fou	ind				
1		•				

🗵 8-70 Overview

サードパーティ製機器のモデルリストへの追加

検出したサードパーティ製機器を System > About 画面のモデルリスト(Customized Identified Device Model List)へ追加する方法について説明します。

1. System > About 画面の「Customized Identified Device Model List」タブを選択し、「Add」をクリックします。

dview 7							karen (lo	igout) admin 👻 English 👻 Help 👻 I)-Link
Dustiboard	Inventory	Hunitor	Matintumance	System				C 820 W 78 1 14	S 2291
	n > About	1. 19 C. 18	ALCONT STATES	License					
				Discovery		out			
Software Ver	rsion	1.1.0.2 🥑	D-View is up to date	User / Wo	rkspace	date Date	2016-03-22 15:26		
System Uptir	ne	1 Days, 01:	37:00	Notification	n Center	erver	smtp.mail.yahoo.com	ß	
Core Serve	r IP			System Lo	igs	Core Server MAC			
192.168.1.4	8			+ About		00:0C:29:B8:55:F5			
Supported D	evice Model List	Customize	ed Identified Device	Model List					
								Add Search "Keyword"	Q
Model Name		Device Type		HW Version		System OID	Vendor	Action	
CISCO-3725-F	Router	Router		C1		1.3.6.1.4.1.9.1.122	CISCO System	I2 ⊕	
Linux Nodes		Unknown	1	A1		1.3.6.1.4.1.8072.3.2.10	Linux	I2 ⊕	

🖾 8-71 Customized Identified Device Model List - Add

- 2. 「Indentity」(識別情報)を入力するポップアップが表示されます。
- 該当する機器の「System OID」「Device Type」「Model Name」「HW Version」「Vendor」などの情報を入力します。

	Indentify	×
System OID*		
Device Type	Unknown 🔻 🔒	
Model Name*		
HW Version		
Vendor*		
		Save

🗵 8-72 Indentity

3. 選択する「Device Type」などによって入力する情報は異なります。情報を入力し、「Save」をクリックします。

	Indentify	
System OID*	1.3.6.1.4.1.21067.2	
Device Type	L3 GE Switch 🔹 🕴	
Start Port Index	5	0
Port Count	6	0
Model Name*	CR35wiNG	
HW Version		
Vendor*	Cyberoam	
		Save

4. System > About 画面の「Customized Identified Device Model List」タブで更新した情報を確認できます。

			About			
Software Version	1.1.0.2 🕑 D-View is (up to date	Last Update Date	2016-03-22 15:26		
System Uptime	1 Days, 01:37:00		SMTP Server	smtp.mail.yahoo.com 🛛		
Core Server IP			Core Server MAC			
192.168.1.48			00:0C:29:B8:55:F5			
Supported Device Model List	Customized Identif	ied Device Model List		Ad	Search "Keyword"	
Supported Device Model List Model Name	Customized Identif	iied Device Model List HW Version	System OID	Ad Vendor	Search "Keyword" Action	
Supported Device Model List Model Name CSCC0.2735. Router	Customized Identif Device Type Router	iied Device Model List HW Version	System 01D	Ad Vendor CISCO Surters	Search "Keyword" Action	
Supported Device Model List Model Name CISCO 2725 Bouter CR35wiNG	Customized Identif	iied Device Model List HW Version	System 01D 13.6.1.4.1.0.1.133 1.3.6.1.4.1.21067.2	Ad Vendor CISCO Sustem Cyberoam	Search "Keyword" Action C = C =	

🗵 8-74 Customized Identified Device Model List

5. Home > Inventory 画面の「D-View Managed」からも更新された情報が確認できます。

Dashboard	Inventory		Monitor	Maintenance	System							C 820	W 78 I	14 S 2
∦ Home > Invent	tory				1/8 (a)-20		a China		35 S - 1	544 A		5.363		14046
		«	D-View	Managed Total 2 (1 • 1 • 0)									
-View Manag	ed (1748)													
Search "Label"		Q									4.130		×	Export
AP(3)		=	Sta	tus	0	MAC ¢	Device Type	Model Name	SNMP Privilege	FW Version	HW Version	Serial Number	Discover Time	Label
controller(2)		=	•	925a1d36 0229 172	.18.4.130	02:42:AC:12:04:82	Unknown c	Linux Nodes	RO	N/A	A1	N/A	2016-02-21 13:37	
Test(1)		=		Cyberoam 192	.168.4.130	26:A7:C0:17:7F:9E	L3 GE Switch G	CR35wiNG	RO	N/A	N/A	N/A	2016-04-27	
Switch(2)		Ξ					<u>annun</u> -						11.02	
LAB_2_1(25)		=												
LAB_2_2(0)		=												
CISCO(1)		=												
linux nodes(16)	596)	Ξ												
Inmanaged (0)													

6. 「System Name」欄のリンクをクリックし、デバイスの詳細情報画面を表示します。「Overview」タブでも詳細情報を確認できます。

Cyberoam (192.168	8.4.130) Updated on: 2016-04-27 11:19:04 🗯		
Quantion	Nonitor Viewe		
Overview Ser	ISOIS PIOIICO VIEWS	Indicate port number	
	Belongs to Device Labels	Indicate por c number Panel	
► LAB_2_1		D-Link 135	
	Device Information		
Chabus	• College	Recent 5 Active Ever	nts
Status	Online	Event ϕ Time $_{\mathbf{v}}$ Sensor Type ϕ	Sensor Label
IP III C	192.108.4.130		No Data Found
SNMD Drivilana	20:A/:CU:17:7F:9E	4	•
Shirir Privilege			
Device Type	L3 GE Switch	Latest 30 Days Availa	bility
Model Name	CR35wiNG	No Data	
HW Version	N/A		
Vendor	Cyberoam	Top 3 Port Traffic R	ate

図 8-76 Overview

ウィジェットによるサードパーティ製機器の情報表示

本項目ではサードパーティ製機器の情報をウィジェットで表示する設定について説明します。 最初に「Sensor Setting」(センサ設定)で表示する情報を設定し、その後「Add a New Widget」でウィジェットを作成、設定したセンサを登録します。

センサ設定

1. System > Sensor Settings 画面で「Customized Sensor」→「SNMP Sensor」を選択し、「New Sensor」をクリックします。

dview 7						
Dashboard	Inventory	Monitor	Maintenance	System		
∦ Home > System	n > Sensor Settings			License		
	*			Discovery		
System Sensor	System Sensor		Sensor	User / We		
CPU Utilization		Collect inf	ormations by setting OIC	► Sensor Set		
Memory Utilizatio	n	Paramet	ers Custom	Notificatio	on Center	
Ping				System L		
Syslog		Sensor Lis	t	About		
Trap		New Sen	ISOF			
Wired Error Packe	et	NO. Na	me 🔺	Value Type	φ	Unit 💠
Wired Traffic		1 сри	1_2	Number		%
Wireless AP Type		2 tes	t	Number		%
Wireless Client						
Wireless Error Pa	cket					
Wireless Traffic (b	bit)					
Wireless Traffic (p	backet)					
Customized Sens	50 r					
HTTP Sensor						
SNMP Sensor						

🗵 8-77 Sensor Settings - New Sensor

2. センサ情報を入力します。「Next」をクリックします。

		Create New SNMP Sensor		
1	2	3	4	5
		1. Set Sensor Information		
Name*	Cyber CPU			
Interval	1 • Min			
Description				
				Next
図 8-78	Sensor Information ①			

- 3. Attributes Setting(属性情報)を入力します。「Next」をクリックします。

o	0	3	4	5
		2. Attributes Setting		
Parameter Name*	CPU			
OID*0	1.3.6.1.4.1.21067.2.1.2.2.1			
Value Type	Number String			
Unit	% •			
				Back Next

🖾 8-79 Attributes Setting

4. センサの情報を設定し、「Next」をクリックします。

					4		
		3. Set S	Sensor Infor	mation			
Event Trigg	ger Rules						
CPU	Settings	Info Event Warning Event				Critical Event	
	Event	ON OF	F	ON OFF		ON OFF	
	Trigger	>= *	%	>= 🔻 70	%	>= ¥ 90	%
	Alert when trigger repeat for	1	Times	1	Times	1	Tim
	Escalation ()	ON OF	F	ON OFF			
	Escalation when status repeat for	1	Times	1	Times		

🗵 8-80 Event Trigger Rule

5. 作成中のセンサに当該のサードパーティ製機器を登録(選択)し、「Next」をクリックします。

<u> </u>		<u></u>		0		-0	
			4. Apply	to Device(s)		
All	Selected	Curtan Nama A	MAC A	10 4	Davica Tuna	4.130 Model Name A	Label
	Status 🤿	925a1d360220	02:42:AC:12:04:82	172 18 4 130	Unknown C	Linux Nodes	Laber
	•	Cyberoam	26:A7:C0:17:7F:9E	192.168.4.130	L3 GE Switch C	CR35wiNG	
æ							

⊠ 8-81 Apply Device

6. 確認後、「Finish」をクリックします。

					 5
			5. Tes	ting	
Parameter Name*	CPU				
OID*0	1.3.6.1.4.1.21067.2.1.2.2.1				
Value Type	Number O String				
Unit	% •				
Test Result					
Status Syste	m Name	IP	MAC	Get Result	
<u>Cyber</u>	<u>oam</u>	<u>192.168.4.130</u>	26:A7:C0:17:7F:9E	0	
					Back Finish

⊠ 8-82 Apply Device

7. 作成したセンサが「Sensor List」に追加されたことを確認します。

备 Home > System > Sensor Settin	ngs	1975 A 1975		Saved Successfully			. 영상 그렇는 것 같이 많을 것 같아.	25.222
	«							
System Sensor	SNI	MP Sensor						
CPU Utilization	Colle	ct informations t	by setting OID					
Memory Utilization	Para	meters	Customized		Supported Devices	17	48	
Ping								
Syslog	Senso	r List						
Trap	New	Sensor					Search "Keyword"	Q
Wired Error Packet	NO.	Name *	Value Type 🔅	Unit ¢	Interval (Min)	Events	Target Devices 🔅	Action
Wired Traffic	1	cpu_2	Number	%	1	0	0	6.8
Wireless AP Type	2	Cyber CPU	Number	%	1	C 🔛	1	C 🕀
Wireless Client	3	test	Number	%	1		0	6.8
Wireless Error Packet								
Wireless Traffic (bit)								
Wireless Traffic (packet)								
Customized Sensor								
HTTP Sensor					1			
SNMP Sensor								

🗵 8-83 Sensor List

ウィジェットの追加

- 1. Dashboard > Customized 画面で「Create a New Dashboard」または左上部の「+」をクリックし、新規ダッシュボード作成画面を表示します。
- 2. 名前、概要を入力し「Create」をクリックします。

	Create New Dashboard	×
Name*	Cyberoam	
Description		
		Create

🖾 8-84 Create a New Dashboard

3. 新規ダッシュボード選択時に表示される「Add a New Widget」をクリックし、新しいウィジェットを作成します。

			Created successfully	
+	«	Cyberoam		
Search "Keyword"	Q			
Cyberoam	=		No widget found! You can Add a New Widget for this dashboard.	

🗵 8-85 Add a New Widget

- 4. 以下の項目を入力後、「Create」をクリックします。
 - •「Name」:ウィジェット名を入力します。
 - •「Choose a device」:当該の機器を選択します。
 - ・「Sensor type」:センサの種類を選択します。
 - ・「Sensor」:作成したセンサを選択します。

	Create New W	lidget	×
Name*	Cyberoam CPU Test		
Choose a device*	Choose one Item	~	
	Search "Keyword"		C
	System Nar	ne IP	Model Name
	O DGS-3620	192.168.30.119	DGS-3620-28TC
	○ <u>N/A</u>	<u>192.168.30.139</u>	DWL-6610AP
	DUA- 2000 Policys er	Serv 192.168.2.251	
	<u>RuckusAP</u>	<u>192.168.30.222</u>	



🗵 8-87 Create New Widget 02

5. サードパーティ製機器のウィジェットが作成されました。



🗵 8-88 Widget Added